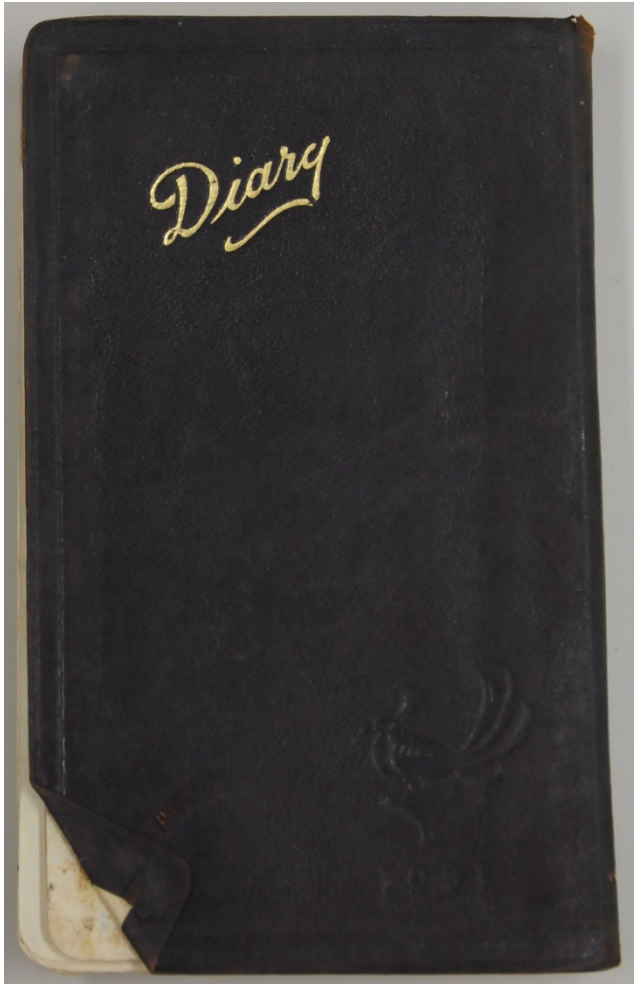




# 伊藤音次郎日記

## 1931(昭和6)年

文字データ作成: 一般財団法人 日本航空協会 2018(平成30)年6月

\* お気づきの点などございましたら、ご教示のほどお願い申し上げます。

一般財団法人日本航空協会

航空遺産継承基金事務局

〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-1

電話 03-3502-1207

ファクス 03-3503-1375

電子メール [isan@aero.or.jp](mailto:isan@aero.or.jp)

禁無断転載 © 一般財団法人日本航空協会

▲▼表紙2▲▼

昭和6年

巖譽法城禪定門

▲▼1ページ▲▼ 前年ヨリ繰越事項

- 一 信用ノ回復
- 二 旧責(マ)ノ整理
- 三 新機ノ製作 以下六年度事業

ライトプレーンクラブ發展

欧亜大飛行ノ決行

ライプレーンクラブ後援会ノ組織 次イデ昭和航空株式会設立

▲▼2ページ▲▼ 昭和六年要記

- 一 信用ノ回復 借金ヲナサザル事。仕事ヲ確實ニスル事
- 二 旧責(マ)ノ整理 夜間飛行其他飛行収入ニテ整理資金トスル事
- 三 新造機ノ製作
- 四 ロンドンヨリ津田沼ヘノ飛行
- 五 昭和航空株式会社設立

▲▼3ページ▲▼

- 一 クラブ後援会組織ノ事
- 一 作業ト回収金ノ円滑ヲハカル事
- 三 格納庫料ハ積立ル事

▲▼4ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月1日(木)

天気 曇リ後晴

六時半頃起床 今年ハ喪中ニツキ祝事ハナサズ。雑煮ガ内輪ダケデ終ル 安岡一番ニ來

酒ヲ出シタガ甚ダマヅカッタ 二番二御看経中鈴木菊雄來 ドウモ寒氣ガスルノデ信太郎ガマダ三十八度ノ熱ガアリ床ニツイテ居タノデ一所ニモグリコム。晝頃起キタガドウモイクナイノデ床ヲ取ラセ熱ヲハカルト三十八度四分アリシコシタツト八度七分ニ昇ル。ヘブリン散ヲノミ汗ヲ出ス

夕方、ウント汗ガ出テ氣持チスガ、シクナル 此頃ヨリ雪降り初メル 夜スデニ一寸程ツモル

寒イ元旦デアッタ

### ▲▼5ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月2日(金)

天気 曇リ

雪ハ夜中カラ雨ニナリ朝ハ止ンデ居タ

今日ハスデニ身体ノ工合ハヨカッタノデ年賀状代リノハガキノ残りヲ午前中ニ全部書キ終ル

コンパー会社ヨリ電報ガ來 正月ニツクトハ一寸engiガヨカッタ サテ内容ハ如何雪ノ爲メ母家ノノキノ柱ガクサツテ居タノガ、タオレタノト中格ノ横ノ木セイガ根本一尺程ノ處カラ折レテ居タ エンギデモナイト思エバ思エレルガ之レモ足元ニ注意セヨトノ教訓トモ思ワレ注意スル事トス

夕方食事前合花ヲ少シヤリ早ク床ニツク 夜八時頃清平來場

### ▲▼6ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月3日(土)

天気 晴風

初メテノ正月ラシイ好天氣デアッタガ風ガツヨクナッタ

午前中應接室デ静カニ本年度ノ計算ヲ手控エヲナス 晝食後コンパー会社ノ電報ヲ見テ貰フベク竹内君ヲ訪問ス 電文ハ長巨(マ)離飛行ハ出來又、尚返事ヲ急グトノコトニ取引ヲ中止スル旨ノ返電ヲ書イテ貰ツテ歸リニ、明日ノ仕事初メノ仕度ニ駆辨ヲ廿五注文シテ歸ル

歸途コンパー事ワツテ如何ニスベキカノ問題ニツイテ考ヘル。カスカニ心ノ底ニオソレテ居タ單坐ト云フコトヲ止メテ複坐ノ良機ヲ撰ベル機會ヲ得タコトハ之レハ新春早々反ツテヨイ事デアッタカモ知レナイト思ツタ。夜一手花ヲ引キ早ク九時床ニツク

### ▲▼7ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月4日(日)

天気 時ヨリ曇リ

七時起床 温タカク曇テ居タガ後次第ニ晴レ夕方ヨリ曇リ夜中ニ雨トナル

仕事初メ式ノ準備ヲサセクラブノ初飛行ノ一番ニ安岡ニ同乗ス 昨年ハ一度モ空ニ上ラ  
ナカタノデ本年ハ大ニヤリ、都合デハハンドルモ取ルツモリ。千葉市訪問シテ帰ルト奈  
良原先生ガ來テ居ラレタノデカワ代ツテ乗ラレハ廿年近ク乗ラナイトノ事デアッタ  
練習終ツテ十二時半ヨリ折詰ト冷酒デ工場員クラブ員全員ヲ集メ先生ノ出席ヲ得テ  
去年ノ経過本年ノ計畫ト所員ニ対スル希望ヲ述ベル。自分ナガラヨクシヤベレタと思ッ  
タ 丁度宴ノ終ツタ處へ兒玉氏來場 二時頃帰ル

▲▼8ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月5日(月)

天気 晴

今日ハトテモ暖カク平年ヨリ六度以上ダトノコトデアッタ

晝食後高橋英次氏ト岡田重一郎少佐ヲ訪問ス 先方ニツイタラ四時半デアッタ。今  
夜ハ婚禮ガアルノダトテ急(ママ)ガシイ中ニ無禮シタニモカ、ワラズ、酒ナド出サレ主人  
出カケラレテ、アト追馳走ニナツテ帰ル  
夜笠実氏ノコトモ聞ク。何ニカ仕事ヲシタガツテ居ル事 相當ノ人ニ知人ノアルコトヲ聞  
ク アンザニーマダアルソウデ大切ニシテ居ルガ、クラブノ趣意ヲ明ラカニシテ、申出ラレ  
タラ、場合ニヨツテ何ントカナルカモ知レナイトノコトデアッタ

▲▼9ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月6日(火)

天気 曇リ

暖カデアッタガ午後カラ少シ冷エテ來タ

今日ハ事務所ノ戸棚方付ケヲナス。圖面函ヲ皆出シテ倉庫代リトスルコトトス。金庫ハ  
余リエンジンヨクナイノト税金ガカ、ルノデ廃止スルコトトス

今日池本帰国サセル予定金出來ズ夜二入り猪又ヨリ十五円受取ル 出發ヲ明朝ニサス

▲▼10ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月7日(水)

天気 曇リ少雨

七時前起床 七草カユヲ皆ナデ喰フ 一杯シカヤレナカタ アト茶漬ケデスマス。十時  
頃磯部氏來場 今日ハグライダーノ試飛行ノ日 一時間程遅レテ佐々木氏外五名來  
場 丁度同ジ自動車デ奈良原先生モツカレル 十二時頃食事中兒玉サン來ラレタトノ  
コトニ行ツテ見ルトステニアンリオノ同乗席ニ乗テ居ラレタ 十分余リノ飛行デ大變ヨロ  
コバレタ。小栗、婦人ヲ一人連レテ來場 川辺君不在ノ爲メ乗セテ呉レトノコトニ其女  
ヲ乗セル。

グライダー数回 安岡、豊田、其他試飛行 一番永イノガ十三秒間。カナリ工合ヨサ

ソウデアッタ。引上ゲテ記念撮影ヲナシ兒玉氏ニ連ラレ奈良原先生、安岡ト四人成田山ニ參詣ニ行ク 久シ振リデアッタ。門前ノダルマニテ夕食 八時迄。本年度ノ計畫大體金ノ予定モ出來タラシイ口振リデ大ニヤロウトノ事デアッタ  
十時帰宅  
今日モヤゝ有意義

▲▼11ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月8日(木)

天気 雪

六時半起床 七時四十分ノ自動車ニ乗リオクレ次ギノ自動車ガ又馬鹿ニオソク爲メニ金町デ一時間待チ一列車後ノ十時二十分發ニテ行ク 雪シキリニ降ル 荒川沖ニテ安藤君ト会ヒ共ニ行ク。誰レモ居ラズ 尚出張所ニテ一時迄待チ倉庫ニ行キ井上氏其他ノ人々ト会フ 一五式五台 一四式三台 アブロ三台 十年式数台等中々沢山アッタ 程度モヨカッタ 本部ニ引上ゲ評價シテ三時半荒川沖發ニテ歸ル 荒川沖ニテ多田大佐ニ会フ 随分久シ振リデアッタ

▲▼12ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月9日(金)

天気 曇小雨後晴

今日ハ入札ニ鈴木ヲ出張サセル  
終日事務所ニ出テ居タ  
昨日高知カラ來客 五六月迄ニ水上式台ヲ整備シタイトノ話シデアッタ由安岡ヨリ報告ヲ聞ク  
クラブノ會計報告書其他ヲ作ル

▲▼13ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月10日(土)

天気 曇リ後晴

今日カラ女工ニ名休マセル  
仕事一向ハカドラズ 夜上野へ命令書ヲ出ス  
今日ハコタツノ中デクラブノ会報ノ原稿ヲ書ク  
高橋英二氏ノ母堂來場 晝食後歸ル

▲▼14ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月11日(日)

天気 曇リ

寒ニ冷エル日デアッタ 朝カラ下腹ガ変デアッタノデ午後ツヒニ床ヲ取ツテ寢ル 下済(マ  
マ)ヲノム 夜迄数回出タガドウモ、ハッキリシナカッタ  
晝夜共ニ食事ヲ断ツ  
今日モ原稿ヲ書ク  
桜田ノ職工來場 アブロニ重心安定ノ装置終ル アトハ奈良原氏ノ仕事ガ進マネバ付ケ  
ラレナイ事ニナツテ居ルソウダ

▲▼15ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月12日(月)

天気 曇晴

朝便ヲ家内ガ見テ血ガ交ツテ居ルトノ事ニ醫師ヲ迎エニヤル 普通ノ腹カタルダトノコ  
トニ少シ安心ス

終日床ニツク

朝早ク練習シテ居ルト思ッタラツヒニ逆立ヲヤッタ 又埴山ダトノ事デアッタ  
床ノ中デ長岡、中、徳永、田中、諸氏ヘクラブノ報告ヤラ寄稿ヲ依頼ス

今日タ刊ニヨルト山陽線ニテ列車テンプク 河中ニ遂(ママ)落 殆ンド死傷 中ニ局ノ辻  
本技手モ居ラレ重傷ノ由

奈良原氏來場 明日児玉サンニ会フトノコトニ三百円頼ム

▲▼ページ▲▼ 現像液處法

- 1、 藥ハ順序ニ溶カス事
- 2、 水ハ微温湯ヲ用ユル事
- 3、 温度ハ華氏70。以上ナルベキ事

- 1、 パイロメトール現像液
- 水 五オンス      メトール      1杯
- パイロ      2杯
- 亜硫酸      5杯
- 炭酸曹      5杯
- 以上露光不足ニ適ス

- 2、 メトールハイドロキノン
- 水 五オンス      メトール      半杯
- ハイドロキノン15

|      |    |
|------|----|
| 亜硫酸  | 5杯 |
| 炭酸曹  | 4杯 |
| 臭素加里 | 2適 |

|            |         |
|------------|---------|
| 3<br>アミドール |         |
| 水 2.5オンス   | アミドール 1 |
| 亜硫酸曹       | 3       |
| 臭素加里       | 3適      |

▲▼16ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月13日(火)

天気 晴

今日モ床ニツイテ居タ 起キテ起キラレナイデモナカッタガ要(マ)心ス

▲▼17ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月14日(水)

天気 晴

下痢ガトマラナイノデ醫者ニ行ク 薬ガソウ云フ風ニシテアルトノコトニ加減シテ貰フ

▲▼18ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月15日(木)

天気 晴

朝出ラレナイ先キニト思ツテ奈良原氏訪問 児玉サンノ様子ヲ聞ク 拂下ニツイテハ貳千円位イツデモ出ス人ヲ照(マ)介スルカラ年一利二分位ノ利子ヲツケルコト 賣レタ場合ニハ利益配當ヲスルコト等ノ話シガアッタ 大ニヨイコトデアッタ 明朝児玉氏訪問スルコトトシテ帰ル

▲▼19ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月16日(金)

天気 晴

八時宅ヲ出デズット児玉氏訪問 十時着 丁度來ラレタ 一時頃迄色々ノ話シヲシ三百円ノ予定ノ處二百六十円借リテ出ル スグ局ニ行キ新年初メテノ挨拶ヲナシ武臣氏ニ拂下代金ヲ支拂ヒ帰途銀行ニヨリ佐野ノ手形ヲ支拂ヒシテ帰宅 明日ヨリ女工休マセルコトス

東京讀賣新聞記者ガ上野ノ發動機ヲ見ニ來テ居タ 上野ハ今日上京シタ由 川辺君ガ連レテ來タラシイ 上野ヲ工場ノ者デアルコトヲ話シテ居ナイ様デアッタコトハ不愉快

快デアッタ

▲▼20ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月17日(土)

天気 晴

元協会ノ参事戸田釜三氏ノ葬儀ガアルノデ上京。協会ニ行キ長岡閣下ニ会ヒ來週ノ都合ヲ聞クト日曜ガ空イテ居ルノデ日曜正午ニ津田沼へ來テ貰フコトヲ約ス  
磯部氏ニ会フ グライダーノ元(マ)價工賃ト材料代ダケ四百六十余円ヲ貰フコトヲ話シ尚五十円ヲ來週ノ土曜日ニ貰フコトヲ依頼ス  
傳通院ニ参詣ス 徳永サンモ來ラレタノデ丁度ヨク來週日曜日ノ事ヲ依頼ス  
夕方帰宅  
久シ振リデコーヒーヲ買ツテ歸リノム 十二時頃迄眠レズ色々ノ事ヲ考ヘル

▲▼21ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月18日(日)

天気 晴

終日坐シテライトプレーンクラブノ計畫ヤ予算ヲ作ル  
午後奈良原先生來場 ニ三時間御話シス 桜田工場へ晝食代ヲ支拂ハネバナラストカデ、七円五十錢入ルトノコトデアッタガ丁度集メテモ五円シカナカッタ。五円ダケ御渡シス 実ハアスノ上京費ニモ困ルノダガ  
川辺君モ來 オイローパ號デ安岡ニ太平洋横断飛行ノ件一万円ノ予算デヤリタイガトノ話シガアッタ

▲▼22ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月19日(月)

天気 晴

協会デ故フューネルト男ノ頭像除幕式ガアッタノデ参列シ、歸リニ大蔵ニヨツテ、オデンヤデ酒ヲノミオソク帰ル。児供ガ大分熱ガアツテ寢テ居タ 丁度醫者ガ來タガ大シタコトモナイ様デアッタ

▲▼23ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月20日(火)

天気 晴

数日前カラドウモ寢返リナドスル毎ニフラゝスルノガ変デアッタガ今日ハ特ニハゲシイノデ床ニツク ノーシンヲノンデ見タ  
明日児玉氏ト会見ノ事ニツキ草稿ヲ安岡ニツクラセル。書直スベキモノハ鈴木ニヤラセテ

居ク

▲▼24ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月21日(水)

天気 晴

今朝ハ大變氣持チガヨカッタ。奈良原サンニ寄り児玉サンニ行ク。草稿ヲ見セ意見ヲ聞ク 要スルニ児玉氏ハ長岡氏ガ積極的ニ出ルノヲ見テ犬馬ノ勞ヲ取ロウト云フ考ヘニアルラシイノデ会见ノ結果ニマタネバナラナイ 其会见ハ昨夜ノ電報デ二月一日ニナッタ、コウナルト長岡氏ニ意見ヲ意味ヲ通ジテ居ク必要アルヤニ思ワレルシ又南ノ三田浜アタリデ云ヒ出シタ方ガ賛成ヲ得ラレル様ナ氣持チモスルノデアッタ  
二時ノ約束ガ三時ニナッタガ飛行館デ磯部氏ニ会ヒ五十円受取ル 明日引取りニ行クトノコトデアッタ

▲▼25ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月22日(木)

天気 晴

時事 第五十九議會休会開始マル 首相代理問題デゴタツク

朝作業服デ出タガ鈴木ノ甲三點検中アヤフク、タオレソウニナッタノデ醫者ヲ迎ヘニヤル 原因ニツキ調べテ貰フ ドウモ鼻ヨリ外ニナイラシイ。虫ノ爲メニ起ルコトモアルガソノ場合ニハ貧血ヲ起スガ、ソシナ様子モナイトノコトデアッタ 後醫者ニ行キ鼻ヲ手當シテ貰フト大變ヨイ氣持チニナッタ

花ノ会ヨリ牡丹、シヤクヤク、花菖蒲ヲ送ッテ來タノデ信太郎ニ手傳ワセテ植エル  
夜昨日買ッテ來タ肉デ高橋、安岡ト食事ヲ共ニス

朝來ル予定ノ處タ方グライダー引取りニ來ル 清水君ニ渡ス

▲▼26ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月23日(金)

天気 曇後晴

西川氏本年最初ノ検査ニ來場 鈴木ノアブロ完成ト甲三ノ發動機内部検査イヅレモ好成績ニ終ル 終日カゝル

▲▼27ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月24日(土)

天気 晴

局ヘ鈴木ノ變更登録ニ行ク 荒井三郎氏ニ挨拶ス 協会ニ行キ輕飛行機ノレコードヲ調べル 四時頃迄カゝル。友野ヘ上野ノ發動機テストノ件ニツキ電話ヲカケテ見タガ友野

氏モ吉田氏モ不在ニテスグ帰宅ス。帰途醫者ニ寄ツタガ風デ寢テ居ルトノコトニコチラモ休ム

不在中奥山君ヨリサルノ分解機到着 梅木君分解ヲ初メル

◆◆28ページ◆◆ 昭和6(1931)年1月25日(日)

天気 晴

今日ハ清平ガ來ルト云フノデ心待チニス 午前中山羊ノ家ト垣ヲ改造ス。午後グライダーノ写真ヲ現像ス 横ノ方ハ大変ヨカッタガ正面ハ海ヲ背影(ママ)ニシタノデ工合ガ悪ルカッタ

現像中清平來。相談事ハ何ニカト思ツタラ將來工科大學ニ這入リタイノデ其準備教育ヲ受ケル爲メト資格ヲ得ル爲ニ來春カラ成城學園ニ這入リタイトノコトデアッタ。ヤラセル事ニ返事シテヤルト氣ノ精カ大變ハシヤイデ居タ

夜レコード表ヲ作ル

夕方醫者ニ行ク 代リノ青木氏ガヤツテ呉レタ 大分慣レテ來タガイヤナモノダ

◆◆29ページ◆◆ 昭和6(1931)年1月26日(月)

天気 小雨

朝カラ作業服 鈴木、川辺宗里ノ勘定ヲナシ、ソレゾレ請求ヲナス。鈴木ヤハリ百円シカ出來ナイトノコトナリシモ尚奔走セシムルコトトス

作業会社發動機ニ來 サル分解

奈良原先生奥サンノ弟來場 アンリオニ同乗サセル

児玉サンヘ明日行クトノコトニ、百五十円運賃ノ件タノム

軽飛行機ノレコード表ヲ作製ス

夕方日野君ガ一寸來タ

◆◆30ページ◆◆ 昭和6(1931)年1月27日(火)

天気 晴

鈴木菊雄ガ鈴木伊ニ先キノアブロノ金ト今度ノアブロデ六百円引イテ呉レトノ話シニグツトシヤクニサワリ本人ヲ呼ビヨセサン、云ツテヤッタ。後弟モヨビ如何ニ苦シイ思ヒヲシナガラ作ツテヤッタ飛行機ニ対シ補助金ガ出ナイカラ負けテ呉レナンテ馬鹿ナ話シガアルヤト之レニモ云ツテ居ク。実ニシヤクニサッタ(ママ) 免(ママ)倒ノ見甲斐ノナイ奴ダ

◆◆31ページ◆◆ 昭和6(1931)年1月28日(水)

天気 晴

上京ノ予定奈良原氏來場時遅レテ中止ス

日経新ラシイアンリオ上仲破損ス

安岡川辺ノ方へ手傳ヒ行ツテ居タ爲メ見テ居ナカッタト云ノ二川辺ヨリ一言ノ挨拶ナク第一安岡ヲ使フコトニツイテ自分ニ諒解ヲ得ナカッタコトニ不快ヲ感ズ 家内カラ呉ニ云ツタトカ夜タクミニ挨拶ニ來タガ少シモ誠意ハ見ラレナカッタ  
月末支拂ヒヲ全部延期方手紙出サセル

▲▼32ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月29日(木)

天気 曇リ

今日上京 局へ十年式ノ抹消ト特別検査願ヲ提出 鈴木ノ補助申請ヲモナス  
協会三行キ調べモノ中又頭ガフットナッタノデ急イデ帰ル 途中新橋駅ニテ久松氏ニ會フ 夜間飛行ノ事早く極メル様ニタノム

▲▼33ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月30日(金)

天気 晴

九時頃起床 ドウト頭ノ工合ガヨクナイ 今日ハ午前中ニ醫者ニ行ク ヒドクハレテ居ルトノコト 昨夜ハ酒モノマズニ養生シタノニドウモ変ダ。尚左ノ中ノ皮ノハガレルノガ、ドウモ分ラナイトノコトデ小松川ノ本院へ博士ノ出ル日ニ一度行ツテ呉レトノコトデアッタ

奈良原先生ハ終日在所。夕方遅ク帰ラル 其アトヘ夕食中報知ノ千葉支局員來場 奈良原氏ノ事聞カレタガ、マダ発表ノ時期デナイトテ事分ル 尚会ヒタケレバ明日來ラレルカト云ツテ居ク

▲▼34ページ▲▼ 昭和6(1931)年1月31日(土)

天気 曇リ

今日ハ明日ノ準備デイソガシカッタ 朝先ヅ汐時ヲ心配シタガ今日カラ順潮ニナツタラシク十一時頃迄引イテ居タ

晝頃川辺カラ百円持ツテ來タノデ皆シナニ五円ツ、鈴木二十円 安岡二、十円 残り十五円デ明日ノ準備ヲナス 内ノ拂ハチットモ出來ナカッタ 夜鈴木ガ五十円持ツテ來タ。明日御土産ニスル写真ヲ焼増シス

ドウモ風氣ナノデ入浴ヲ止メ玉子酒ヲ作ツテ床ニ入ル  
午前中計畫變更ニヨル挨拶状ヲ書キ謄写版ニスラセル

奈良原先生ノ重心安定装置出來テ、試験ス ドウ考ヘテモ、感心出來ナイモノダ  
昨夜ノ新聞記者來 ベラベラ何ニモカモ皆シヤベツテ仕舞レタノニハ、アキレタ

▲▼35ページ▲▼ 2月

一 クラブ發展策進行ノコト(順汐ニ進ム)

一 グライダー製作準備ノコト(設計宮崎氏ニ依頼)

先月

一 回収金不テツテニ終ル 最モ鈴木毎月百五十円デ外ニ格納庫料ヲ入レコトノ申出  
昨夜アリ

一 先月積立不可能 本月ヨリ実現ニツトメルコト

▲▼36ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月1日(日)

天気 曇リ後雨

曇リタレドモ降リソウニモナカッタ 六時半起床 何ニカト準備中早九時半長岡氏來  
場。八時前奈良原氏スデニ來場 十時過ぎ児玉氏 十一時飛行終了 同時ニ徳永氏  
來場。工場員ヲ海側ニクラブ員ヲ陸側ニ自分ヨリ挨拶シ一同ヲ照(ママ)介ス アト長岡  
氏徳永氏ノ挨拶アリ 終ツテ記念撮影ヲナス 此頃ヨリ雨降り出ス 自動車ニテ三田  
浜樂園ニ行ク 大雨トナル 昨日カラ云ツテアルノ二一時間以上待タセ室ノ冷イニモイ  
ヤニナッタ

奈良原氏ヨリ長岡氏ニ会長説ヲ出サレタガ会長ハ目下ドコモトワツテ居ルトノコト  
デ理事長程ノ處ニトノ奈良原氏ノ希望ダケデ今日ハ話シヲ止メ四時半電車ニテ帰ラル  
送ツテ後チ写真ノ紙ヲ求メ帰宅

▲▼37ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月2日(月)

天気 晴

今日ハ三月頃ノ様ニ温カカッタ

近頃ヨク寢ル様ニナッタ。長岡、児玉徳永氏ノ札状ノ原稿ヲ作り書カセテ居イテ、写  
眞現像ヲナス 思ッタヨリヨク写ッテ居タ 二枚ハ面白クナカッタ 五枚ハドウヤラヨカッ  
タ

昨日一日醫者ヲ休ンダラ今日ハ返ッテ気分ガヨカッタノデ今日モ止メル

熊倉君來 久シ振リデアッタ 何ニカヤルコトガアッタラトノコトニ夜間飛行ノ注文取ル  
コトトクラブノ賛助会員ニ毎月一円ツヽ取り六ヶ月目ニ一回同乗サセル案ヲ話スト必ズ

マトメテクルカラ印刷物ヲ作ツテ居イテ呉レトノコトデアッタ  
清平カラ大日野サンガナオッタトテ鼻ノ薬ト噴霧器ヲ送ツテ來テ呉レタ 夜早速ヤッ  
テ見タラ工合ヨカッタ

▲▼38ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月3日(火)

天気 曇リ

朝写真ノ現像ヲナス

▲▼39ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月4日(水)

天気 曇リ

安岡昨夜木ノ下ノ處へ行ッタマ、帰ラズ

豊田ノ兄來場 同乗サセル 發動機ガムキヤー割レボールト一本ヌケテシリンダー内ニ  
落チテ居タノヲ直シテ飛バス

夕方ヨリ上京 中君ガ來テ居ルノト依託生ノ十年記念講演会ニ行ク 大分聴衆ガ居  
タ

課長ノ講演ハ聞ク價值ハナカッタ。上野ヨリ電話アリ 奈良原氏カラ今夜來テ呉レトノ  
入電ガアッタトノコトデ上野ガ代リニヨッテ來タラ桜田ノ支配人ガ死ンダノデ明日晝  
電話ヲカケテ呉レトノコトデアッタ由 サ間ニ合ワヌゾ 弱ッタコトニナッタ

馬詰アンリオヲ整備シテ呉レトノコトデ又一円借りラレル。ウルサイノデ大蔵ト早く出  
テ大蔵ノ宅ニ行ッテ泊ル イロ馳走ヲシテ呉レタ

寢テカラ明日ノ方針ヲ考ヘル ヤハリ児玉サンニ朝行ッタ方ガヨサソウダ  
午前午後共写真ノ焼付ケヲナス

▲▼40ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月5日(木)

天気 雨

煙ノ様ナ雨デアッタ 八時起床 朝食後九時大蔵ノ宅ヲ出ル。ヤハリ児玉サンヲ訪問ス  
ルコトニシテ行ク 十時上野ガ來テ居タ。發動機ノ件想(マ)談ガアッタガ石川工場デ  
製作スルニハ資本ト設備ノ爲メ時日ヲ要スルカラソノ心配ノナイ處ヘヤッタ方ガヨカロウ  
ト答エテ居ク

桜田支配人ノ今日ハ葬儀ガアルソウデ明日金ニナル様話シテ居クトノコトデ頼ンデ飛  
行館ニ行キ磯部氏ト會ヒ奨励金願書ニ捺印シテ佐藤ニヨリ帰宅ス 野呂ヨリ十円取ッ  
テアッタノデ五円デ高川ヲ先ヅ霞ヶ浦ニ出張サセ、明日門松外一名ヤルニツキ鈴木ヨ  
リ十円取ルコトニス 明日アト同行ノモノヲ東京ヘ廻シ金受取ッテ出張サセルコトニス

清平カラ二十円 金太郎カラ十五円 稲毛カラ電車賃ヲ無心ニ來テ居タ ソコ處カイ  
熊倉來場 準會員ノコトヲ極メル 中々一生懸命デアッタ

◆▼41ページ◆▼ 昭和6(1931)年2月6日(金)

天気 雪

朝ガタカラ雨ガ雪トナル 門松ヲ鈴木ノ自動車デ一所ニ出張サセ、石川ヲ上京サセ、  
郵便局デ金ヲ取ラセテ出張サセル 自分午後上京 佐藤ニテ石川ノ預ケタ金貳十円  
ヲ受取り局ニ行キ、鈴木甲三ローンノボールベヤリングヲ駒林サンニ見テ貰フ 西川氏へ  
電話シテ聞合セ合格ス。木村秀政氏ハ駒林氏ノ同期ノ由 軽飛行機ノ設計ノ事ヲ一寸  
話シテ見ル 氏ハ、スキダカラ暇ガアレバヤルダロウトノ事デアッタ  
協会ニ行 桜田ニ行ク 百五十円受取ル。オト後協会ニ行ク

◆▼42ページ◆▼ 昭和6(1931)年2月7日(土)

天気 曇晴

午後山田早川両氏來場 東亜ノ三等試験ノ爲メ  
八字型ヲヤル頃風強クツヒニ中止ス 試験官帰ル頃ハ風ナイデ居タ 月曜カ火曜日ニ來  
ル由

四時頃ヨリ信太郎ヲ連レテ東日招待ノ大空軍ヲ見ニ行ク 寒イ晚デアッタ 十一時帰  
宅 大シテヨクナカッタ

◆▼43ページ◆▼ 昭和6(1931)年2月8日(日)

天気 晴

晴タレドモ風強ク寒イ日デアッタ  
霞ヶ浦ノ自動車二回、土地ノモノ一回、夜十一時最後ノモノ來テ運搬シ終ル 一台十  
五円ニテ決定 支拂フ  
母稲毛ヨリ帰ル。ナホ終日遊ンデ帰ル  
会報ヲマトメ表紙画ヲ畫イテ見ル  
東京ノ山崎來 雇ヒ入レル事ニス

◆▼44ページ◆▼ 昭和6(1931)年2月9日(月)

天気 曇

午前中原稿ヲ整理シ午後千葉多田屋ヘクラブ会報ヲ注文ニ行ク 千部デ一冊六錢五

▲▼45ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月10日(火)

天気 雪

昨夜ヨリ今一日北國ノ様ナ雪ガ降リツビイタ 一尺位ハ積ツタダロウ  
午前中四年度ノ帳簿記入ヲナシ午後写真ノ現像後佐野利君來。引續イテ十七八年  
前九州デ飛ンダ頃富松ノ部下トシテ働イタ櫛引君來 落ブレテ国ヘ帰ル旅費ヲ借リニ  
來タノデアッタガ、コチラモ何トモナライ時デアッタノデ僅カニ太田カラ一円六十錢  
借リタノヲ渡ス 本人モ的違ヒデ氣ノ毒デアッタガ止ムヲ得ナカッタ  
マグネトード、ネオンヲ付ケタラ非常ニヨカッタ

▲▼46ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月11日(水)

天気 晴

金ノ事ガ氣ニナツテ眠リ足リナカッタ 起床後早速奈良原氏ヲ訪フ。今日午後河野氏  
ヲ訪問スルトニナツテ居ルカラ明日午後津田沼ヘ行ク時返事ヲスルトノコトデアッタ。  
之レデヤ、氣ヲ樂ニシタガ、ハタシテ出來ルノカシラ  
午後上海ノ遼東時報ヘ出スベキ写真ヲ整理シ手紙ヲ書ク 殊ニ清平ト大坂ノ兄、盛岡  
ノ阿部君ニ手紙ヲ書ク 氣ガ清々シタ  
明日奥山ノサル検査ノ爲メ組立ノ方作業ヲナス

▲▼47ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月12日(木)

天気 曇

奈良原氏ヲ待ツタガツヒニ來ラズ

▲▼48ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月13日(金)

天気 曇後雪

今日ハ五十錢ノ金モ無イ時ニ稲毛カラ林トカ云フ男ガ來テイヤニナッタ。米一升持タセ  
テ歸ス

朝大口來 東京ヘ行ク。奈良原氏來 明日午後一時カラ桜田ビルデ、クラブノ發展策  
ニツキ協議シタイトノコトデアッタ

川辺、鈴 鈴木ニ五百円借金ヲスルニツキ返済ニツキ同日中ニ手配セヨト云ッタガイツモ  
ノ通りノ口約デラチ明カズ。今後絶対ニ免(マ)倒ヲ見テヤライコトニ決心ス  
川辺ニモ金話シタガ出來ズ

◆◆49ページ◆◆ 昭和6(1931)年2月14日(土)

天気 曇リ

川辺ヨリ四円受取ル 二円ヲ安岡ニ二円ヲ家ニ二円ヲ以テ上京  
佐藤ニヨリ操縦線ヲ七十米突貫フノニ骨折レタ 最モ昨年ノ金ヲマダヤラナイ爲メ、之  
レニツケテモ鈴木ガ、シヤクニサワル  
一時桜田ビルニ行ク 衣笠氏來 引續キ兒玉奈良原氏古川へ行ッテ來タ 大變良好ダ  
ツタノコトデアッタ  
イオ五時迄会談 左記ヲ決定ス  
名稱ハライトプレーンクラブトス。輕飛行機製作所ハ止メ第一会則改正。第二会長及  
役員ノ決定承認ヲ得ルコト 第三金ノ募集。第四太平洋横断ヲ行フコト  
右ニツキ十六日飛行館ニテ会合ノコト

◆◆50ページ◆◆ 昭和6(1931)年2月15日(日)

天気 晴曇リ

今日ハ新会員ガ來ルトノコトデ心待チニシタガ、ツヒニ來ナカッタ  
朝安岡ニ太平洋横断ノ件ヲ話ス ヤルトノコトデアッタ  
電報ニヨリ上野來 十八日東京記者クラブノ連中ガ來ル迄ニ發動機ヲ持ッテ來ル様ニ  
尚兒玉氏ノ事傳ヲ連(ママ)エル  
吉田重雄ノ樺太飛行ノ件ニツキ相談ヲ受ケル モット具体的ニシテカラ樺太長官へ話シ  
スル様ニ、サトス。  
高橋氏ノ写真ヲ写ス  
清平來 二十円渡ス ツラカッタ 米屋ノ拂ヲ終ッテ一俵取り夜稻毛ヘ一斗母ガ持ッテ  
行ク

◆◆51ページ◆◆ 昭和6(1931)年2月16日(月)

天気 曇リ夜雨

朝早く出ルツモリガヤハリ九時半ニナッタ。鈴木伊ヲ船橋迄同道 ガソリンヤト宗里ヘ  
使ニヤル 両国十時四十五分着 五十錢タクヲ急ガセテ十一時丁度飛行館ニツク。ダ  
レモ居ラズ 其間ニ圖書室ニ行キオイロー。パ號ニツキ研究ス 十二時三階ニ歸ル 衣笠氏  
居リ地下室ニ行キ。バンデ食事ヲ済マセ、氏ノ改案ニナル趣意書ト目的ヲ見セテ貰フ 大  
体ニヨシ 終ッテ二時迄ノ予定ニテ局ニ行キ辻本氏ヨリオイロー。パ號ニツキ知ルダケヲ聞  
ク

井上氏ニアブロ拂下ニツキ懇談スアブロー台ハ確実

二時飛行館ニ帰ル 奈良原児玉氏スデニ來館 一通リ打合せシテ、長岡氏ニ面會。會長ノ件ヲ頼ム 例ニヨリコトワル 予定通リ他ニ物色スルコトナル。ツヒデニ蟻川氏ニ皆デ會見 オイローパ號ノ件ヲ話ス。タゞ聞キ居クトノコトニ大ニシヤクニサワツテ、少シツコンデ居ク。タゞアノ室デ長岡氏ニ會ツテ話サレテ來タコトヲ云ツタノハ実ニマツカツタ十八日ノ打合せシテ分レル

道永君其他二十八日ノ件打合せ 各社へハ、ハガキヲ出スコトニシ帰途佐藤ニテ書イテ出ス

宮崎氏ト飛行館ニテ夕食ヲ共ニシ、グライダー設計ノ件ヲ依頼ス 承認ヲ得 札ハ設計料ト一万ニ一台賣ル毎ニイクラト云フコトニシ金額ハ定マラズ 九時兩國發ニテ帰ル 今日ハ大分働イタガ少シモツカレヲ、オボエナイ 昨年末ヨリ大分身体ガヨクナツタ様ダ

▲▼52ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月17日(火)

天気 曇リ

明日ノ準備デインソガシカツタ

谷津へ注文ニ行ツテ谷津ノ様子モ少シ聞ク 千葉ニ行クノニ旅費ガ不足シタノデ、手紙デ原稿ノ追加ト会報ノ字ヲ送ル

夜早く床ニ入ル

▲▼53ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月18日(水)

天気 雪

朝カラチラゝシテ氣ヲモマサレタ 晝近クハ本降りニナル 千葉ヤ船橋ノ支局カラ東日、毎夕、時事、報知ノ四社來場 一時半頃飛行ス 桜田氏、児玉氏、衣笠氏、他二三氏アトヨリ鳥飼氏モ來場 成績ハマヅ上ノ部 道永君カラ電話ヲカケテ呉レトノ電話アリ 皆ヲ送り帰シテカラ懸ケニ行ツタノデ四時頃ニナル 丁度、ソチラエ行ツタトノコトニスグ帰ツテ見ルト道永君ト渡辺一英君ガ來テ居タ 一通リ話シス 六時迄ニ帰ルノダトテ急イデ帰ル

今日ハ一寸ツカレタ 思フ様ニ行ツタ様デ行カナイ様デソレニ金ガナクテヤルノデ、ソレガ第一ニ困ツタ

朝ラジエター四個出ス。塗料引取リノ間ニ合ワズ 夜金ニナル 待ツテ居タ河野氏來ラズ。明日奈良原氏ト同道スルコトニナル

▲▼54ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月19日(木)

天気 曇リ

十一時奈良原氏宅ニ行クノデ、スデニ出ラレタアトデアッタ 二時桜田へ行クトノコトニ上京 佐藤ニテカシタイト、ゴムカンヲ頼ミ今日二十五円ダケ入レルコトヲ約シテ桜田ニ行ク 先生スデニ見エテ居タガ、河野氏モ外出後デアッタ由デ、明朝早ク行クコトヲ約シテ、桜田ノ金貰フ爲メニ五時迄待ツ。ヤット受取ル 児玉氏モ来店サル 六時協会ノ懇談会ニ行ク 川辺氏居リ今日上野ガ奥山ノサルロンゲロンヲ折ッタトノコト。兎ニ角材料ガナイ筈ナノデ懇談会後、佐藤デゴムカンヲ受取ルコト 本所ノ上森ニ行キ材料ヲ求メ、トラックヲ頼ンデ十一時帰場ス

◆◆55ページ◆◆ 昭和6(1931)年2月20日(金)

天気 晴

六時起床 奈良原氏宅八時十五分前 スグ同道シテ浜谷ノ河野氏訪問。五百円ノ件ハドウモアヤシカッタ

先生ハ大丈夫 火曜日迄ニ金ニスルトハ云ワレルガ、アテナナライ、ノデ其足デ局ニ行キ先ヅ、サルノ検査ヲ廿三日ヲ廿四日ニ延期シ補助金ヲ調べタガマダ査定ガシテナカッタ。ドーセ今月ノ金ニハナライ

井上喜代司氏ニ各務原拂下ノ件トアブロ此次ギノ分ヲ依頼シテ、協会ニ行 門松ノ奨励金ノ件ヲ馬場氏ニ頼ンデ晝頃帰ル。丁度奥山氏來テ居タノデ自分ヨリ、附言シテ居ク。今朝鈴木ヲ代理トシテヤツテ居イタガ

今日ハ非常ニツカレテ床ニ入ル

上野ガコワシタノハ、ウソデ石川デアッタ 全員努力シテ復旧ニツトム 二時迄夜業 博文館日記ノ懸賞発表 時事新報一、二等以上 三等以下ハ朝日、少年世界 各四、五月號ニ発表

◆◆56ページ◆◆ 昭和6(1931)年2月21日(土)

天気 曇リ

今日ハ又寒カッタ 鈴木伊ヲ局トゴム紐買ヒニヤル

午前クラブ会員ヲ集メ、過日來ノ経過ヲ話シ大里入会金ノ處分ニツキ協議シ内百円ヲ工場へ取ルコトニス 門松協会ノ金渡ストノ通知アリ。ヤット少シ安心シタ 保健課ヘモ行クノヲ今日又行ケナクナル

奈良原氏、末綱飛行士同乗 晝食後夕方帰ル アマリ輕ハヅミヲシテ呉レナケレバヨイガト、ナントナク警戒シテ居ク

今夜モ夜業シテ胴体羽布カブレセル

▲▼57ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月22日(日)

天気 雪

終日雪降ル

▲▼58ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月23日(月)

天気 雪曇リ

五時半起床 六時出テ所沢ニ行ク 高橋ニ会フ 田中大坂へ児供ヲ連レテ行ツテ居ラナイトノ事デアッタ。アンリオノ翼モナイトノコトデ、木暮君ニ頼ム。タイムスノ出張員仲君ト会ヒ入札其他ノ手續キヲスマス

運送店ヲ聞クト一台三十円トノコトニ機体ハ高橋へ預ケテ取りニヤルコトニス。仲君ト高田ノ馬場デ晝食ヲ共ニシ、スグ協会ニ行キ門松ノ奨励金七百五十円受取り、木村氏ニ電話シテ研究所ニ行ク

ライトプレーン設計ノコトヲ頼ム 大変賛成シ橋本質舗氏ト相談ノ上ヤルコトニ決定 橋本氏モ蔭カラ大ニ援助スルトノコトデアッタ 報酬ハクラブノコトデ、大シタコトモ出来マセンガト云フトソレニハ及バナイトノコトデアッタ コノ心持ナラヨシ

尚新宿デ夕食ヲ共ニシ図エト其室屋ニツキ次回月曜日會フコトニシテ分レル

児玉氏宅訪問 途中ニテ會ヒ一寸話シテ分レル

▲▼59ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月24日(火)

天気 晴

十一時頃辻本堀井君來場 自分協会ノ評議員会ニ出席ノ爲メ上京ヲコトワツテ出ル 無事予定通り皆終リタル由

協会ニ何事カト思ツタラ理事二名ノ補欠デ会長指名デ戸川航空局長ト西野輸送会社々長デ、アツサリ終ル

児玉衣笠氏來館。安達氏ヲ照(マ)介 オイローパ號ノコトヲ聞イテ貰フ。後チ桜田ビルノ義勇飛行團ヲ訪問シ武崎君ニ會フ 仕事ハヤリソウナ男デアッタ

児玉氏衣笠氏ト銀坐ノサクラオデンヤデ夕食ヲ共ニス クラブノ会員ノ名前ヲ一寸見タガ承認ヲ得ノハ僅カニ三四名デ問題ニナラナカッタ ヤハリ自分デヤラネバダメダ

▲▼60ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月25日(水)

天気 晴

ドウヤラ天気モカタマツタヨウダ

十時迄眠ツタ。奥山氏來場 変更登録申請書ヲ書イテ渡ス 鈴木伊二局へ持ッテヤル  
午後保健課へ昨年一二月分ノ式ヶ月分ヲ持ッテ行キ不在ノ課長ノ帰ルノヲ待ッテ三月  
四月ハ一ヶ月分ツ、五月ニ残リノ半分ヲ入レルコトニ約束ス

千葉活版ニヨル 二十八日中ニ会報ヲ作ルトノコトデアッタ 四時帰宅

飼鳥時代來ル 夜金太郎來 船橋デ肉屋開業ノコトヲ話シス 金五円渡ス 早く床ニ  
入ル

▲▼61ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月26日(木)

天気 晴

上京 飛行館ニテ奥山熊倉君ニ會フ。磯部氏モ居タ 共ニ晝食ヲナス。熊倉君ニ、クラ  
ブノ現状ヲ話ス 馬詰ニ会フツモリデアッタガ來ラズ。久松氏ニ會フ  
製圖用トシテ協会ノ空室借りルコトヲ馬場氏ニ頼ンデ居ク。夕方早く帰ル

▲▼62ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月27日(金)

天気 曇リ

終日在所 鈴木奥山へ請求ニヤル 十日頃迄待ッテ呉レトノコトデアッタ由 宗里氏寢  
テ居テ二三日内ニ行クトノコトデアッタ由

▲▼63ページ▲▼ 昭和6(1931)年2月28日(土)

天気 晴

昨夜眠レズ二時半迄クラブノ会則ヲ書イタリシタ

朝船橋ニ奥山氏訪問 サル代金取アエズ明後日百円ダケ入レルコトヲヨク頼ミアトハ一  
週間後デモヨイコトニシテ帰ル

クラブ会則ヲ請求ス

高橋氏夕方帰ル ギヤー借り方不調ノ由

高山君來 十円ダケ渡ス 尚製圖ノコトヲ聞ク 一ヶ月五十円アレバヨイトノコトデ頼  
モウカト考ヘニ入レテ居ク

▲▼64ページ▲▼ 3月

クラブ組織決定ノコト 八分通り

グライダ―

軽飛行機設計進行ノ事(前月木村氏ニ依頼済ミ) 計算中  
収入ヲ計ル事 未ダ

◆◆65ページ◆◆ 昭和6(1931)年3月1日(日)

天気 晴

北西ノ風強シ

奈良原氏來場 太平洋問題ニツキ安岡ノ意見ヲ聞キニ來ラレタノデアッタ。  
午後鈴木伊來 石川帰ッテ來テ復職ヲ申出奥山君ノ手紙ヲ持ッテ來ル

◆◆66ページ◆◆ 昭和6(1931)年3月2日(月)

天気 晴

高橋氏ト上京 同氏友人都合悪シク會エズ。共二日日ニヨリ研究所ニ行ク 木村氏ヨリ  
發動機調査ヲ頼マレル 氏ノ意見ハ式百キロ以下ノモノニシタイトノコトデアッタガ単坐  
ノ予定デアッタノデ何ントカ複坐ニシテ貰フベク計算シテ貰フコトヲ頼ム 尚圖工ハ高山  
ヲ頼ムコトヲ想(ママ)談 決定シ計算ノ手傳ヒガ入ルトノコトニ清平ニ聞キヤルトノコトニ  
スグ照(ママ)介シテ居ク。飛行館ニ兒玉氏ニ會フ。奈良原氏來場上京ナク、七時頃迄  
共ニ將來ヲ話シ重心安定装置デ金ヲ出サセルコトハ止メサセル。加藤ハ数回電話シタガ  
ツヒニ來ラズ

◆◆67ページ◆◆ 昭和6(1931)年3月3日(火)

天気 快晴

船橋ノ奥山ニヨル 千葉醫大ヘ行ッテ不在。スグ上京 加藤氏ニ會ヒ漸ク三十円ダケ受  
取ル。局ニヨリ井上氏ニ拂下ノ件ヲ依頼シ会報ヲ全部ニクバリテスグ帰宅。恵美会ノ金  
トクラブノ予金ヨリ七十円借りテ銀行ノ手形ダケ済マセル  
安岡小供マダ、ヨカッタリ悪カッタリ  
徳次今日ヨリ學校ヘ行ケル様ニナル 恵美子帰校後頭ガ痛ムトノコトニ醫者ヲ迎エル 中  
耳炎ノ上ニ少シ肺炎ヲ起シカケテ居ルトノコトデアッタ。シツプシテ氷デ冷ヤス  
日野君タ方來 六日ノパ راشユートニツキ打合せ

◆◆68ページ◆◆ 昭和6(1931)年3月4日(水)

天気 曇雨

森早川両氏來場 東亜ノ二等トクラブノ三等 埴山ノ試験少シヤリカケタガ雨ノ爲メ

中止ス

▲▼69ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月5日(木)

天気 晴風

今日モ風強ク試験明日

奈良原氏來場 時事ノ重役ト会見 太平洋飛行ノ件進行ヲ語ラレタガ、ドウモ余リ  
氣ガ進マナイ ナルベク発表サレナイ様ニトイサメテ居ク 何ニヨリモ金ノ支出ガアルト  
スレバアトハ使用機ノ性能ノ問題デアルイオ 自分等ガヤルノ二人ニ笑レル様ナ事ハシタ  
クナイ

三時頃ヨリ千葉ニ竹内君訪問 コンパーヘノ事ハリ状、サルムソンスコーピオン等ノ聞合セ  
状等ヲ依頼シテ帰ル

▲▼70ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月6日(金)

天気 曇リ晴

今日ハ宮森美代子ト云フ女ヲ日野ガ降ロスノデ朝カラ海岸ヘ大變ナ人出デアッタ。マグ  
ネト故障デ一寸オソクナリ十二時半実行 久々田沖ニ降リタ 高度五百五十米 身  
ガ輕イ精力落下速度ハオソカッタ。ソレデモ一分四十五秒シカ、カヽラナカッタ。新聞記  
者ト写真班デ一杯ニナッタ

森航空官來場 五十嵐、内田ノ二等、埴山ノ三等 今日一日デ全部終ツタ

今度ノ汐ハ今日ハ朝九時頃ヨリ引初メ午後四時ニ及ンダ 朝夕ノ間ガ少シモ引カナカッ  
タノハ例ヲ見ナイコトデアッタ

恵美子悪ルク鷺沼病院ノ若イ醫者デハ頼リナイノデ、千葉ノ島ヲ頼ンダガ來ラズ  
夜ニナツテ益々不安ナノデニ二三サガシタ上千葉ノ長氏ニ來テ貰フ。スデニ両脚ヲオカシ  
痛ムノハロクマクヲオカサレテ居ル爲メ少シ手後レノ形チ 入院スルニモ動カセナイトノ  
コトニ看護婦ヲタノムコトニス 早速工場ノビンデ酸素吸入ヲヤル

▲▼71ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月7日(土)

天気 晴

昨夜ハ少シヨカッタノデヨク眠レタ ソレデモ家内ハ一時間每位ニ起キタ由

夕方長醫師來 昨日ヨリハ大分ヨイトノコトニ安心シタガ夜ニ入ッテ、イタイヽヽデ寢  
サセズ閉口 晝頃來タ二等看護婦安西ト云フ太ツタ女モツヒニ眠モシナカッタ。自分  
ハ床ノ中デ目ハツブツテ居タガ眠レナカッタ 二時半家内ヲ起シテ安西君ニ樂ヲサセ様  
ト思ツタガ、身体中イタガツテヤハリ寢レナカッタ

前夜北々西ノ風ハゲシク廿米以上ト思ワレタ

▲▼72ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月8日(日)

天気 晴

昨夜眠レナイ割ニ何トモナカッタ

晝前川辺君ノ起キルノヲ待ツテ安岡ノ太平洋飛行ノ件 金ノ件ニツキ交渉ス 太平洋飛行ハ安岡ノ委任状ヲ貰ツテ交渉ノ任ニ當リタイトノコト 確答ヲ與エズ。金ハ一兩日中ニ五十嵐カラ這入ルトノコト。尚内田父今日來場スル由ナリシモツヒニ來ラズ

午後竹内君ニ行ク 昨日コンパーカラ電報ガ來タノデ見テ貰フ ヨク分ラナイガ兎ニ角返事ヲ急グトノコトデ返事ヲ書イテ貰フ 四時帰宅

富田氏千葉ヘ行ク時來場 帰場シタラ、スグニ帰ッタアト 妻君飛行機ニ乗ッタ由クラブ員ヲ集メ拂下ノ事ニツキ注意ヲ與エ尚修理金ノ事ニツキ高イ安イノコトヲヨク話シテヤル 大分、分ッタラシカッタ

▲▼73ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月9日(月)

天気 晴

昨夜十一時頃七度何分カニ下リ今朝カラ夜迄六度二分カラ七度五分ノ間ヲ上下シタガ次第ニ降り坂デ先ヅ一安心シタガ、マダ苦シイノト痛ヲ告ゲ足デアバレテ困ツタ。ソレニ藥モ何ニモノマナイノモ悪ルカッタ

朝田辺ノ手形先月分書替エ書留ニス。マダ出シテハナカッタ様ダ

鈴木伊ヨリ鈴木菊ニ金ノ件請求 急デアツタ處カラ自分立会ヒノ上毎月百五十円ハ前貸金ノ内ヘ格納庫料ハ別ニ納入スル事 但シ金ノ都合デーニヶ月ノ延期ヲ認メルコト新規製品ハ現金ノコトト極メル

夕方藤原ハンサーニテ飛來 定期検査ヲ受ケタシトノコト 明日見積リシテ呉レトノコトニ明日ノ上京見合せノ必要ヲ生ズ

鈴木伊川辺ヨリ自己ノ給料残金ダケ受取リタル由 自分断ジテ、ナサザル様注(ママ)告ス

奥山明日金何處デ呉レルカラ聞キニヤル 東京ノ由  
内田隆平氏ヨリ越後名物笹ノ餅ヲ呉レタガ本人來ラズ 金モヨコサズ 明日來ル様云ッテヤル

▲▼74ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月10日(火)

天気 晴

今日奈良原氏宅ニテ会合スルトノコトデアッタガ藤原機ノ見積リガアルノデ行ケズ 安岡ト川辺午後行ク

藤原晝頃來見積書ヲ渡ス フロート八井上氏ニサガシテ貰フコトニナッテ居ル由

後チ事務所前花壇ヲタガヤス

恵美子ハ大變ヨイトノコトデアッタガ、何シモ喰ワナイノデ困ル

鈴木局ト空中作業会社ニヤル

▲▼75ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月11日(水)

天気 晴

恵美子次第二ヨク右肺ハタ方快復セリトノコト 左ガマヒドイ由 食物今ダ進マズ

内田親父來場セリトノコトナリシモ來ラズ 佐藤君東京ヘサガシニ行ク

川辺請求 十円ヨコシ明日マトメテ入レル由。奥山五円入レル 明日ノ旅費ダケシカナク閉口

▲▼76ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月12日(木)

天気 晴

北西風強ク快晴 七時半ノ一番自動車ニテ出發 八時五十五分金町發 十時航空隊

ニツク 御国ヨリ久保田太來場セシモ井上氏次ノ列車ニナル由電報アリ

一時辻関根ニ行キタイヤー式組トチユーブンニ二本デ十円デ買フ 一時井上氏來場

外田中、木暮、猿田來ラズ 下見後本部ニテ予算ヲ作り明日自分代表トナルコト 田

中不参ノ場合ヲ思ヒ判ヲ用意シテ呉レトノコトデアッタ 二時三十六分ニテ井上

氏ト同乗シテ帰ル 車中打トケテ種々話シス。明日自分デ行クコトニス。五時帰宅

恵美子食欲進ミイタミナク大ニヨクナル

安岡帰場 千葉橋本局ニテ無罪ノ云ヒ渡ヲ受ケタトノコト

▲▼77ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月13日(金)

天気 晴

方々六時頃カラ努力シテ鈴木ガ三十円十時頃出來タガ質受ケノ時間ナクアトカラ送ラセルコトニシ川辺ノ七円宗里ノ五円其他合セテ十三四円ヲ持ッテ上京。奥山ヘ行ッタガ加藤氏居ラズ。アトカラ送金ヲタノンデ、大蔵ニ電話シ會ッテ東京駅迄送ッテ呉レタ。清平ニ電話シタラ欠席届ガ出テ居ルトノコトニ帰ッタラシカッタ 十二時四十五分桜号ニテ出發。夜十時着 帰宅 満員ノ盛況 思ッタヨリ盛ンナノデ一寸安心シタ 兄ニ聞クト竹島デ五百円借リタトノコト 奥山カラ送金シテナカッタ

話シニヨルト昨夜風呂ノ中デ死ンダトノコト 近頃ハ非常ニ丈夫デ最近迄新世界ニ行ッテ居タノダソウダ 実ニ樂ノ往生デアッタソウダ

▲▼78ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月14日(土)

天気 晴

天候都合ヨリ金ト着物ガ來ナイノデ氣ヲモム 借着シタアト小包ツク 東亜、鈴木、クラブニテ三十円來 花ヲタノムトノコト 大急ギデ花環ヲ間ニ合ス  
出棺前ノ讀經ニ涙ヲ催ス 四時ヨリ五時迄海泉寺ニテ葬儀 イヨ、オワカレ。五時十五分阿部野火葬場ニ送ル  
帰ッテ慰勞宴アリ 手傳人三十余人 賑ヤカデアッタ。十時頃失礼シテ床ニ入ル

▲▼79ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月15日(日)

天気 晴

八時前起床 仕度シテ九時頃ヨリ骨上ゲニ行ク 半吉、一郎、清平同行 帰ッテ佛前ニカザル  
兄計算昨日迄ニ香奠六百五十円程支拂 八百七十円程デアッタ  
午後新世界ノ姉ノ家へ行ク 今日ハ身体ガ悪クナイカト思ッタガ起キテ仕事ヲシテ居タ  
夜十時迄遊ンデ帰り十二時床ニツク 父ノ空屋ニ寢ル

▲▼80ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月16日(月)

天気 晴

川辺、鈴木、クラブノ花環代三十円ヲ局デ受取ル  
午前中兄ノ家デ七日七日ノ忌ナドノ手傳ヒヲナス  
午後ハ新世界ニ行キタ食後、絹子ト万歳ト云フノヲ見ニ行ク 十錢デヨク、アレダケノ  
モノガ見セラレルモノト感心シタ  
スベテガ安イノニ驚ク スシガ九錢均一デアルガ建物や喰物屋ノキタナラシイノハ氣物  
(ママ)ガ悪イ  
十時帰宅 今日ハ新世界デ泊ル

▲▼81ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月17日(火)

天気 晴曇リ

今日ハ佐渡島ニ行ク予定ヲツヒニズベヲシテ仕舞ッタ。鈴木ヨリドコモ取レズ 富田氏ニ

借りタトテ百五十円送金シテ來タ。コレデハ宅や工場員ニマダ、チットモヤレナイデアロウ 氣ニナル

初七日デ夜觀音講ヲツトメル

藤原ハ二十日頃迄居ルカラ大坂デ取引スル様ハガキ出ス

◆◆82ページ◆◆ 昭和6(1931)年3月18日(水)

天気 晴

昨夜ノ雨晴レテヨイ彼岸ノ入

家内ヨリエミ子肋膜患シク、ウミヲ取ツタ由 看護ハ其爲メ帰サナイトノコト

信太郎ハ三年ニ進級出來タ由

百五十円受取り清平同道佐渡島ニ行ク 急(マ)ガシソウデアッタガ三十分バカリ話ス 会フトマダ、話シガ、ツキナカッタ

大毎ニヨッタガ福地氏居ラズ、鳴尾ニ川西ヲ訪フ 坂東氏、戸川氏、海江田氏関口氏等ニ會フ 立派ナ工場デアッタ 今度ノ大飛行艇モ見ル 四時過迄カ、リ帰ル エミ子ノコト氣ニカ、ル

◆◆83ページ◆◆ 昭和6(1931)年3月19日(木)

天気 晴

朝起キテ食後休ンデ居ルト藤原君ガ金ヲ持ツテ來タ 思ヒガケナカッタノデ、ウレシカッタ 四百円受取ル 急ニ出發スル氣ニナツテ今夜十時半ニ乗ルコトニシ藤原君モ行クト云フノデ同行スルコトヲ約ス

清平ト大坂飛行場ノ見学ニ行ク 佐々木氏不在 関氏ト久シ振リデ會フ 輸送会社デハ支所長ヤ浅香氏ニクラブノ入会申込ミヲ貰フ 橋本君ノ案内デ見学ス 鈴木音助君ガ飛ンデ來テ挨拶シテ、スグ福岡ニ出發シテ行ッタト同時ニ福岡カラノ上リ便ガツイタ 乗客二名 手キワノヨイモノダ。終ッテ朝日新聞ニ小西サンヲ訪問 申込書ノ請求、マトメテ送ルトノコトニ御願シテ居ク 父ハ香奠ヲ二十円呉レタ  
夕食ハ新世界デ馬ヲ馳走ニナリ九時半恵美須町出ル。藤原ハ一足先ニ行クト電報ガ來テ居タ

◆◆84ページ◆◆ 昭和6(1931)年3月20日(金)

天気 晴

眠レナイノデカナリツカレタ

十時東京着 清平ヲ津田沼ニ先發サセ局ニ行ク 井上氏ニ會フ アブロ工場トクラブニ

式台呉レタノデスグ拂込ミヲス 百八十余円デアッタ  
飛行館ニ行キ コンパー会社ヘノ手紙 サルムソン会社等ヲタイプライターシテ貰フ  
コンパーへ今日漸ク事ワリノ打電ヲナシテヤレ、ト重荷ヲ降シタ心地ス  
児玉サンヲ桜田ビルニ尋ネタガ会エズ 航空時代ニ四月号ノ金ヲ拂フ。飛行クラブニ入  
会ス

四時帰宅 工場ニ五時迄状況ヲ見分シテ宅ニ入  
恵美子元氣ヨカッタガ昨日モ、ウミヲ二百グラムばかり取ツタ由 其前ニ六百グラム  
位モ出タトノコト 明後日ノ経過ニテ手術ヲ決スル由

◆◆85ページ◆◆ 昭和6(1931)年3月21日(土)

天気 晴

余リノ上天気ニ小供男三人ト角ヲ連レテ上野ノ動物園五十年記念ヲ見ニ行ク  
大蔵宅ニ一寸立寄リ上ラズニ松坂屋デ晝食ヲスベク行ツタガ人デ動ケズ両国駅デラン  
チヲ喰サセテニ時帰宅  
金太郎來 地所デ金融シテ呉レル人ガアルノデ借リテハドウカトノコト 要ハ金太郎ノ  
資金ヲ借リタイラシイノデアッタガ借金ヲ差引タラ金ガ残ラナイカラダメダト事ワル  
方法ガナラネバ津田沼ヘ帰ツテ茶店デモ出ス様ニ云ツテ居ク

◆◆86ページ◆◆ 昭和6(1931)年3月22日(日)

天気 晴

今日ハ草花ノ種蒔キヲ仕様ト思ツタガ次ギ々々ト奈良原氏奥山氏ナド來客アリテ出  
來ナカッタ  
奈良原氏代トシテ明日川辺君ニ時事新報ヘ其後如何ニスルヤヲ聞キニ行ツテ貰フコトト  
ナル  
鈴木伊四郎ヨリ過日不在中ノ努力ニ対シ昇給(七十円)ノ申出アリ。イヤナヤツ 考慮  
シテ居クトノミ返事シ尚充分期待ニ添エナイカモ知レヌコトヲ云ツテ居ク

◆◆87ページ◆◆ 昭和6(1931)年3月23日(月)

天気 晴

南風強ク、児玉氏來場トノコトニ上京ヲ止メ鈴木ヲヤル  
大口來 鳥飼ノペラ削ラセル  
児玉氏午後児玉山本両氏同伴工場ヲ見テ帰ル 風強ク同乗飛行不能  
安岡、高橋今日モ帰ラズ。ノンキノモノタチデアル

▲▼88ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月24日(火)

天気 晴風

船橋ニテ畠山検査官ヲ待ち合セ平松君ノアブロノ見分ヲ終リ十年式ノ検査ヲタノミ、谷津ニテ晝食ヲ出シ工場へ案内シテ自分ハスグ上京 飛行館ニ行キ兒玉衣笠氏ト会見太平洋飛行問題其他ヲ議ス

木村氏ト会見 一人乗スコープオンカ二人乗サルムソソカノ問題ニ対シ木村氏ノ自信アルモノトシテスコープオンノ方ヲ作ルコトニ決定 取アエズ雜費トシテ金二十円渡ス

▲▼89ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月25日(水)

天気 晴

北風寒カッタ

時事新報カラ重役ガ契約ニ來ルトノ安岡ノ話シニ兒玉氏ニ打電シテ來テ貰フ 奈良原氏來待ツタガ來ラズ午後川辺君上京 社ニ行ク 奈良原兒玉安岡ト船橋迄行ツテ社へ電話スル 結果本日マトマラズ明日返事スルコトニナツタトノコトニ兒玉氏ノ案デ三田浜樂園ニ行ク 川辺君ノ歸リヲ待ツタガ來ラズ 長島君來 様子ヲ聞ク。明日重役ノ調節全部ガ終ツテ決定スルトノコトデアッタ 十時過ぎ迄ノム

安岡ガ四十五円三田浜ニ歸リ借リヲ作ツテ居タノデ昨年分ダケ支拂ツテヤル 三十六円余

▲▼90ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月26日(木)

天気 晴

今日ハ急(マ)ガシイ日デアッタ 高村君同道、シーベル商会ニギヤノ交渉。青木氏ニタコマ市号購入ノ交渉ヲ依頼 飛行館ニ行ク。兒玉奈良原氏ト会見 時事ノ返事ヲ聞ク 金六出サナイデ紙上ノ後援ダケ タ方川辺君衣笠氏モ來場シタガ議マトマラズ自分案トシテ機体手ニ入ツテ時事実行費出セバヤル 然ラザレバ止メルノ外ナシト決定 青木氏ノ返事ヲ明後日聞イテ決スルコトトス。

石川ヨリニケ月分金受取ル。岡田氏ト會見 羽布受取ル

▲▼91ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月27日(金)

天気 曇後晴

所沢ヘタイムスノ機体取リニヤル。田中ニ手紙ヲ付ケアンリオノ件ト橋本ノ件ヲ云ツテ

ヤル。高川ヲヤル予定ガ徴兵検査ノ下調べ壇山ト山崎ヲヤル  
安岡ニ昨夜迄ノ経過ヲ話シ出来ナイ場合ノ覚后(ママ)ヲ話シテ居ク  
船橋ノ長醫師ニ行キ五十円内入ノツモリデ金出シタラ十二円 余リノツリデ安イノニ  
嬉(ママ)ンダリ驚イタリ

町デ買物ヲシテ宗里ニ行キ高橋今朝治君ニ會フ 平松氏モ居テ明日カラ來テ呉レトノ  
コト 奥山君ニ明日金受取ルコトノ打合せヲス  
恵美子タ方長へ入院サセル 手術ノ必要ナキモ患部ヲ洗滌スル爲メ  
夜室屋ガ淋シカッタ 高橋氏ニ遊ンデ居テ貰ッテコーヒーヲ入レル

◆◆92ページ◆◆ 昭和6(1931)年3月28日(土)

天気 晴

上京 シイベルニヨル 見積書高橋氏宛ニ送ッタトノコトデアッタ 馬詰ヨリマグネト一  
ヶ受取ル  
清平ニ會ヒ同道シテ帰ル 青木氏ニタコマ市號ノ返事ヲスルツモリガ會エナカッタ  
帰ッテ聞ケバ奈良原児玉氏コチラエ來テ待ッテ居ラレタトノコト 自分ハ東京デ待ッテ  
居タノニ

◆◆93ページ◆◆ 昭和6(1931)年3月29日(日)

天気 晴

絶好ノ春日和  
工場作業ヲナス  
午後恵美子ヲ見舞フ 大分ヨカッタ  
清平午前中ニ帰ル  
奈良原氏來場 直昇翼ニツキ相談 トウ、計算ヲコッチデヤラネバナラス事トナル

◆◆94ページ◆◆ 昭和6(1931)年9月30日(水)

天気 曇リ

シイベル商会ノ見積書ヲ待ツ爲メ晝前上京 見積リ來ラズ  
シイベルニ行ク 小野氏預ッテ居タ 受取ッテ加藤氏ニ行ク 少シ後ニ來テ呉レ 六時頃  
迄ハイッデモ居ルトノコトニ飛行館ニ行キ奈良原児玉氏ニ會ヒ見積書ニヨリ九百円金受  
取ル。高山來 二十円二月分渡ス。川辺君水口君ニ會フ。シイベルニ品受取りニ行ッタ  
ガ横浜ニアルノデ明日取寄セテ居クトノコト

報知ニ九間氏訪問 吉原君ヲクラブノ名誉会員ニ推撰スルコトヲ申入レテ加藤氏ヲ訪

フ 五時迄待ツタガツヒニ帰ラズ 実ニ不徳義ナ人ダ  
大蔵、清平、小林ヲアスターニ招待シテ夕食ヲ共ニシ清平ニ直昇ノ翼ノ計算ヲタノム  
帰途船橋ノ奥山君ヲ訪フ 加藤氏マダ帰ラズ  
恵美子ヲ見舞フ 三十九度五分ノ熱アリ 醫者ニ分ツテ居ルノカ分ラナイノカ少シ頼  
リナクナル

▲▼95ページ▲▼ 昭和6(1931)年3月31日(火)

天気 曇リ

終日在所

草花ノ植替エヲ行フ

▲▼96ページ▲▼ 4月

一 クラブ会長推戴組織変更発表

一 作業促進ヲ計ル

一 軽飛行機設計進行

一 グライダー同ジク

▲▼97ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月1日(水)

天気 雨

仁三郎ノ入學ニツイテ行ク 栄明小學校ノ時トチガヒダシノナイ入學式ニアキレテ  
仕舞ツタ 何ニカ何シダカ分ラナイマゝ帰ル

午後雨がハゲシイノデ雨具ノ買物ニ船橋へ行キ病院ニヨツテ見ル 今日八三十六度迄下  
ツテ居タノデ安心ス

鈴木上京 局検査ノ件

奈良原児玉氏來場

▲▼98ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月2日(木)

天気 晴

北風強ク倶楽部アンリオ地上ニテアオラレ右翼端破壊ス

森航空官來場セシモ風ノ爲メ試験中止ス

川辺金受取りノ爲メ鈴木上京サセ五十円受取ル

シイベルヨリギヤ―到着 午後ヨリ早速作業初メル。奈良原氏來場  
上出君來場 羽布張換ノコトニ決ス 奈良原氏同道谷津ニ食事ニ行ク  
ABCスコピオン發動機交渉金剛商会ニ依頼ス

夕食後恵美子見舞 ヨシ

仁三郎徳次ト共ニ學校ニヤル 九時頃迎ヘニ行クベク仕度中一人デ元氣ヨク歸ツテ來タ  
アトデ聞クト時間ノ終ラナイ内ニサッサト歸ツテ來タラシカッタ 大笑ヒ

◆◆◆69ページ◆◆◆ 昭和6(1931)年4月3日(金)

天気 晴

絶好ノ祭日日和

工場作業ヲナス

クラブ上仲鈴子、東亜ノ川辺愛子、小泉通信大臣ニ招待サレ帝国ホテルニテ午餐ヲ受  
ク

午前恵美子ヲ見舞ヒ船橋駅前ニテ植木二三求メテ歸ル 午後エミ子又ウミヲ百五十  
グラム程取ツタ由

今朝夜中ニ仁三郎頭ガ痛イトテ鼻ヲツマラセテ居タノデ自分ノ床ニ入レテ寢サセタ  
今朝カラ起キテ居タガ少シ変デアッタガ、夕方ツヒニ、タオレタ 熱ヲ計ルト九度四分  
アッタノデ驚イテ冷シタラ薬(オイシ)ヲ服マセル 船橋ヘ氷マクラヲ取りニヤル

◆◆◆100ページ◆◆◆ 昭和6(1931)年4月4日(土)

天気 晴

今日ハ太平洋問題ニツキ打合セアリトノコトニ仕度シテ待ツ 何ニ方頭ヲ統一シテ之レニ  
対シ策ヲ、ネラネバナラヌト思ヒナガラ、ドウシテモ頭ガマトマラナカッタ 其内奈良原  
氏來。正午児玉、衣笠両氏來場

二時頃長島氏川辺君安岡君揃フ。時事ト契約ニツイテノ打合セ上、太平洋横断期成  
同盟会ヲ廃シ日本航空記録作製会トシ会長ヲ奈良原氏 其他会合ノ者ヲ幹事トシテ  
交渉スルコト 機体ハ借入交渉ヨリ買入レ方ヲ時事ニヤツテ貰フ様ニ運ブコト 局ヘハ時事、  
衣笠、自分ガ当ルコト 其他ノ打合セヲナシ六日午後二時時事ニ行クコトト決定ス 明  
日山本氏連レテ來ル由

仁三郎ハ順潮ニヨクナリ今朝ハ三十六度五分トナリ十時頃ニハ起キテピン、ハネテ居タ  
ガ、マダ鼻声ナノデ夜早ク薬ヲノマセテ寢サセル

◆◆◆101ページ◆◆◆ 昭和6(1931)年4月5日(日)

天気 曇雨

晝頃雨が降ッテ居タガ児玉氏來場 山本、児玉氏同道雨ノ晴レ間ヲ見テ二人同乗飛行ヲナシ、後チ三田濱ニ行キ晝食兼夕食ヲ出ス 山本氏早ク歸リ奈良原其他十一時頃ニナル 停留所迄送ッテ、長醫師ニ行キ仁三郎ガ寢テ仕舞テ居タノデ泊ル

▲▼102ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月6日(月)

天気 晴

一番ノ自動車デ歸リ仕度シテ上京 シイベルヘベヤリンク一個返シ三十四円五十錢返ル。スグ円タクニテ航空研究所ニ行キ木村氏ニ會ヒタコマ市號ニツキ調査シテ貰フ 全備重量四千五百五十キロ以上ハ飛行不可能ニテ其飛行巨(ママ)離四千百キロナル トテモダメト云フコトニナル

清平ニ會ヒ直昇翼ノコト及タコマ用参考トシテジュピタートワスプノ調査ヲタノミ歸リ飛行館ニテ児玉氏ト會ヒ右報告シテ共ニ時事ニ行ク スデニ皆集ッテ居タ 川辺、安岡、衣笠奈良原諸氏。四時過ギ漸ク伊藤重役出テ來テ担任者ノ照(ママ)介アリ。早速米大使ニ借入交渉開始ノ準備ヲ打合セ吾人代表奈良原氏ト社トノ契約書ヲ取リカワスニツキ下書キヲ社デ作ルコトヲキメテ分レ別ニ明日社ヲ通ジテ大使ニ交渉スル文案ヲ作りテ、後夕方方ヲ共ニ銀坐ヲ散歩シテ歸ル  
夜強風ニテ眠レナカッタ

▲▼103ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月7日(火)

天気 晴

鈴木ヲ拂下納金ノ件ニテ航空局千葉本金庫ニ出張サセル 太平洋用地図ヲ買フ  
富山氏晝頃來 鈴木甲三定期検査完成試験ヲ終ル 安岡操縦。外ニ境氏發動機内部検査ヲ終ル  
藤原ハンサー翼補強ニテヨロシトノコト

▲▼104ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月8日(水)

天気 晴

朝方一二児玉氏ニ行ク 今日八千円借リラレル日デアッタノダガ行ッテ見ルト山本氏ノ方ハダメデアッタカラ五百円借リルコトニナッタ。一寸変ニ思ッタガ氏ヲ信ジテ借り共ニ飛行館ニ行キ衣笠氏ニ會フ 御花見ノ打合セヤ作業服ノ注文ヲシテ歸ル

▲▼105ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月9日(木)

▲▼106ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月10日(金)

▲▼107ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月11日(土)

天気 曇雨

上京 会則ヲ注文シテ飛行館ニテ奈良原児玉氏ト会见

後チ清平、木村氏來 児氏共ニ今朝ニ行キ久シ振リデ肉鍋デ会食。タコマシ(ママ)市ノ性能、グライダーノ事、軽飛行機ノコトナド聞イテ散会 グライダー片岡君急グノデ同氏モ呼ビ木村氏ノ話シヲ聞カセ結局宮崎氏設計中ノモノガ早イコトニ極メソレヲ急ガセルコトニ打合せス

▲▼108ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月12日(日)

天気 曇雨

奈良原、児玉氏來場 夕方ヨリ共ニ上京 明日ノ辨当ヲサカエヤニ注文シ、久シ振リデ上野ノ丸万ヲ御馳走ニナル 児玉氏ヨリ大分話シヲ聞ク 自分モ色シナコトヲ話シタラシカッタ 少シヨッテ作業服ヲ受取り帰ル 船橋デ泊ル 本日養命酒ヲ求メテ帰ル ノミ初メル

▲▼109ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月13日(月)

天気 曇リ

一番自動車デ帰宅 作業服ヲ分ケ準備ヲト、ノエ九時半予定通リ出発 クラブ員モ全員参加 作業服モ間ニ合フ 夏見屋ヨリ花見手拭四十本ノ寄贈アリ。眞間駅ニ奈良原氏出迎エノ形デ居ラレタ 眞間神社ニ参拝 写真ヲ一枚取ル

十二時一寸前予定ノ里見公園ニツク 児玉氏スデニ來場 花ハ八九分通り 寒ニヨカッタ 大ナル事故ナク、タゞ高橋君ガ児玉氏ヲ山勘ト云ッタトテ児玉氏ガ大分怒ツテ居タガ二次会デ氣(ママ)嫌ヲ取り市川駅ニ送ツテ帰ル 夜八時頃

▲▼110ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月14日(火)

天気 晴

昨夜中降リツヅイタ雨ハ次第第二晴レテ上天氣ニナッタ

明日霞ヶ浦引取りノ手配ヲ命ジテ上京 途中船橋ノ奥山氏ニサルノ見積リヲ持ッテ行キ上京。会則ニ印刷シタノヲ受取り正午飛行館ニツキ、報知ノ地上勤務員送別会ニ出席ス 出席者少ナカッタ。二時半丁度日米號ガ霞ヶ浦ヘ行ク途中東京上空ヲ飛ブノヲ見ル 後チ廿一日ノ予定ヲ奈良原児玉兩氏ト打合セ道永君ニ話シ、尚小松氏西野氏ヲ役員ニ承認ヲ得ル

シイベルニヨッタガ目的ノ品ナシ。スライルビルデ時計ノ直シヲ受取り帰途病院ニヨル 信太郎ガ來テ居タ。恵美子ハ今日ハ馬鹿ニ元氣ガヨカッタ

◆◆111ページ◆◆ 昭和6(1931)年4月15日(水)

天氣 晴

霞ヶ浦ヨリ川崎第百二廻ル予定ニテ一番自動車ニテ出發 電車高砂乗替エヲ、新聞デ乗越シ立石ヨリ引返ス エンギデモナシ 八時五十二分二間ニ合フ。十時半ツイタラスデニ搬出中デアッタ 井上氏ニツギノイスパノ三百拂下ヲタノミ出ルトノコトヲ聞ク 浅見君ニ会ヒ十年式脚ノ代リニアシリオペラ一本出スニ少シキズアレドモ使用ニ堪エルトノコトニ交換スルコトトシ、グレゴア百円ニテ買戻シ契約(口)ヲナス

吉原君ニ會フ爲メ少シ待チ合セ名誉会員ニ推撰ノ件廿一日出席ノ件ニツキ話シ返事ヲ貰フコトトシテ分レル 二時ノ汽車ニナリ第百行キ中止シテスグ帰場ス 永ク工場ニ居ルコト少ナク仕事ハカドラズ當分出ナイ事トシタイガ明日ハ又出ナケレバナラナイ

◆◆112ページ◆◆ 昭和6(1931)年4月16日(木)

天氣 晴

昨日命ジテ居タ案内状筆デ書クノヲ謄写版デ、スツテ居タノデ書キ直サセル 其爲メ上京ヲ中止シ自分モ手傳フ

広野ニ直昇ノカーブヲ書カセル

岩崎ノ方製圖ハ上手デアッタ 今日ハ青写真枠ノ台ヲ設計製圖サセル 二三時間デ仕上ゲテシマッタ

奈良原氏夫妻令嬢來 學校ノ飛行機ニ搭乗 汐干ヲサレ帰ラル  
夜千葉ノ徳永氏ニ理事就任ノ交渉ニ行ク 多分差支ナキモ一應軍人會ノ方ト相談ノ上返事スルトノコトデ仮決定トシテ報告スルコトノ諒解ヲ得テ帰ル  
藤原ヨリ昨日來数通ノ電報アリ 今月中デナケレバ出來ヌ旨返ス

◆◆113ページ◆◆ 昭和6(1931)年4月17日(金)

天気 晴

上京 航空局、飛行館、ベニヤ商会、佐野初、越前屋、熊野屋等二行キ二時帰宅 児玉氏來テ待ツテ居ラルカト思ツタガツヒニ來ラレズ 奈良原氏來  
藤原一五式中止スル様手紙出ス ハンサー今月中カヽルコト  
児玉氏へ見セル作業予算書ノ下書キヲ作ル

▲▼114ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月18日(土)

天気 曇夕方ヨリ雨

時事 報知新聞ノ地上勤務員本日正午出發ス

鈴木代理トシテ上京サセル

終日在所 作業方針指圖ニヤハリ居ラネバダメダ

奈良原氏來場。奥サンノ兄ト云フ人來 二三年連レテ

本日夜業休ミ

▲▼115ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月19日(日)

天気 晴

朝児玉氏宅へ行ク 散髪ヲシタノデ十時半ニナル 金六ヶ敷イコトヲタノンデ居ク  
安満、上原氏訪問ヲ止メ児玉氏同道飛行館ニ行キ衣笠氏ト會ヒ明後日ノ打合せヲシ  
テ二時頃分レ帰ル 病院前ヨリ徳次トおばあさん乗合ニ同乗シテ帰ル

▲▼117ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月20日(月)

天気 晴

久シ振リデ終日在所 一同ヲ集メ作業進マザルコト 出勤時間ヲ勵行スルコト、物品ノ  
出入レヲ嚴重ニスルコトヲ申渡ス 本日ヨリ倉庫係一名専任ス  
藤原來ヲ待ツタガ來ラズ  
乾氏來 高知飛行十年式四百円ニテ貸ス 安岡ノ爲メニ五百円トシテ内金三百五十  
円受取ル  
右ノ爲メ明日十年式受檢ノ必要アリ 試飛行後夕方ヨリ鈴木ヲ駒林検査官ノ自宅ヘ  
ヤル

▲▼116ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月21日(火)

天気 晴夜雨

昨夜ノ功ヲ奏シ山下駒林氏來場 十年式受檢スルコトニナル 圖面不備ノ點アトヨリ  
提出スルコトニナル 飛行一時間十分無事終了 外ニ馬詰アソリ才發機体内部検査ヲ  
終ル 藤原君米沢君來。一日ノメーデーニ間ニ合ネバ困ルトノコト二十年式デ一日ヤッ  
テヤルコトニス。鳥飼氏來場

午後一時半ヨリ上京 クラブノ役員初会合ト披露会ノ爲メ出席者予想外ニ少ナク、  
型式ヲ廢シテ懇談的ニ役員会ヲ開キ自分ヨリ今日迄ノ経過ヲ報告シ長岡氏ヨリ会長  
ヲ推撰シ奈良原氏会長トナリ外役員ヲ指名決定 披露ニモ新聞記者一名モ出ナカッ  
タガ記事ハ皆眞面目ニ書イテ居テ呉レタノデ明朝ヲ樂シム 予期シタ様ニ盛会デハナカ  
ッタガ悪クモナカッタ。高知ノ乾君長岡其他ノ名士ヲ照(ママ)介 高知航空会ノ贊助  
ヲシテ貰フ 十一時半帰宅 雨ニ降ラレル

◆◆118ページ◆◆ 昭和6(1931)年4月22日(水)

天気 曇少雨

夜カラ南風ハゲシ 終日吹ク

奈良原氏五時起床 早野氏訪問 服部金太郎氏ヘノ照(ママ)介状ヲ貰ッタトノコト  
児玉氏ト共ニ午後來場サル 努力ヲ謝ス

鳥飼氏外一名來 晝食ヲ出ス

川辺氏ヨリ物居キ場設置ノ申出アリ 今夏又ハ秋頃自宅改造ノ設(ママ)ハ全部取拂ヒ  
方念ヲ押シテ許可ス

◆◆119ページ◆◆ 昭和6(1931)年4月23日(木)

天気 晴

宮崎君ニ會フ爲メ午後上京 飛行館ニテ、グライダーノ設計書ヲ受取ル 設計料百円  
トノコト 内金トシテ五十円渡ス

片岡ニ會フ 至急見積リヲ呉レトノコトデ明日ヲ約ス

◆◆120ページ◆◆ 昭和6(1931)年4月24日(金)

天気 晴

上京 四時局ニヨリ検査ノコトヲタノミ後飛行館ニ木村氏ト會フ。時事ノ記事ニテ木  
村氏内職ガアラワレ、イケナクナッタトノコトデ誰レカニ設計者ヲタノミタイトノコト。  
スベテ木村氏ノ信任サレル人ナラ、サシツカエナキ事 第一號機ハスデニ設計ノモノヲ作  
ルコトヲ依頼シテ帰ル 片岡來ラズ

病院ニテ泊ル

▲▼121ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月25日(土)

天気 晴

終日在所 久シ振リデオソクナツタ春蒔キノ種ヲ蒔ク

▲▼122ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月26日(日)

天気 晴

日曜ナレドモ休マズ夜間飛行準備ニ急(ママ)ガシ

正午上原中将、児玉、衣笠氏來場 奈良原氏前到着 工場員及クラブ員一同ヲ集メテ訓示ヲ受ケ上仲ノ飛行ヲ見テ晝食ノ爲メ谷津ニ行ク。本日坂妻ノ初メテノ來場ト女優ノ志願者試験ナドアリ大ニ賑フ

四時頃帰京セルニ電車迄見送り児玉氏ニ會計狀態ヲ訴ヘル 今日税金ノトクソクアリ明日午前中持参ノ約束ヲシタノデ二十円児玉氏ヨリ借用ス 川辺君同道ス

夜病院ニ行ク 昨日ゴムヲ拔キ式三日内ニ退院出來ルトノコト  
衣笠氏ヨリ、クラブアンリオ購入方話シアリ

▲▼123ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月27日(月)

天気 曇リ

兎二角津田沼ニ歸リ工場ヲ一巡シテ所沢へ電話スル 高橋出ル アンリオノコト晝頃迄ニ返事スル様タノンダガツヒニ返ナシ タ方打電ス 夜ニ入ルモ返電ナシ

堀井氏検査ニ來場サレシモノオん來ラズ 電話スレバ昨日工場ニ故障アリ今夜中カゝルトノコト 正午ヨリ鈴木上京サセル ヘチマダケ取付ヲ終リ飛行試験ヲ終ル 明朝局ヘ電話スルコト

奈良原氏來場。自分上京ノ予定ナリシモ手放セズ竹崎氏ヘ打電シテ居ク

▲▼124ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月28日(火)

天気 晴後雨

朝鈴木ヲ上京サセ検査官來ルカ來ナイカノ返電ヲ待ツテ上京ノ打合セヲシタガ晝過ぎテ検査ダメトノ入電アリ スグ上京 船橋駅ニテ鈴木ニ會フ 課長ノ又横車。大ニシヤクニサワル 明日ハ試飛行ニ名ヲカリテ大ニ飛ンデヤルコトニス

吉原飛行士ノ送別会ヲ飛行協会デヤル 三時丁度間ニ合フ 終エテヘチマコロンヘ事ワリニ行キ十五日ト決定ス。アンリオノ件昨夜田中來 八百五十円デ話シキマッタノデ竹

崎氏へ返事スル爲メ児玉氏ト想(ママ)談 千円デヨイトテ千円デ返事ヲ児玉氏ヨリスル  
後チ自分ガ行ツタガ想(ママ)談ノ上トノコトデキマラズ 友野ニ行キ直昇金具製作方ヲ  
依頼 主人不在ニテ極マラズ  
青木氏ニ會フ。ABC注文ノ件ニツキ代金ノ支拂方ニツキ懇談 明後日銀行ノ方聞イタ  
上デ決定スルトノコトデ帰ル

▲▼125ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月29日(水)

天気 曇小雨

今日ノ飛行中止ノ爲メノンビリシタガ夜試験ダケヤル予定ノ處鈴木菊雄ノ研究所創  
立三週(ママ)年記念日ト云フノデ晝ヨバレタノガ夜ニマデ引イテ飛行中止ス  
牛肉鍋デ打クツロイダ會合  
清平來 本ヲ返シ写真ヲ木村氏ニ事傳ル  
恵美子今朝退院 帰宅ス

▲▼126ページ▲▼ 昭和6(1931)年4月30日(木)

天気 小雨

安岡大坂ヘノ出発見合ス 金乾ヨリ來ラズ 到着ノ上ト決定シタガ外ニ無収入ノ爲メ  
困ル

奈良原氏來場 長島氏午後來 鯉ノボリ四個持參ス

本記事ハ一日ノ分ナリ

本日ヨリ夜業ヲ中止ス 材料不足ノ爲メ

▲▼127ページ▲▼ 5月

- 一 輕飛行機設計進行ノコト 發動機注文ノコト
- 一 グライダー製作開始ノコト
- 一 一搬(ママ)作業進行ヲ計ルコト

▲▼128ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月1日(金)

天気 曇リ

本記事ハ三十日分ナリ

午後ヨリ上京 片岡ニ會ヒ、グライダーノ内金ヲ取ルヲ目的トシタガツヒニ會エズ。奈良原兒玉氏ニ會フ クラブ会則ヲタイプライター屋ヨリ受取ル 金六兒玉氏ヨリ上出來 共ニ上京 井上氏ニ電話セシ處森川氏ニスグ話シテヨイトノコトニ行ク 森川氏不在 明日上出君一人デ行クコトトシテ晝食ヲ共ニシテ分レル

▲▼129ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月2日(土)

天気 晴

八時五十分安岡大坂へ出發 三時間五分ニテ着 後チ二時間ニテ高知着。四日必ズ全部送金スルコトヲ事傳ル 畠山同乗ス

奈良原氏來場 幼児愛護日ニテ鯉ノボリヲツケテ飛行ス 鯉ハ二台共キレテ飛バシテ仕舞ツタ

奈良原兒玉氏來場

▲▼130ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月3日(日)

天気 晴

半日芝ノ植替エナドシテスゴス

五月晴ノ好晴 久シ振リニノンビリトシタ

▲▼131ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月4日(月)

天気 快晴

時事 報知ノ日米機吉原清治操縦羽田ヲ出發 第一コースヲ無事飛行

吉原出發見送ヲ中止シ受檢ノ爲メ船橋ニ行ク 駒林氏來場 境機晝頃終ル ツヒデニ

藤原ノハンサー内部検査ヲ津田沼デ受ケル 全部終ル

藤原丁度來場ス

高知へ午前ト夕方ニ回打電ス 金來ラズ

夜明日午後送金スト安岡ヨリ入電アリ

奈良原氏來場

▲▼132ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月5日(火)

天気 快晴

羽布交渉ノ爲メ岡田へ 格納庫料ノ爲メ石川へ 其他買物ニ鈴木伊ヲ上京サセル 境アブロ計算ヲナス

米沢君來 久末屋へ行ク  
児玉氏大坂ノ人ヲ連レテ來場 工場見學シテ歸ル  
豊田兄同乗 自宅へ飛行 商店ノビラアリ  
高知ヨリ今日モ金來ラズ

▲▼133ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月6日(水)

天気 晴

鈴木羽布其他買物ニ上京サセル  
高知又金來ラズ 夜ツヨク打電ス 明日中ニ必ズ送ルトノ入電アリ

▲▼134ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月7日(木)

天気 晴

川崎第百ヨリ又今日中ニ來ネバ訴訟スルト云ツテ來タノデ石川ノ金ヲ取り方々買物モ  
アルノデ鈴木上京サセタガ石川ノガ五月卅日ノ日付ケニナツテ居タ爲メ金取レス空シ  
ク歸ル

高知へ朝タイヤ送ッテヤル 金明日午前十時送ルトノ入電夜來ル

▲▼135ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月8日(金)

天気 曇小雨

仁三郎ガ初ノ遠足デ嬉(ママ)ンデ行ッタガ雨デ中止ニナリ一度歸ッテ又出直シテ行ッ  
タ

鶏ガ全部出タガ一匹ダケコシガヌケタ様デアッタ 夜寢床ノ中ニ入レテ温メテヤル

高知ツヒニ金來ラズ

銀行明朝行クコトニ打電ス

鈴木伊横スカエヤル

橋本国來 中旬送金ノコト

▲▼136ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月9日(土)

天気 晴

朝上京 石川ノ金間ニ合ワズ書留ニテ切手ヲ返送シテ居ク 二時ヨリ飛行クラブニテ理  
事会開催 久シ振リデ志賀氏ニ會フ 一時間ニテ終了

岡田ニ電話シテ羽布ヲ五時頃受取ル

児玉奈良原氏ト会見後分レテ帰ル  
不在中検査アリ

▲▼137ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月10日(日)

天気 曇リ

終日在所。藤原ハンサー組ダケ作業ス

▲▼138ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月11日(月)

天気 曇雨

八時半上京 局ニテ検査ヲ頼ム 玉宮ニエキラズ重ネテ連絡ヲ取ルコトトシテ輸送会  
社ニ行ク 小畑、森川氏ニ會ヒ発動機番號ト價格ヲ調べテ貰ヒ局ノ諒解モ得テアトハ会  
社ノ決裁ヲ得次第取りニ行クコトニナル。石川ニテ切手書替ヲ貰ヒ現金受取ル 川崎第  
百三十三円支拂ヒ買物シテ帰ル

片岡君ニ會ヒ二三日中ニ必ズ契約ニ行クトノコトデアッタ。六時帰宅

今日ハ終日眠クテツカレテ閉口 昨夜ノタヽリラシイ 然シソレニシテハ弱クナッタモノダ

▲▼139ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月12日(火)

▲▼140ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月13日(水)

▲▼141ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月14日(木)

▲▼142ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月15日(金)

天気 晴

早朝川辺ヲサソフ 別々ニ上京 所沢ニ行ク電車デ一所ニナル。アンリオ、ローン、イスパ  
ノ、湯ワカシヲ買フ 湯ワカシ別ニ九十円 晝食ヲ若葉デヤル 東日ノ和田君金ヲ支拂  
フ 五時ニナル 飯沼君ノ自動車デ飯沼ノ倉庫ニ行キサルノタンクヲ求メテ電車デ帰ル

児玉氏ニヨリ、ライジグサンニ支拂フ内ヲ今日拂下ニツカッタノデ百円明日都合シテ貰フコトヲ頼ンデ帰ル

氏モ今国元ノ方へ千五百円ハカリノデ差押ヲ喰ツテ居ルトノコトデアッタ

▲▼143ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月16日(土)

天気 風雨後晴

アラシノ中ニ上京シタラ両国デ丁度晴レテ來タ 警視廳へ許可証ヲ貰ヒニ行キ飛行館デ児玉氏ニ會ヒ百円借りテ、ライジグサンニ支拂ヒヲ済マセ

小畑氏ニ會ツタガ月曜日ニシテ呉レトノコト 一時半ヨリ協会ノ評議員会ニ出席 終ッテスグ帰場シタガ風強ク汐引カズ

▲▼144ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月17日(日)

天気 晴

朝皆ガ來ルトノコトニ集メテ現状ト將來ニツイテ話シテヤル。一言モナク承認 鈴木伊ダケクド、給料ダケノコトヲ云ツテ居タ

午後藤原ノ検査ニ明日行クトノ局ノ手紙ニヨリ作業ヲヤラセル 何ノ不平ヲ云フモノナク氣持チヨク進行ス

夜間飛行九時ヨリ準備シ十時五分出発 ヨク打合セタニモカ、ワラズ、下ノ信号ヲ見ズ東京ニ行ク ツヒニ一字モ現ワレズ着陸。後ノ調査ニヨレバスイッチヲバンドヲカケル時サワッタラシカッタトノコト 飛行中一回モスイッチヲ見ナイナド、マダ、彼モダメダオカゲデ明日ノ二百円ハ棒ニ振ツテシマッタノミナラズ、アヤマラネバナラナイ

▲▼145ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月18日(月)

天気 曇リ

夕方雨

試験官検査官共ニ來ラズ 明日ノ由

ヘチマコロンへ鈴木伊コトワリニヤル 局金ト検査ノ件聞キニヤル

昨夜オソクナッタノト共ニ今朝ハ起キラレナカッタ 身体中ダルカッタ 午後二時間程眠ッテ後チ少シ氣持チヨクナッタ

藤原米沢君來場 ンサー大体出來タガ完成ニ到ラナカッタ

▲▼146ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月19日(火)

天気 晴

ハンサー検査ニ來ルトノコトニ法政ノ送別会ヲ兼ネ横須賀ノ拂下ニ鈴木ヲ出張サセル  
森、江口氏來 東亜ノ二名ト上仲ノ三等試験アリ 上仲一番上手トホメラレル  
堀井氏來 ハンサーダケ見ルトノコトニ特ニ玉宮氏ニ電話シテ馬詰ノアンリオヲ見テ貰フ  
二台共終ツタガハンサーオソクナリ七時十五分前検査官帰ル。ハンサーノ堪航証發行  
カ否ヤハ明日局デ決定スルコトナリ藤原行クコトニナル

▲▼147ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月20日(水)

天気 晴

鈴木、局及補助金ノ件サルノ件ニテ上京セシム ドレモ皆要領ヲ得ズ帰ル

▲▼148ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月21日(木)

天気 晴

六時半藤原來 大急ギデ準備ヲナシ八時半出發 大森ニ向フ  
クラブアンリオ作業ニカゝル

▲▼149ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月22日(金)

天気 雨

鈴木局へ行クノライヤガッタノデ自分デ上京。井上氏ニサル発ノ値段ヲ聞ク 各百円。  
玉宮氏ニ検査ノ件ヲタノム。課長ニ直接話シテクレ自分ハ知ラヌト云フ挨拶 先日來藤  
原ガ課長ニタノンデ來テ貰ツタコトヲ根ニ持ツテ居ルラシイ 役人根性デ困ツタモノダ  
兎ニ角タノンデ居イデ、空輸岩田氏ニ行ク 査定ノヤリ直シデ又技術課へ書類ガ歸ッ  
テ居ルトノコト。坂本氏ニ聞クト今日中ハ六ツ間敷カモ知レヌトノコトデアッタ

空輸会社ニ行キ森川氏ニ會フ 発引取りノ日ヲ極メテ貰フコトヲタノミ北海道タイムス支  
局ニ電話シテ、キマリ次第打電シテ貰フコト 旅費ノコトヲ頼ンデ居ク  
児玉氏ニクラブデ会ヒ補助金タンポデ山本氏カラ金融ノ件ヲタノム 食後共ニ行キニ  
千円借用決定 内千円ヲ來月中旬 アトハ六ヶ月後 内五百円児玉氏差押エ問題ニツ  
キ返金スルコトトス

清平ニ會ヒ狂ヒ問題ニツキ想(ママ)談 明日行ッテヤルコトニシテ帰ル

▲▼150ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月23日(土)

天気 晴

一番ノ自動車ニテ上京 八時局ニツク 玉宮氏ニ大坂ニテサル受検ノ件工場機体検査ノ件ヲ頼ム 大坂ニテ受検ハヨカタカ工場へ出張ハ要領ヲ得ズ。輸送会社ニ行キ北海タイムスト聯絡ヲ取り百四十號機殘金百円支拂ヒ方ヲ打合せ大急ギデ児玉氏ニ行ク 山本氏來ラズ 十一時頃宅迄行ク 九時頃出タトノコトニ引返ス 途中會フ 丁目ヲ間違エテウロ、シテ居タ處デアッタノデ丁度ヨカタ 二千円借用 千円ハ六月十五日千円ハ十一月廿二日迄 児玉氏ニ五百円返ス。時事ヨリイヨ、ヤルコトニ決心ガツイタノデ協會へ機体借入交渉ヲ開始スルニツキ打合せタシトノコトデアッタ 輸送会社ニテ明後日午後便ト廿八日帰ノ優待券ヲ貰フ 北海支局ニテ旅費百円受取ル。岡田氏ニ式百円支拂ヒアト羽布ヲ依頼ス。佐藤ニ全額支拂ヒアト注文ヲナス クタブレテ帰場 鈴木伊ガマッテ居タ

其間研究所ニ行ク 木村氏ニ會フ。マタ設計ヲ新ラタニシタイトノコトデアッタ。世田ヶ谷警察へ清平ト行ク 署長不在ニテ帰ル

◆◆151ページ◆◆ 昭和6(1931)年5月24日(日)

天気 晴

給料支拂ヒヲナス。アレコレ結局金足りナクナル 日輕OD不時着 六実リンクへ 富田ノ電話賣ルトノコトニテ鷺沼醫院デ買入金ヲ立替テ呉レルトノコトニ大坂ヨリ帰坂後決定スルコトニシテ約束ス 建設費用ニツキ鈴木ニ話シ川辺ニモ出サセルコトノ相談ヲナス 之レ又帰場迄ニキメテ居イテ貰フコト

◆◆152ページ◆◆ 昭和6(1931)年5月25日(月)

天気 晴

留都(ママ)中ノコト及作業ヲソレ、命ジテ上京 局ニ藤原ハンサーノ補助申請、野呂アブロ名議(ママ)變更届ト印鑑届ヲ出シ、丸ビルニヨリ、更科ノソバヲ注文シテ飛行館ニ行ク。奈良原、児玉川辺、長島、君等ニ會フ 今日時事ヘオイローパ號借入レニツキ協議ノコト 十時五十分飛行館ヲ出テ立川ニ行ク。西田ニ電話カケテ見タラ外ノ用事デ一寸會ヒタイトノコト 帰京後會フコトトス

○時四十二分始動出発 乗ツタ時カラ気分悪ルカッタノト風強クカナリユラレタノデツヒニ鈴鹿ノ上デ、ハキ出シタ 三時丁度着

佐藤來テ居タ 橋本、支所長等ト打合せ明日ヨリ作業ニカ、レル様ニシテ亀井同道新世界ニ帰り、ハリ重デ兄姉ト夕方ヲ共ニス 亀井君ニ太平洋横断ニツキ相談ス 乗氣デナサソウデアッタ

久シ振リニアンマヲ取り故父ノ室デ佐藤ト泊ル

▲▼153ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月26日(火)

天気 晴

七時起床 ドウモ眠イ。八時出テ通信局ニ行ツタガ、佐々木氏松山ニ出張不在 大場川西ニ出張トノコトデ検査打合せ出来ズ木津川ニ行ク。本所ヨリ発動機一・二七號カ一四〇號デナケレバイナイトノコトニ結局支所長ト相談ノ上二・二七号ニキメ晝頃漸ク一人手ヲ借リルコトニ極リ午後ノ上リ便出發後発動機ヲ運ビ分解ニ着手ス。今日ハ少シシカ出来ナカッタ

安岡乾ニ打電シテ畠山ヲ呼ブコトニス。明日午後立ツトノ返電アリ 四時終ツテ帰宅入浴

▲▼154ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月27日(水)

作業ノ手續キ一切ナク安岡機ノ來ルヲ待ツ 七時頃迫ツヒニ來ラズ 打電シテ帰ル久保田、張、中前西光路ノ招待ニテ四ツ橋ノ料亭ニ呼バレル 大ニ氣持チヨク少シノミ過ギテ十時過ギ辭シテ帰ル

安岡ヨリ出發セシモ発故障ニテ着陸 明朝立ツトノ入電アリ

▲▼155ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月28日(木)

天気 晴

六時過ギ起床 又ハクコトヲ恐レ朝食ヲ取ラズ土産物ヲト、ノエ新世界ニヨリ安岡着後ノ打合せシテ飛行場ニ行ク橋本其他ニソレ、依頼シテ八時五十分永田君操縦ノスーパ一機ニ同乗ス 乗客自分共四名 内一名女 風平穩 浜松附近ニテ少シ氣持チ悪シク、仁丹ニテナオシ函根越エ中バヨリ風ツヨク大ニユレ、タチマチハク。立川着後明日出發ノパシフィック號ヲ見ル。

西田ヲ訪問 妻離婚ノ状況ヲ聞ク。ソレニツイテアト腐レノナキ様ニ一札取ツテ呉レトノコトニ引受ケル 大蔵來場後飛行館ニ行キ兒玉氏ニ會ヒ土産物ヲ渡シ小林氏ニモ事傳ケ輸送会社ニモヨリ礼ヲノベテ帰宅ス

安岡機徳島ニ不時着 佐藤大坂ヨリ急行ス

▲▼156ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月29日(金)

天気 晴

時事 學生訪欧機本日羽田ヲ出發ス 午後パシフィック號太平洋横断ノ爲メ淋代へ出發

終日在所 鈴木上京 金ノ準備ト材料ノ爲メ 午後電話ノ件ニテ富田氏ト小松川ニ  
本田氏ヲ訪ヒ今夕本田氏津田沼ニ來場 取キメルトノコトニ帰ル 夜マテドモ來ラズ  
就寢後十一時過ギ呼ビニ來ル 明朝ノコトニサレタシトノバシテ眠ル

▲▼157ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月30日(土)

天気 晴

朝本田へ今カラ行ッテヨイカ聞キニヤッタ處スグ帰京スルカライツカ都合ノヨイ時ニトノ  
コトニ、コイツ昨夜ノコトヲ根ニ持ツタカ、或ハ金ヲ出スコトヲ逃ルモノト見タノデ鈴木上  
京ノ予定ヲ變ジ自身上京ス 局ニ行キサルタンク検査ノ件ヲ打合セ飛行館ニ行キ更ニ  
航空時代ニ広告料ヲ支拂ヒ奈良原兒玉氏ニ會フ 拂下ニ対シ百円 電話ノ金ニツキ衣  
笠氏半分ノ百二十五円出スコトニナル。ヨッテ夜小松川ノ本田氏ヲ訪ヒ出來レバ全額  
出サセル予定ノ處初メハ昨夜ノコトヲ根ニ持ッテ居タガ後チ又金ヲ出ス様ナ事ヲ云ツタ  
ガ自分トシテハ個人デ引取ル決心ヲシテ分レニ帰ル 夜十二時ニナル。平松氏訪問 明  
日金持参スルコトヲ約シテ帰ル 安岡今朝九時半大坂安着

▲▼158ページ▲▼ 昭和6(1931)年5月31日(日)

天気 曇リ後晴

大坂ノ各方面ノ禮狀ヤ依頼狀ヲ出ス

奈良原先生來場

川辺君豊田君同道六實リンクへ行ク 理事者二名ト会見。クラブトシテ陳謝スルカラ  
本人ヲ出サナイデ、スマセテ貰ヒタイトノコトデ一應会長ニ話ス事トシテ引上ゲル 吉  
田ノ行動即チ飛行ノ状態モヤ、ヨクナカッタ様子デアッタ 奈良原会長ニ報告 其程度  
デ打切ルコトトナル

新入会者一名來場セシ由

電話ノ件根本ヲ通ジ明日半金支拂ヒアト金十日又ハ十五日ニテ名議(ママ)変更ノコト  
ニテ自分買取り方交渉 後チヨロシトノ返事アリタル由  
平松氏ヨリ都合悪シ延期ヲ乞フトノ入電アリ

▲▼159ページ▲▼ 6月

- 一 輕飛行機設計進行
- 二 同發動機注文ノコト
- 三 能率増進ノコト

▲▼160ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月1日(月)

天気 晴

上京 児玉氏ヨリ百円借り鈴木伊二局へ百八十円拂下ゲ代金持参セシム  
衣笠氏ヨリ百二十五円借り入レ電話へ百二十円支拂ヒヲナス  
時事新報大ニ進行 今週中ニ機体借入レ方ノ交渉ヲ進行スル由  
服部金太郎氏へ奈良原児玉氏行ク 会空ズ 明後日午後一時半トノ約束デキタ由

▲▼161ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月2日(火)

天気 晴

在所 作業進行ヲハカル

▲▼162ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月3日(水)

天気 晴

四十一オノタン生日 赤飯トコワ飯ヲタク。夜ハコロッケデ御祝ヒ  
鈴木伊上京 局ノ拂下代金千葉千金庫へ納入ス  
奈良原児玉氏服部金太郎氏へ行ク

▲▼163ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月4日(木)

天気 晴

午前上京 局へ行き検査ノ件玉宮氏ニ依頼 キマラズ 正午一先ヅ飯沼君ニ行キ野呂  
用マグネトーヲ買ヒ再度局ニ行キ明日検査ニ來ルトノコトニ警視廳へ明日ノ三田浜樂園  
ノ飛行許可証ヲ貰ヒニ行ク マダ出來ズ明朝取リニ行クコトニシテ帰場 明日ノ準備ヲ  
急ガセル  
夜中ノ十二時過ぎ佐原ノ宮田氏來 明日検査ガアルノデ來テ呉レトノコトデアッタ  
漸ク一回限リト云フコトデ承知シテ上野ヲヤルコトニス  
タイムスヨリ上出君來場 附近へ宿ヲツクル

▲▼164ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月5日(金)

天気 晴

早朝上野ヲ佐原へ出張セシム

堀井検査官十一時頃來 川辺アプロ野呂アプロ川辺甲三発ロ一ン80、タイムスサル用各タンクノ試験ヲ受ケ全部終ル 七時ニナッタノデ菓物ニビールヲ出ス 聞カレルマヽニ昔話シニ花ガ咲キ九時前帰ラル

鈴木伊朝ヨリ鈴木菊ト共ニ洲崎ノページェントノ爲メ金受取りニ出張サセル  
三田浜樂園ノビラ撒布二十年式東京へ飛行ス

▲▼165ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月6日(土)

天気 晴

鈴木二名正午帰場 今日漸ク金取ツタトノコト

上野昨日出張ニテ今日モ帰ラズ

川辺君ノ堪航証出ル

午後三時半頃ヨリ洲崎へ各機飛行ス 川辺機マグネト故障ニテ六時頃ニナル 高橋氏直シテヤル

▲▼166ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月7日(日)

天気 晴

日曜ナレドモ作業ス 北海タイムス社サルムソン急グ爲メツッキリデヤラセル。能率悪シ

城戸ガソリンタンクヲ爆発セシム 使用ニ堪エズ 立川西田ニ電話シテタノム 午後一時ノ汽車デスグ送ツテ呉レタ

洲崎ノページェント金デゴタツイタソウダガ無事終了 四時半頃皆帰ル  
金ヲタヽチニ分配 支拂ヒ済ミ

昨夜上野帰場 今朝來 検査終了セザリシ由

▲▼167ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月8日(月)

▲▼168ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月9日(火)

▲▼168ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月10日(水)

天気 晴

サルノ件ニツキ來局セヨトノコトニ上京 タンクヲ減ゼネバ乗員一名シカ出來ヌトノコトデアッタ 一時間余ニ渡ッテイロ、話シテ見タガダメデアッタ

▲▼170ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月11日(木)

天気 晴

上京 玉宮氏トサル乗員ノ件ニツキ交渉セシモ不調 明日上出君ヲ上京サセルコトニ極メテ帰ル

環帶買入レニ大骨ヲ折ッテ漸ク三十七本ヲ得ル

所沢ノ田中ニ朝カラ四回電話シタガツヒニ來ラズ會エナカッタ 高橋ニ聞クニアシリオハマダ羽布モ張ッテ居ナイトノコトニ伊藤氏が賣ルトノ話ヲ聞キ早速交渉 二回会見シテ夜十時頃漸ク話マトマリ八百円ニテ決定ス。十二時過ぎ帰宅

▲▼171ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月12日(金)

天気 雨

入梅ト同時ニ入梅ラシイ雨デアッタガ明日ハ晴レルトノコト 終日サルムソンヲ急ガセル昨日オイルポンプヲ逆ニ取付ケ上出君ニ注意サレタル由 困ッタヤツダ

上出君局ニ出頭 オイルタンクハキロニスルコトニ決ス

夜川辺安岡ト奈良原氏訪問 時事ノ模様ヲ聞ク。オイローパ號万一借リラレナイ時ハ神戸ノ保税倉庫ニアル同型ノモノヲ買ッテモヤルトノコトノ由 價六万円也ト

▲▼172ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月13日(土)

天気 晴

朝鈴木、上野、佐藤、門松、太田ニ太平洋飛行ノ件及ソレニトモナイ工場ノ事ヲ話シヲナス

上京 局ニ行キ補助金工場十年式ト馬詰ノ分ダケ受取ル。井上喜代司富田氏ヲ日本橋ノ〇屋ニ招待ス。田中不二雄明日伊藤西夫氏ノサルムソン補助金ヲ委任状ヲ利用シテ受取ラントシタル由 信用ヲ落ス、ヤリカネナイ男ダ

クラブニテ児玉サンニ會ヒ金ノ事相談。山本氏電話ニテ交渉 明日午後会フトノコトニ明日行コトトス 長野飛行場順潮ニ進行セリト 奈良原氏ト三人ニテ夕食後帰ル

▲▼173ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月14日(日)

天気 晴

午後ヨリ児玉氏ニ行キ同道シテ山本氏訪問 千円ノ入金ヲ來月一杯延期シテ貰フ  
帰途某カフェーニテ児玉氏ニ貳百円ト衣笠氏ノ百貳十五円ヲ渡シテ帰ル

▲▼174ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月15日(月)

天気 晴

朝上京 局デ検査ノ件トタンクノコトヲ打合せ結局三十キロ減ズルコトナル。伊藤西  
夫氏晝頃來局 五百五十円ヲ渡シ五百円ノ領収書ヲ貰ヒ更ニ五十円ノアプロ主櫃ニ  
本代ノ受取リヲ渡シ名議(ママ)変更書類ヲ受取ル。

飛行クラブニテ児玉氏ニ会フ 衣笠氏モ居テアシリオ田中ヨリ買入レタコトニツキ諒解  
ヲ求メラル

尚ZB伊藤氏ヨリ小生買ツタコトニツキ義勇ノ方デ買ヘナクナリゴタ、シテ今日ノ飛行  
ガ出來ルトカ出來ナイトカ大分サワイデ居ルトノコトデアツタガ吉村君ニ電話スルトZ  
Bデ願書出テ居ル由 更ニ所沢ヘ電話シタラ三時半ニハマダ飛ンデ居ナカッタ ZBデ飛  
ベハ一言ナカルベカラズデアル

鳥飼氏訪問 小泉氏ヨリ話シノ金七十円今月中ニ小生引受ケルコトニ返事ス。佐伯氏  
ニ会フ 夕食ヲ共ニシテ久シ振リノ挨拶ヲシテ帰宅

▲▼175ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月16日(火)

天気 雨

タンク改造

奈良原氏來場

▲▼176ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月17日(水)

天気 曇リ

大利根飛行場へ行ク予定 九時ノ汽車ニ自動車間ニ合ワズシヤクニサワル 十一時漸ク  
乗ル。銚子へ行ツタラ猿田氏不在 ハンサーヲ見テ小見川へ行ツテ呉レトノコトニ行ク  
夜オソクナリソウナノデ泊ルコトニキメ宅ヘ打電ス 八時半頃猿田氏帰ル 話シ中九時  
過ギ大分大キナ地震アリ

ハンサー下見シタ駒林検査官帰京ノ上ニテ決定スルコトニキメル。クレルジート四ツ羽根  
ノアプロペラ一本注文ヲ決定 十一時過床ニツク

▲▼177ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月18日(木)

天気 曇リ

五時半起床 六時五十分佐原行きニテ佐原三行キ川ノ飛行場アル場所ヘ行ク 丁度土堤デ江田君ニ會フ 飛行機ヲ見ルヤ自動車デ迎エニ來タノデ海野氏ノ宅ニ行ク 立派ナ宅デアッタ 猿田氏トハ従弟ノ間柄ダソウナ ガ、コンド分立シテヤル様ニナッタ シニョルト猿田氏ノコトヲヨク云ワナイノハ聞キ苦シカッタ。十時半發デ一時帰宅 明日サル検査ノ準備ニ急(ママ)ガシ  
奈良原氏來場 時事ノ方金出サナイコトニナッタ由 明日久原サンヘ行クノニ金ガナイトノコトニ、十円渡ス

▲▼178ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月19日(金)

天気 薄曇時々晴

北海タイムスサルムソン完成検査 スラ、ト合格セシモ飛行二時間 五時過ぎ終ル 支局長西氏外一名來場 祝杯ヲ上ゲルトテ船橋ノ佐渡屋ヘ案内ス 九時頃迄サワイデ 玉宮留山両検査官モ共ニ遊ブ 電車ニテ帰ル

▲▼179ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月20日(土)

天気 薄曇リ

晝前ZBアンリオ立川ヨリ帰場ス 本日一名又入会者アリ 入会金貳百円ヲ入金ス。クラブヨリ工場ヘ貳百円入り皆ニ五円平均ニ渡ス

本日午前中作業午後休マス 發動機ダケ午後モヤル

川辺君朝來 三型昨日作業中止シタ件ニツキ内ノモノガカレコレ云フトノコトデアッタガ、ソレハ内ノ者ノ名ヲ借りテ自分ノ意見ヲ云フモノト聞ク。然シ工場ノ立場トシテ曲技ニ使用スル機体ニ対シ責任上コトワッタコト 其場合川辺君ガ居合ワナカッタコトヲ話ス。外ニ何ニカ重大ナ事件ニテ奈良原氏ニ東亜ノ校長ニナツテ貰ッタトノコトデアッタ 事実トスレバ奈良原氏モ馬鹿ナ人デアル 今夜行ツテ見ルツモリナリシモ明朝ニス 保俣(ママ)署ヘ鈴木伊金持タセテヤル

▲▼180ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月21日(日)

天気 曇リ

終日在所。ホーセン花ノ植替 朝顔ノ植替ヲナス 何ンダカ借金デモ返シタ様ナ氣持チ

信太郎ノ友鈴木忠ガ女山羊ヲ呉レタノデ、プロペラヲ一本與ヘル

▲▼181ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月22日(月)

天気 曇後晴

上出君電報ニヨリ午後ヨリ上京 所沢へ耐熱気化器ヲ借りニ行ク  
夕方一同ヲ集メ今後ノ作業打合せヲナス 石川ニアブロ一機責任ヲ持タセルコトニス  
之レガ初メテデアル

午前白戸ヲ見舞ニ行ク 十八日御宿へ轉地シタトノコトデ一時間程妻君ト話シテ帰ル

▲▼182ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月23日(火)

天気 晴

今日ハノンビリシタ氣持チニナツテ居タラ午後馬詰來 明日ノ拂下ノ金ヲ借りタイトノ  
コト 野呂君ト鈴木ニ話シテヤッタガ出來ナカッタ ビールヲノマシテ帰ス 野呂アブロ漸  
ク振動取レル 鈴木ノノツヅルヲ付ケテ夜八時前床ニツク

川辺甲三完成ス

電話名議(ママ)変更ノ届ヲ出ス。新設区域ガ全部特設区境外ニナルノデ大分工費ガ  
カヽリソウダ

▲▼183ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月24日(水)

天気 曇雨

川辺鈴木ト同道ノツモリデ事務所デ待ツテ居タラ先キニ行ッタトノコトニ、氣ヲ悪クシ  
ナガラ行ク 甲三式百猿田ノ分一台ヲ引取ルコトニス。タイムスノ分浅見ニ取レテ少シ  
テレタ

二時帰京 飛行館ニ行ク 三時ヨリ太平洋問題ニツキクラブ役員ノ諒解ヲ求メシノ会。  
上原氏徳永氏出席 其他不賛成小松氏一名 賛成ナレドモ出席不可能回答数名アリ  
夕方終ツテ帰ル 出席者ハ勿論賛成

▲▼184ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月25日(木)

▲▼185ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月26日(金)

▲▼186ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月27日(土)

天気 曇り晴

局へ検査ノ打合せニ行キヨクタンダガ頼リナカッタ 北海支局ニ行ク。カーブレター二時頃持ッテ來ルトノコトニ其間飛行館ニ行ク 丁度奈良原、児玉、川辺氏ト會ヒ会食。時事ノ対策ニツキ協議。二万円ノ金出來ネバ、オイローパ號ノ借入レ運動ヲヤラナイト云フコトハ不可ニツキ金ノ如何ニカ、ワラズ運動ヲ起スコトヲヤラセル様奈良原、児玉氏ヲ行ッテ貰フコトヲタノミ、タイムスニ行キ一時間待ッテカーブレター來ル。スグ持ッテ歸ル 上出氏行違ヒニ上京ノ由

▲▼187ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月28日(日)

天気 晴

三十日ノ記事

上京 タイムスニテ千円受取ル午前十時五十分仙台發 四時二十分札幌ニ着イタ由 児玉、奈良原、川辺、衣笠諸氏ニ會フ 時事ノ方一向要領ヲ得ズ。児玉氏ニ更ニ島徳藏氏ヨリ金ヲ引出ス算段ニカ、ハ 奈良原ノ金策ハイヨ、ハダメト確定セルモノノ如シ 三時ヨリ協会ノ評議員会ニ出席 副会長橋本佳三郎氏新任ノ挨拶アリ 旧副会長草間ノ退ク挨拶モアリ 新理事三名ヲ舉ゲテ終ル。理事会ニ出席シテ居デモヨイトノコトデアッタガヤメタ。本日ノ理事会ニハオイローパ號貸與ノ件ハ出ナカッタ由 有楽町ノ更科ニテ奈良原児玉氏ト食事シテ歸ル

▲▼188ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月29日(月)

天気 曇リ後晴

終日事務所前ノ花壇ヲ作ル

西氏夕方來場 今夜佐渡屋ニ泊ル由

本記事ハ昨日ノ分

カーブレターノ取付ヲ行フ

▲▼189ページ▲▼ 昭和6(1931)年6月30日(火)

天気 曇後晴

八時畠山氏來 サルノカーブレター、川辺甲三、水上發動機内部検査ヲ全部終ル

カーブレター圧力試験ヲナス爲メ遅延 一時五十分仙台ニ向ッテ出發ス 四時二十五

分無事着ノ由

西氏佐藤氏三時頃帰京 明日千円午前十時受取りニ行クコトヲ約ス  
本月ニツイテ支拂予算ヲ立テル ドウモマトマラズ閉口  
本記事ハ昨日ノ分  
本日ノ記事ハ廿八日ニアリ

▲▼190ページ▲▼ 7月

- 一 軽飛行機設計進行ノコト
- 一 発動機注文ノコト
- 一 能率増進貸金回収ノコト

▲▼191ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月1日(水)

天気 晴

ドウモ今日ノ航空界ノ人氣ヲ利用シテ一旗上ゲナケレバダメナノダガ、此場合太平洋  
飛行ハ自分ニハ非常ニメイワクデアル。然シ出来レバ更ニヨリ有効ナラシムルコトハ出来ル  
ガ、今ノ處出来ナイ方ニ近ツキツムアル。ムシロ軽飛行機ノ製作ニ進ミタイ  
船橋ノ宗里ニ金請求ニヨル 川崎第百佐野ノ手形ノ金持ツテ行ク。スデニ返シタトノコ  
トニタ方帰途日暮里ニ廻リ支拂シテ居ク  
石川氏ヨリ金三十五円受取り同氏アブロン名儀(ママ)変更、定期検査願書々類ヲ渡  
ス

飛行館ニテ奈良原児玉氏ニ會フ 今カラ、島徳関係ノ人ヲ訪問スルトノコトデアッタ

▲▼192ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月2日(木)

天気 晴

昨夜大分雨が降ッタラシイガ今日ハ晴レタ 清々シイ上天気デアッタ  
終日在所

世界早廻リゲッテイー機ノコースヲ世界地圖ニ記入ス  
磯部、藤原ニ請求書ヲ出ス  
今月ヨホド入金ニ努力セネバ困ルダロウ

▲▼193ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月3日(金)

天気 晴

六時半一番ノ自動車ニテ岩崎、石川ヲ連レテ立川ニ行ク。ファイアットノスケッチヲナス。  
河内君プッシュモスデ正午大坂へ立ッ。クレイナ飛行機デアッタ  
二時頃終了シテ帰途支局ニヨリ明日ノ金ノコトヲキメテ帰ル

◆▼194ページ◆▼ 昭和6(1931)年7月4日(土)

天気 曇リ晴

夕立アリ

早朝佐藤カラ金ヲ取りニ來タ 同道シテ上京 佐藤ニヨリ交渉ノ末百円ダケ渡スコトニ  
ス 支局ニテ五百円受取り飛行クラブニ行ク 奈良原児玉氏ニ會フ 上原氏ト児玉氏  
時事ニ行キ社長ト会見 月曜日最后ノ回答ヲ聞クコトニナッタ由

岡田勇二百五十円 佐藤二百円支拂フ

買物ヲシテ帰ル 五時帰宅

明日舟遊ビノ準備ヲナス

◆▼195ページ◆▼ 昭和6(1931)年7月5日(日)

クラブノ茶話会ヲ催ス 十時ガ十時半開催 児玉奈良原氏來場 新入会者ノ紹介終  
ツテ舟遊ノ爲メ沖ニ行ク 舟ガ來テ居ラズ家内ヲ見ニヤツテ居ル内ニ舟來 此頃ヨリ風  
少シ出ル 少シ変ナ氣持チガシタガ一里余ニ沖ニ出タ頃カラ氣分悪ルクツヒニヨウ。鈴  
木伊、川辺、安岡モタオレル 仁三郎ダケ同道シタガコレモヘコタレタ。奈良原児玉舟頭  
ダケ。エモノハ朝ノ内ニ舟頭ガ取ツテ居イテ呉レタノデ舟ヲ浅イ處ニ返シ、ビールヲヌキ  
大ニノム 元氣ヲ回復ス。太平洋問題ニツキ明日ノ行動ヲ打合せ時事デアイマイナラ、  
断然ヤメルト(ママ)トス 少々クタブレテ床ニ入ッタガ夜中ニ目サメル

◆▼196ページ◆▼ 昭和6(1931)年7月6日(月)

天気 雨

航空局ニヨリ川辺甲三ノ補助金ヲ申請シ、吉田ノ學科試験ヲ聞ク ドウモダメラシイ  
今日採點ヲ終ル由

飛行館ニ行ク 児玉、奈良原長島氏等ニ會フ 其他二三買物ヲナシ夜終自動車ニテ帰  
ル

終日降ル

◆▼197ページ◆▼ 昭和6(1931)年7月7日(火)

天気 雨曇リ後晴

終日作業表ヨリ元價計算ヲナス 全部出来切レナカッタ

安岡ノ航空法ニ不安アリ本人ニ聞ク 明年デナケレバトテモ自信ガナイトノコトニ川辺ニ其旨ツタエル 川辺君午後上京ス

◆◆198ページ◆◆ 昭和6(1931)年7月8日(水)

天気 曇リ

上京 局ニ検査ノ打合せニ行キ飛行館ニテ児玉氏 奈良原氏ニ會フ 粕屋氏ヨリヤハリ金ヲ預ケ入レルコトノ申出デアリタリトノコトデ一端事ワツテ返シタニツキ時アツテ回答アル筈トノコトデツヒニ夕方迄待チ、ドウシテモ、記入セヨ、然ラザレバ時事モ中止スルトノ回答アリ 明日上京。奈良原其他関係者相ヨリ決定スルコトナル。児玉氏ト銀坐ノ赤玉オヒョウタンデタ食ヲ共ニソクナリ十一時帰宅

◆◆199ページ◆◆ 昭和6(1931)年7月9日(木)

天気 曇雨

安岡ヲ連レテ川辺君ト上京 十時飛行館着 上原閣下一人來テ居ラレタ。児玉、奈良原ノ順デ十一時半漸ク顔ガソロヒ、協議ノ決(ママ)果時事ノ申出ヲ認メルコトシ其旨回答 粕屋氏來館 預ケ入レヲ依托ニ字句ノ修正ヲナス 右ニテ決定的ノモノトナリ 粕屋氏帰社 調印ヲ明日ニシテ呉レトノ電話ニテ其事トス

晝食ヲ地下室デ取リビールノ杯ヲ上ゲル 自分ハ買物ナドシテ夕方安岡、長島君ト帰葉ス

安岡ノ練習ヲ急グコトニナリ十年式ヲ出スコトトス

◆◆200ページ◆◆ 昭和6(1931)年7月10日(金)

天気 曇雨

今日ハ終日在宅スルコトガ出来タ ソシテ久シク、タマシテ居タ作業計算ヲ終ルロビンスノ太平洋横断空中給油ガ出来ズツヒニノームニ不時着シタ由 二十八時間モ飛ンデ氣ノ毒ニ

◆◆201ページ◆◆ 昭和6(1931)年7月11日(土)

天気 曇リ

午後奈良原氏來場 明日金ヲ出ス人ヲ連レテ來ルトノコト 話ヲ聞ケバ、同人ハ時事ノ

大株主デアル関係カラ社長ヲトイテ、時事ニ出サセル様ニスル。ソレガ出来ナケレバ交詢社々中ヲ以テ三万個位ノコトハ作ツテヤルトノコトデアッタトノコト之レハ又タヨリナイ話シダ

▲▼202ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月12日(日)

天気 雨後晴

奈良原氏ヨリ昨日太平洋問題ニ金ヲ出ス一人今日來ルトノコトニ待ツタガ朝ノ内ノ雨デツヒニ來ラズ

晝前藤田大尉ト鏢本氏今月末ノ依託學生キャンプノ件ニツキ來場 谷津へ案内シ晝食後分レル 川辺君同道

▲▼203ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月13日(月)

天気 曇リ雨

上京 局へ検査ノ件打合ノ爲メ

飛行館ニテ奈良原兒玉上原閣下ニ會フ

時事調印未了。オイローパ號試験ヤツテ居ルトノコトニ兒玉氏ヨリ二十円借リスグ帰宅安岡ヲ今夜岐阜へ出發セシム

▲▼204ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月14日(火)

天気 曇雨

終日在所。鈴木上京セシム

川辺君上京

▲▼205ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月15日(水)

天気 曇リ雨

鈴木ボールト取りニツイデニネオンノ検査願書持タセテ上京サセル。朝猿田へ電話ヲカケニ行ツタガ一時間以上待ツタツ

終日在所 川辺金出來ズガソリン屋支拂ヲ延バス

安岡帰ルツモリデ待ツテ居タラ晝頃廿五円金オクレト入電アリ スグ電送ス。川辺君午後昨日上京ノ結果時事トノ調印終了ノ件報告アリ

▲▼206ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月16日(木)

天気 曇少晴小雨

畠山、駒林両氏來場 水上アブロ、其他予定通り検査終了

川辺今朝安岡岐阜ヨリ帰場 オイローハ號ノ様子ヲ聞ク 雨ノ爲メ試飛行出來ズ 森サンノ意見ダケ聞イテ帰ル 大体ニ於テ空中給油ヲ要スルコトナルラシイ。検査官タ方帰ル

電通來 苦シイ中カラ二十円内入ニス。近藤ノ父來 廿二日帰郷 近々汽車賃ダケデモホシイトノコト。鳥飼氏ヨリ金ノ件 三島何ントカシテ呉レトノ手紙來 ア、ヤリキレナイ

◆◆207ページ◆◆ 昭和6(1931)年7月17日(金)

天気 曇後晴

局へ水上ノ登録ヲ申請。川辺野呂ノ請求書領収書ヲ富田氏ニ依頼ス。飛行館ニ行ク 児玉氏來 奈良原氏來ラズ 五時迄居テ帰ル 奈良原氏津田沼へ來ラレタ由 夜間試飛ヲ終ツタ處へ帰ヘル 成績不良 バッテリート取替エルコトニ決定 警視廳夜間飛行ノ許可申請ス

◆◆208ページ◆◆ 昭和6(1931)年7月18日(土)

天気 曇リ

七時頃山田航空官來場 安岡ノ水上擴張ヲ終リスグ石川ヲ上京サセテ免状ヤ許可証ヲ取リニヤル 鈴木伊今日ノ急ガシイニ休マレテ閉口

正午御原サンノ照(マ)介デハンサー整備ノ注文アリ 少シ困難ダガ引受ケルコトトス 丁度二時佐倉中學ニ行ク 信太郎ノ成績不良ニツキ受持教師ヨリ懇談アリ。帰途如何ニシテ勉強セシムベキカニツキ考ヘナガラ帰ル

夜、夜間飛行ヲヤル 三回目ニ東京へヤル チノ字ガヨク出ナイノデ困ツタガモウ如何共出來ナカッタ

◆◆209ページ◆◆ 昭和6(1931)年7月19日(日)

天気 晴

安岡ト高橋昨夜ヨリドカヘ又ノミニ行ツテ今日中ツヒニ帰ラズシヤクニサワルコト甚ダシ

正午頃奈良原氏來 明日ノ旅費弍円渡ス 氣ノ毒デアッタガ金庫ハコレデ空ポー

川辺今日大坂へ行クトカニテ協会理事訪問ヲ僕ノ方へ廻シテ來タ 之レモシヤクノ種日蔭ヲ待ツテ少シ庭イジリヲス

▲▼210ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月20日(月)

天気 雨

信太郎同道上京 佐藤ニ注文品ヲ依頼 飛行館ニテ児玉奈良原、上原、衣笠氏ニ會フ  
オイロップ號性能ニツキ協議ノ結果ガソリン消費量減少ニ関シ三菱ニ問ヒ合セルコト。上  
原氏ヨリ児玉課ニ会见 局ノ搭載量限度ヲタシカメルコト等シテ散会  
オリオン社新本君ト二度会见 ツヒニ金呉レズ 今一度ヤツテ呉レトノコト 其代リ百  
円増額スルコト 日取りヲ八月一日ノ土曜日ト定メル  
木村氏ニ、ファイアットノスケッチヲ渡シ急イデ貰フコトヲ頼ム 翼ヲ大キクシテ時間長ク  
シテ飛ベルノト小サクシテ軽快ナモノトノ二種ニタノム  
清平ニ会ヒ十円ヤル クルシイガ、止ムヲ得ズ  
三越ニテ、ライジングサンノ切手ニテ家内トキンノ着物ヲ買ツテヤル

▲▼211ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月21日(火)

天気 曇リ小雨

鈴木菊雄ト作業ト金ノ打合セヲナシ、修理見込書ヲ書キ上京 工藤君ニヨリ清平注  
文ノ写真ヲタノミ佐藤ニヨリ注文品ヲ頼ミ、クラブニ行ク 児玉衣笠氏ニ會フ 今朝上  
京 衣笠両課ト会见ノ結果局ハ式噸八百ヲ限度トスルコト 空中給油ナレバ差支ナカ  
ウトノ意味報告ヲ聞キ、協会理事矢木、寺家村、野中三氏ヲ訪問ス 内寺家村氏ダ  
ケ會フ 外ハ不在 タクシー代一円七十銭ヲツヒヤシタガ早ク廻レタ  
七時少シ前帰場

▲▼212ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月22日(水)

天気 曇リ

上京 佐藤ニヨリパイプノ事ヲ調べ出先ニテスリップリング受取ル コードヲ求メ協会ニ  
ヨリタ方帰ル  
豊間君ヨリ夜間飛行アリアス朝來テ呉レトノコトニタ方行ク旨返電ス

▲▼213ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月23日(木)

天気 曇

一番自動車ニテカスミヶ浦行き 拂下下見見積リシテ一同十二時半ノ列車ニテ帰ル  
自分上京 豊間君訪問 後チ飛行館ニテ會フ 氣球廣告社ノ主人同判(ママ) 一ヶ月

二回以上取ルトノコトニテ代理店名ヲ、ユルス事トス

児玉氏奈良原氏ニ會ツタガ金ハイマダシ 然児玉氏ニ大分有望フシイ話シガアッタ

▲▼214ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月24日(金)

天気 曇リ

鈴木伊ヲ横須(ママ)ノ入札ニ 鈴木菊雄ヲ局へ検査願ニヤル 検査ハ火曜日ノ予定ニナツタ由 自分ハ朝宗里ノアブロ修理箇所調べニ行ク 帰途石油ヲ買ヒ十時頃帰ル  
午後鏝本氏他一名トラック二台ニテ來場 宿舍格納庫等準備ヲ進メル

▲▼215ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月25日(土)

天気 晴

依托學生四名トサル一台教官其他約十名バカリ來場 學生ハ天幕ヲ張り他ハ谷津其他二宿ヲ取ル

奈良原氏來場 晝頃ヨリ同道シテ上京 二時半

クラブ理事会ヲ飛行クラブニテ開ク 上原氏ヨリ電話ニテコトワリアリ 來会者児玉、高崎、道永衣笠諸氏 道永ノ太平洋横断ニ対スル反対意見 クラブノ事ヲ先キニスベシハ大ニ我ガ意ヲ得タルモノデアッタ。夕方帰宅

奈良原氏本日ノ來場ハ坂本寿一ノ手ニヨツテ出來ル三十円ノ金ニ対スル條件ニツイテノ想(ママ)談デアッタ 出來レバ倍ニシテ返ス 返(ママ)対ノ場合ハアキラメテ貰フコトデアッタ

▲▼216ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月26日(日)

天気 雨風

終日在所

児玉氏外一名來場 家ヲ見ニ來タノデアッタガ見ラレナカッタ。サガシテ居クコトニシテ帰ル

▲▼217ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月27日(月)

天気 晴

九時頃徳川氏來場 コチラハ初メデアッタ 近藤少佐モ來 奈良原氏モ來ル  
森少佐來場 今日ハ午後東亜ノ方ノ三等試験ト拡張ダケ終ル 川辺不在  
今日ハ賑ヤカデアッタ

▲▼218ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月28日(火)

天気 晴

小西金次郎京都ヨリ來場 ドウモ川口ノバアサンガ毎日來テセメラレルノデ困ルノデヤ  
ツテ來タ 差當リ百円ダケ送ツテヤリタイトノコトデアッタガ這入ル道ナク、鈴木ガ帰  
ツタラ話シテ見ルコトニス 當分帯(マ)在スルコトニナリ山崎ノ下宿へ同道ス

▲▼219ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月29日(水)

天気 晴

ネオン取付ケヲ初メル 來客ヤナニヤカヤト仕事ハカドラナカッタ

▲▼220ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月30日(木)

天気 晴

終日ネオン取付ケ 今日ハ大ニ作業ハカドル  
鈴木ヲ局へ検査ヲ頼ミニヤル  
児玉氏病氣トノコトニ見舞ニヤッタラ今日ハ起キテ出カケタトノコトデアッタ

▲▼221ページ▲▼ 昭和6(1931)年7月31日(金)

天気 晴

辻本氏検査ニ來場 久シ振リデアッタ 鈴木BBIIDノ内部検査トネオンヲ見ル  
依托生ハ今日ハ五井ノ方へ行ッタ

奈良原氏來場

青島ガ久シ振リデヤツテ來タ

今日ハドコモ皆支拂ヒヲ延期ス

山本サンハ自分ニ先キニ行ツテ呉レトノコトデアッタ 児玉氏カラ奈良原氏へ事傳アリ。  
奨励金願書提出中ノモノヲ調ベルト三千円ヲ越シテ居タ  
イヨ、明日オイロッパ號ノ件ガキマルコトニナッタ

▲▼222ページ▲▼ 8月

一 輕飛行機設計進行ノ件

- 一 発動機注文ノ件
- 一 貸金回収ノ件

◆▼223ページ◆▲▼ 昭和6(1931)年8月1日(土)

天気 晴

朝船橋ニヨリアブロノ作業ヲ見金ノ件ヲ交渉シ五円受取りアト十五円夕方工場へ貰フ  
コトヲタノシデ上京 工藤ヨリ先日写シタ写真ヲ受取り今夜々間飛行ノ写真ヲ取ルコ  
トヲ頼ミ局ニ行キ検査日取りヲ火曜日ニ願出ル 決ラズ 月曜日更ニ聞クコトニシテ飛  
行館ニ行ク 奈良原氏一人 上原氏來場間モナク帰ラル 山本氏訪問ノ爲メ(金返金  
延期ノ爲)鹽瀬ニテカステラヲ求メ食事ヲシテ円タクデ行ク 不在 飛行館ニ帰ル 児  
玉氏來 山本氏へ延期依頼ノ手紙ヲ書ク。日本輕飛行機クラブノ歌ノ作曲出來タノ  
デ見タガ更ニ分ラナイ

四時迄待ツ オイロツパ號ノ件 理事会マダ終ラズ タゞシ雲行キ悪シトノコト  
夜間飛行ガ氣ニナルノデ帰宅。新本君、弘益社々員数名來場 八時半出發 満點ニテ  
帰場 一時間十五分 新本氏出發ト同時ニ帰京 石川同道 三百円ノ内二百五十円  
受取り帰ル 丁度十二時デアッタ 寢苦シク三時過ぎ迄目ガ醒メル

◆▼224ページ◆▲▼ 昭和6(1931)年8月2日(日)

天気 晴

イソガシイ日曜日デアッタ 先ヅ所沢ノサル藤田大尉操縦デ出發ス アト正午自動車  
來 一同引上ゲル迄種々ゴタゝゝス  
奈良原氏來 イヨゝ、オイロツパダメ 報知ハ途中着陸スルカラ、ソノ方へ貸ストノコトデ  
アッタ由

借間ノ児玉氏ノ友人來 案内ス

弘益社写真部員二名來場 夕方水上ヲ写シテ帰ル

夜間ノ金ヲ皆シナニ分ケル タゞシ女工ニ迫行キ渡ラナイノニ大塚ガ女工ニ途中デアッ  
タ話シタトカデキクトハマ金取り來 自分ウツゝシテ居タノデ家内ガコトワッタガ其云  
ヒ方ガマヅカッタノデアトデシカリトバシタラオコツテ夜ドコカニ行クトテ出カケ出シテシ  
マッタ

日大生式名々方來 一名八帰京 一名高橋氏室ニ泊ル

◆▼225ページ◆▲▼ 昭和6(1931)年8月3日(月)

天気 晴

上京 飛行館ニテ鳥飼氏ニ会フ 最(ママ)非七十円何ントカシテ呉レトノコトデアッタガ何ントモナラズ タ方寄ルコトニス。新本君ヨリ五十円受取り内笠松君ガツイテテ二十五円取ラレタ。

馬詰オイロツパ號借リラレナカッタコトヲ知ラズ報知ヘヤッタコトヲ話スト、スグ蟻川氏ノ處ヘ飛込シテ行ッタ 川辺ガ記者連中ニ話シタノデ是デモソシナコトハアルマイルト大分問題ニナッタ様デアッタ

▲▼226ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月4日(火)

天気 晴

坂本辻本料古顔來場 鈴木ノ分終了 午後船橋ニ行ッタガ手入レ不充分デ機体ハ津田沼ヘ運ブコトナリ發動機ダケ済ム

▲▼227ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月5日(水)

天気 曇リ晴

今日ハ割合ニ涼シカッタ 十一時頃ヨリ上京 局ヘ行ク 少シ時間ハ遅レタガ間ニ合フ 玉宮西川氏不在 江口君ニ頼シテ帰ル 飛行館ニテ児玉サシニ會ヒ直昇ノ金ノ件ヲ頼ム 一三日内ニ、百五十円ダケ何ントカシヨウトノコトデアッタガ無理ヲシナイ様ニタノム

今日幸ヒ此屋ガ二百円持ッテ來タノデ、鳥飼氏ニ五十円高橋氏ニ三十円渡ス

▲▼228ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月6日(木)

天気 晴

今日ハ木村氏ノアマチエアーノ設計話ヲヨム 久シブリデヨク頭ニ這入ッタ

▲▼229ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月7日(金)

天気 晴

大蔵ノ處ヘ行ッテ居ルエミ子ト徳次ヲ迎ヘニ家内ハ仁三郎ヲ連レテ上京 ツヒニ今夜ハ帰ラナカッタ

鈴木BBID完成検査ニ辻本橋本両氏來 發動機ハヨカッタガ機体ニ文句ガ出デ直シテ居ル内ニ小汐ノ爲メ飛行出來ナクナッテシマッタ 困ッタ事ダ

午後鈴木ノ方ノ講習会ガ初マルノデ式ガアリ長岡氏出席サレタガ受檢中デアッタノデ行ケナカッタ

今日ハ会報ノ原稿ヲ書ク

◆◆230ページ◆◆ 昭和6(1931)年8月8日(土)

天気 晴

鈴木菊ヨリ式百円ダケ持ッテ來ル 小西ニ五十円ヤル計畫ヲ立テ話シタガ最少百円呉  
レトテ折レ合ワズ。鈴木菊ヲ夜ヨビヨセ月曜日金ヲ作ル様申シ渡ス  
軽飛行機ノ設計ヲナス

◆◆231ページ◆◆ 昭和6(1931)年8月9日(日)

天気 晴

午後飯沼君來 今度アブロヲ貫ツタラ整備ヲタノミタイトノコトデアッタ  
終日軽飛行機ノ設計 頭モヤ、ヨクナツタラシイ コレデハ非(ママ) 觀スルコトモナイ 勉  
強スレバー一人デモ出來ソウニ思ワレル  
小西金次郎ニ、百円渡シタ方帰京ス

◆◆232ページ◆◆ 昭和6(1931)年8月10日(月)

天気 晴

時事 飛行協会十万円懸賞金(太平洋問題ニ)發表

報知三度決行ノ發表 オイロッパ號ト同姉妹機新規購入ノ件

朝降ルカト思ツタガ上天気ニナル 九時頃ヨリ上京 川辺ノ金取レタラ、取レナカッタ

ラドウト鈴木伊ニ差圖シテ上京 局ニヨリ検査ノコトヲ玉宮氏ニ依頼シ帰ル

飛行館ニ行ク 馬詰今日三時相羽君モ來ルカラ協会ニ対スル協議ヲシタイトノコトデア  
ッタガ、自分ニハマダ考ヘガマトマラナイカラトデハズ

児玉氏百円作ッテ呉レタ 佐藤ニヨリ七十円支拂ヒシテ帰ル

夕方時高橋君ヨリクラブ員中他ニクラブノ飛行機ヲ持ッテ行テ練習ヲヤルナドトノ話  
シガアルトノコトデアッタノデ安岡ヲ呼びニヤル 上京シタラシク不在 話ハ事實無根デ  
モナサソウダガ皆ホントダカ高橋君モヨッパラツテ居タラシイノデ分ラナイ

◆◆233ページ◆◆ 昭和6(1931)年8月11日(火)

天気 晴

局ニヨリ石川機ノ経歴調べニオソクナリ十一時飛行館ニ行ク 來会者上原閣下児玉、  
奈良原、衣笠自分ト長岡閣下。無條件太平洋横断飛行行会ヲ解散スルコトトス

長岡氏ハシキリニケシカケテ居タガ物ニナラズ  
夕方奈良原氏ト帰ル

▲▼234ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月12日(水)

天気 晴

終日在所

▲▼235ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月13日(木)

天気 晴

昨夜中カラ朝ニカケテ降雨ガアッタノデ朝ハスズシカッタ  
十時頃畠山氏來 鈴木B・B・Dトハンサー内部検査終了  
クラブノガソリン代中ヨリ女工ダケ金ヲ渡ス  
浅野金持参セズシヤクニサワッタノデ勝手ニシロツキ放ス。放シタガ金ガ這入ラナイノ  
ニ閉口

▲▼236ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月14日(金)

天気 晴

朝ノ休時間ニ皆ニ作業服ヲヤリ仕事ノ事ヲ打合セス  
鈴木上京 正午帰場 作業服ノ代リニ金五円ヤル  
鈴木菊ヨリ二十円取ル  
川辺ヨリ金取レズ 浅野ニ入金サセヨウトシタガ入レズシヤクニサワッタガ止ムヲ得ズ  
ガソリン屋ノ支拂ヒ手形等不在中ノ事ヲ命ジ五時半門松帰国ニツキ同道シテ出発 八  
時十分大坂行きニ乗ル

▲▼237ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月15日(土)

天気 晴

大垣ノ呼び声デ漸ク目ガサメタ 米原デ洗面後朝食  
七時五十五分大坂着 八時七分ノ下ノ関行ニ乗替エ三宮駅ニテ門松ト分レ下車 藤  
原ノ宅スグ分ツタ 丁度留都(ママ)デアッタガスグ帰ルトノコト 妻君ニ會テ待ツ 一時  
間位デ帰ツテ來タ 民潮トケンカシテ居ルトノコトデアッタガ金ノ入ル事ヲ話シ結極(マ  
マ)アト一五式ハ必ズ買フガ廿一日明日カラ西大寺ノ方ヘ飛行ニ行クノデ廿一日ニ民潮  
ト今一度交渉シテ民潮ト手ヲ切ルカ否ヤヲ決定スルトノコト 其時居タラ一所ニ會ツテ

貰ヒタイトノコトデアッタガ居ルヤ否ヤハ極メカネタ。取アエズ旅費ダケ明日カ明後日  
中ニ大坂へ送ル様ニ話シアトノコトハ一五式ハ別トシテ尚無盡ノ金デ來月ニナツタラドウ  
ニカスルトノ話モアッタ。イツレニシテモ不得要領ダ 大坂へ昨夜不在ノ電報ヲ打ッタノ  
ダソウダ

大坂ノ兄ノ家ニ行キ 一寢入リシテ湯ニ入り新世界ニ行キ百円ノ延期ヲタノミタ方帰  
宅 タ食後スグ眠ル 兄トモロモ聞カズニ今日ハホントニドウシタノカ眠クテタマラナカッ  
タ 昨夜汽車デハ割ニヨク眠ッタノダノニ。ヤハリ年ノセイカ

▲▼238ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月16日(日)

天気 雨

終日ノ雨 タ方カラ晴レル

トコ三行クノモオックーニナツテヤメ 中君ニ電報ヲ打ス(ママ)スグ來テ呉レタ タ方迫雜  
談ヲカワス

今日ハ新世界デタ食ヲ馳走スルトノコトデ行ク。喜代市氏ノ第一ノ娘ト云フノガ徳島  
デ藝者ヲシテ居ルノガ阿波オドリヲ甲落園デヤル爲メマネカレタトテ來テ居タノニ會フ  
夜ハ例ノカシワデ兄弟ノ外ニ四良平夫妻清平等加ワリ賑ヤカデアッタ、ガ後チ久太郎  
兄カラ金山ノ出資ニツキ話シアリ坐ハ白ケテシマッタ 其爲メ十二時頃ニナツテ帰ル

▲▼239ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月17日(月)

天気 晴

今日ハ大ニ活躍スベク先ヅ約束デ朝日新聞二十時十五分前ニツク 小西氏十一時半頃  
出社 大変オソクナツタコトヲワビ丁寧ニ氣持ヨク話シヲ聞イテ呉レタ 其待ツ間ニ河内  
君ニ會ヒR三型ノ模様ヲ聞クト今石川島デ直シテ居ルトノコト ハテイケヌカト思ツテ  
居タガツヒデニ野田君ニ會ツテ呉レトノコト 小西サンガ呼ニヤツテ會ツタガアレハ今大  
坂デ使フツモリデ修理中ダカラ一寸コマルガシカシアノ飛行機ハ操縦士ガキマツテ居ル  
カラ乗ラナクナレバ自分ガ居ル間ハキツト、ヤル様ニスルトノコトデアッタ。スグイヤノコト  
カラ方付ケルツモリデ木津川ニ行ク 橋本アイニク點呼ノ爲メ帰国 十九日デナイト  
帰ラナイトノコトデアッタ 支所長不在 先日ノ禮ヲ各係リノ人タチニ述べ張君ニ會フ。  
一度帰宅 土産物ヲ持ツテ西店ニ行ク 不在 中山氏ヲ訪問 氣ノ毒ナ様ナ店デアッ  
タ 一時間バカリ話シテ帰ル 今日ハ今年初メテノ暑デ夜ハ風ナク初メテ氷ヲノム

▲▼240ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月18日(火)

天気 晴

九時半ニナルノヲ待チ兼ネテ佐渡島ニ行ク 主人ト一時間バカリ話シタ。ヤハリ我等ノ主人ト云フ感ガスル タノモシイ人ダ  
堺ハヅット行 久シ振リニ心齋橋筋ヲ通ル  
堺ニ井上長一君ヲ訪ネタガ大坂ハ何ヨリ不在 中前モ居ラズ食事時ノ精力工場内ハガラントシテ、ダラシガナカッタ。タレモ知ツタモノ居ラズ手持チ不(マ)沙汰デ間モナク帰ル 途中兄ニ會フ。帰宅スルト工場ノ安岡ヨリ、新本君ヨリ名古屋デ夜間飛行ヲヤリタイトノ電報アリトノコト。明日ノ城ノ崎行ヲ中止シテ帰京スルコトトシ清平ト八時四十二分發臨時列車ニテ出發ス  
新世界デ夕食ノ馳走ニナル 更ニ土産物ナド貰フ  
久兄ヨリ金山出資者ノ件ヲタノマレル

◆◆241ページ◆◆ 昭和6(1931)年8月19日(水)

天気 晴

八時新橋下車 飛行館ニ入り新本君ニ電話スル 不在 十時過ぎ帰ルトノコト。局ヘ行キ補助金如何ト偵察スル 野呂ノ分出ルコトニナツテ居テ、委任状ニ印紙ナク貰テ帰ル 外ニ二分工場申請書捺印一通 遠藤アブロ分

飛行館ニ帰ニ更ニ電話スル 來テ呉レトノコトニ行ク 主人名古屋ニ出張中ニツキ今月相談ノ上返事スルトノコト 大体ノ經費ヲツゲル。クワシク聞コウトシナイカラ、ダメナンダロウ。飛行館ニ帰り児玉氏ニ會フ 早速久兄金山出資ノ件ヲ依頼ス。何ニカ一二年前ニモ、手ガケタコトガアルトノコトデアッタ

正午出テ帰場 鈴木伊ヅット休ミ居ル由 スグ川辺ヘ金件手紙ヲ持タセテヤル 三十円ダケ持タセテヨコス。豊田明日ヨリ第一飛行學校ヘ行クニツキ今夜三田浜デ送別会ヲシタイトノコト 今更会場ヲ取替エル、ワケニ行カナイガ今後ワイマシム

六時半出テ八時頃ヨリ宴ヲ開ク 奈良原会長ノ挨拶 豊田君ノ礼ニ初マリ宴タケナワニシテ会長ト共ニ先キニ帰ル

◆◆242ページ◆◆ 昭和6(1931)年8月20日(木)

天気 晴

早朝鈴木菊ヲ呼ビヨセアンリオ賣ツタカライクラデモ入金サセ様ト思ツタ處來月十五日支拂ベキガソリン代ト更ニ先月分迄支拂ツテ仕舞タトノコトニ立腹シ其不都合ヲナジル。更ニ川辺ヲ呼ビ四十円ダケ受取ル。宗里ニ約束ニツキ使ニ手紙ヲ持タセテヤルコトニシ安岡ニタノミ上京 局ニ行キ検査日取り打合せ廿五日ト決定ス 補助金今週ノ間ニ合ワズ。拂下代金十五円納付 飛行館ニ行キ晝食後児玉氏ニ會フ 新本ニ電話スルト今カラ相談ニ行クカラ、ソチラヘ返事ニ行クトノコトニ待ツタガ何度電話カケテモツ

ヒニ會エズ 回数六回 シヤクニサワツテ四時ツヒニ出ル

大坂ノ兄へ児玉氏ノ経過ヲ報告ス

夕方六時半帰場 午後ヨリ腹工合悪シク帰宅後安静ニシテ少シヨクナル

▲▼243ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月21日(金)

天気 晴

本日ハ上京セズ 鈴木、今日ヨリ出勤ス

小栗來 発動機整備ノ件 部品ハ品物ヲ返シテ貰フコトトシテ引受ケル  
清平來

▲▼244ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月22日(土)

天気 晴

終日在所 比屋君來 発動機ノ件話シマグネトーカーブレターコチラデ取揃エル事ト  
ナル。午後會長ヲ迎エテノ原稿ヲ書ク クラブ幹事会ヲ開キ森田除名ノ件ヲ決議ス  
小栗機完成ス

▲▼245ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月23日(日)

天気 晴

朝食後奈良原氏訪問 森田除名ノ件報告 会報ニツキ二三打合セル。頭ノ腫物悪化  
シテ困ルトノコトデアッタ スイカ一個持参ス

▲▼246ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月24日(月)

天気 晴

朝長屋ノ吉野ヲ呼び老女ノセツトウ事件ヲ以テ今月中ニ家屋、明渡シヲ情議(ママ)ヲ  
以テ申し渡ス  
正午森田且守來場 昨日豊田トケンカシタトノコトデアッタ 丁度幸ヒ除名決議ヲサ  
レタガ自カラ退会スルナラ其様ニ取ハカラフ旨ヲ申渡シ退会届ヲ渡ス 三日間内ニ返事  
スルトノコト。万一退会届ヲ出サナイ時ハ除名處分ニ處スル旨申し渡ス

▲▼247ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月25日(火)

天気 曇リ

北風寒イ日デアッタ

辻本松浦氏來場 クラブアンリオ完成 宗里アブロ機体内部検査不合格 辻本氏デハダメ。發動機内部検査二台共通過ス

宗里機全部張替ヲ要スルコトナル 丁度宗里氏來場 全部張替エルコトナル  
リンデイ機明朝七時根室発ノ予定

◆▼248ページ◆▼ 昭和6(1931)年8月26日(水)

天気 晴

今日ハ暑カッタ リンデー八時二十分根室出發ノ由ニテ安岡十年式ニテ電通ノ爲メ霞ヶ浦ニ飛ブ 出發ヲ見テ上京 佐藤ニテ、ハンサー用マグネトー式個ヲ買約ヲシ飛行館ニテ笠松ニ電話シテネオン代引ニテ發送スル様話シ、児玉氏ニ會ヒ今日ツイタ金鍍見本ト地圖ヲ渡シ、荻窪ノ飯沼三行キプラグ、タイヤ、チューブナド求メ内入トシテ式十円渡シテ帰ル  
クラブ会員飯田帰場 又練習スルトノコトニ一通リ専心スル様聞カネ話ス

◆▼249ページ◆▼ 昭和6(1931)年8月27日(木)

天気 晴

終日在所 夕方昨日ノ金ヲ持ッテ來タ 少し上ゲルトノコトデアッタガヤハリ約束ダケシカ持ッテ來ナカッタ

◆▼250ページ◆▼ 昭和6(1931)年8月28日(金)

天気 晴

今日ハ実ニ暑カッタ。リンデー歓迎ノ午餐会ヲ飛行協会デヤルノニ出席ノ爲メ上京ス。  
佐藤ニ立寄りボールトヲ受取ッテ帰ル

リンデーハ実ニ丈ノ高イヤセタ男 六尺ハアツタカモ知レヌ 日ヤケシテ、ヒタイダケガ白カッタ アン夫人ハ又日本人ノ普通ノ女位デ小柄ナ女デアッタ リンデーノ笑顔ハ実ニ愛キヨウノアル、可愛ラシカッタ 西洋人ニシテハ、若ク見エタ。夕方米大使ノレセップシヨニン安岡ヲヤル。帰途奈良原氏ニ立寄り途中デ買ッタ心臓ノ薬ト云フノヲ届ケ尚児玉サント打合セタ 月末金ノ事ニツキ日曜日児玉氏來宅サレルコトヲ告ゲル

◆▼251ページ◆▼ 昭和6(1931)年8月29日(土)

天気 曇リ

明ルカッタ 鈴木ヲ局ヘヤル 夕方帰ル 今日金間ニ合ワズ 月曜日ハ大丈夫トノコトデアッタ

晝前二千葉活刷所へ第三回会報ヲ注文ニ行ク

▲▼252ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月30日(日)

天気 晴

晴レタレドモ風ノ寒イ秋日和デアッタ

今日鈴木カラ百円クラブカラ七十円這入ッテ少シ安心シタ

鈴木長岡へ飛行ノ爲メ先ヅ尾島迄飛行ス

名古屋ヨリハンサー試飛行ノ爲メ竹内君中井君ト共ニ來場セシモ明日試飛行出來ソウモナイノデ一先ヅ帰ル 中井君ハ長屋へ今日カラ泊ルコトニナル

豊間君弘益社主人ト來場 アンリオニ、ネットヲ取付ケテ飛バシテ見ル。ウマク行ツタ。夕方學生五名水上アブロニ同乗サセル 豊田君操縦ス 大口奈良原氏ノ帰リニ立寄ル 児玉氏ヨリ二十円届ケテ來タトノコトデアッタガアト二三十円都合シテ上ゲネバナルマイ

今日ハ發動機ダケハンサー用イスパノ組立ヲヤル

▲▼253ページ▲▼ 昭和6(1931)年8月31日(月)

天気 曇リ

午前十時半ヨリ飛行館講堂デリンデーノ講演(陸軍本部主催)ガアルノデ上京 クラブヨリ安岡、高橋、富谷、黒沢行ク 信太郎ヲ同道ス 講演ハ約一時間 平凡ノ事デアッタ

午後三時ヨリエツドルフノ協会歓迎会アリ出席ス 局ノ金受取リノ爲メ鈴木出張 飛行館ニテ受取リ 工場員ニハ僅カニ二百円余リシカ、ヤレナクナッタ

五時児玉氏ト山本氏訪問五百円ヲ渡メ返ス スグ帰宅

▲▼254ページ▲▼ 9月

一 軽飛行機設計

一 發動機注文

▲▼255ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月1日(火)

天気 晴

震災記念日 東福寺ノ空中施餓鬼ヲ行フ筈ナノニ安岡帰ラズ高橋山崎モ居ラズ又ノ  
ンデ居ルニチガイナイガ今日ノ様ナ仕事ノアル時ニ不都合千万ダ。ツヒニ間ニ合ワズ浅  
井氏ニ変ツテ貰フ 操縦ハハリウマイ シヤクニサワツテタマラナカッタ

◆▼254ページ◆▼ 昭和6(1931)年9月10日(木)

天気 曇リ晴

五時半起床 六時半早川氏來場 森航空官來場前川辺君ト所沢ノ拂下ニ出發ス。終  
日試験ノ結果氣ニシナガラ拂下ハカンジンノ、アンリオ手ニ入ラズイスパノ300ヲ手ニ入  
レテ晝食ヲ一同ト共ニシ、飛行館ノ渡辺一英ト会ヒ協会蟻川総務理事排斥發起人ニ  
調印ス 津田沼船橋ヲマトメルコトヲ約ス 但シ立川其他ヲ加入セシムルコト 後任総務  
ト理事ニツイテハ理想ヲ實現スルコトノ條件ヲ附ス  
帰宅八時 高橋君ハ無事ニ済ミ山崎ハ発故障ノ爲メ烏山ニ不時着 機人共無事 東亜  
ノ和田今市方面ニマヨヒ不時着 機体大破ノ由

◆▼265ページ◆▼ 昭和6(1931)年9月11日(金)

天気 雨後晴

高橋君五時二起シ出張シテ貰フ 夜帰場 三時頃マグネト取替エ太田原へ行ツタ由  
鈴木局ノ補助金調査ニヤル。十五日頃確實トノコト

◆▼256ページ◆▼ 昭和6(1931)年9月2日(水)

天気 曇リ

今朝尚三人共帰ラズ。ノミナラズ千葉万世庵ヨリ女二名來 昨午後三人連レテノンダ  
金ガ二十余円 今朝取りニ來イトノコトデアッタト來タ。実ニケシカラン  
エツドルフノクラブ午餐会ニ出席 上仲ヲ連レテ行ク 終ッテ宮崎氏ト会见 グライダ  
ー同氏自信アルラシイノデアノマヽヤルコトニキメル 金ハ尚製作中ニ支拂フコトトス  
横須賀ノ拂下ニ鈴木伊ヲヤル

目黒ニ柳製作所へ温度計ヲ取りニ行ク。アト高度計ト温度計ヲタノンデ居ク  
今日ハ醫師ノ家ニ、アヤマリニ來テ居ルカモ知レスト思ツタニアニハカランヤマダ帰ラナイ  
トノコトデアッタ 今日病後初メテ奈良原氏上京セラレタノニ會フ

◆▼257ページ◆▼ 昭和6(1931)年9月3日(木)

天気 晴

朝幹事会ヲ開キ報告 年長者ト雖モ打チャツテ居ケナイガ一應諸君ノ意見ヲ聞キタイト想(ママ)談ス。後チ乾、他会員ト相談ノ上返事スルトノコト 午後此度ハオンビンニトノコトデアッタ 奈良原氏モ來ラレタガ昨夜十二時頃三人共帰ッタ由デアルガツヒニ、スガタヲ見セズ 夜安岡山崎來 注(ママ)告ヲ與ヘテルスコトス 山崎ハ食事ハ他デスルコト 食費練習費ヲ入レルコトヲ申渡ス

▲▼258ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月4日(金)

天気 晴

局ヘ検査ノ件打合セテ飛行館ニ行キ輸送会社デ分解器ヲ借リル件ヲ交渉シ明日返事ヲ聞クコトニシテ佐藤ニヨリ同道シテ帰ル。途中奈良原氏ヘヨリ児玉氏明日飛行館ニテ会ヒタキ由言傳ル

▲▼259ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月5日(土)

天気 晴

今朝漸ク高橋君ニ會フ 会テ見レバソレナラキツイコトモ云エナイガ聞イテ見レバ帰ルニモ金ガナクテ帰レナカッタ由。食事ハ家内ノ反対ヲ押切ツテヤラセルコトニシタノデ家内ガ、オコッテロヲキカナカッタ 夜十二時頃迄ドコカエ行ツテ居タコチラモ一眠シタアト眠レズ本ヲ讀ミ二時頃ニナル  
鈴木伊局ヘ出頭 鈴木補助金三百一円也ヲ受取ル

▲▼260ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月6日(日)

天気 曇リ

ハンサー試飛行ス エレロン重ク左マグネトキカナクナリポンプヨリオイル漏ル 大格ニ収容ス

七月分給料本日漸ク全部終ル

清平來 十五日迄ニ紙屋ノ金支拂フ事

▲▼261ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月7日(月)

天気 曇リ

少雨ナリシモ後曇リ 駒林畠山両氏來 宗里アプロ内部検査終ル ハンザーオイルタンク漏リタルト、フロート車輪取ルコトニ決定シ機体ノ検査ダケ終ル

クラブアンリオ試運転ヲ行ヒヤ、振動ニ不満アリシモ通過ス

▲▼262ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月8日(火)

天気 曇晴

高橋山崎ノ二等試験 場内無事終了ス

鈴木局ヘアンリオノ堪航証取リニヤツタ處、アンリオ振動ヲプラグデ取ツタノハイケナイカラ証明書ヲ出セナイトノ西川氏ノ意見ニテ、ダメ 実ニフンガイニ堪エナカッタ

▲▼263ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月9日(水)

天気 雨

雨ノ爲メ試飛行中止

馬場入院手術ノ必要アリトノコトニ鈴木ヲツケテ千葉病院ニヤル 病室ナク二三日後ニナル ヤハリ肺ガ悪イノダトノコト 手術トハ少シ変ダ

▲▼266ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月12日(土)

天気 晴強風

朝良天気デアツタガ十時頃ヨリ次第三風ツヨクナル 森、早川氏來場 風ノ爲メ太田原ヘ飛行中止セヨトノ打電シテ森氏ルブリ機ノ件ニテ帰京 早川氏一人残ル ソコヘ十時四十八分出発ノ入電アリ 強風ニ心配セシニ二時ニ到ルモ來ラズ警察方面ニ調査ヲ依頼ス 四時頃霞ヶ浦ニ不時着セリトノ入電ニ安心ス。早川氏船橋ニテ森氏ト連署ノ上明日ノ處置ヲ取ルトテ帰ル

夕方諏訪君行衛不明トノ知ラセアリ 又警察署ニ依頼シクラブ員会員、ソーサニ從フ七時頃、憲兵來 只今鉄道聯隊デ保護シテ居ルトノコト。高橋君ニ自動車デ迎エニ行ッテ貰フ。醫師ニ見セ眠レル藥ヲ與テ貰ヒ又逃ゲ出シテ自殺デモサレト困ルノデ同宿ノ富谷君ニ今夜番ヲシテ貰フコトトス

▲▼267ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月13日(日)

天気 晴

日曜日ナレドモ早川氏來場 今日コソ早ク終了ノ予定ナリシモ十二時ニイタルモ霞ヶ浦ヨリ出発ノ報ナク、返料付ニテ出発ヲ問合せ 十時半出発セリトノコトニ大ニ驚キ又船橋警察署ヲ頼ミ、安岡ニ飛行機ニテソウ索ニヤル 然ルニ二時四十分ヒヨツコリ山崎機歸リ來ル。聞ケバ間違ヘテ所沢ヘ行テガソリンヲ入レテ來タトノコト 今日ノ上天氣ニス

ツカリ氣ヲユルシタ爲メト思ワル 実ニ心配セラレタコトモソウダガ先ヅ試験ハ落第ト  
思ワネバナラナイ。シヤクニサワツテタマラナカッタ  
諏訪終日高橋君ニ見テ貰フ 夕方ケイサツトケンペイ聯隊へ礼ニ廻ル 実ニ馬鹿々々シ  
カッタ シヤクニサワル

▲▼268ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月14日(月)  
在所

▲▼269ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月15日(火)  
在所

▲▼270ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月16日(水)

天気 曇リ  
久シ振リデ上京 局へ行キハンサー検査ノ件ヲ打合せ 大体十八日ト決定シテ飛行館  
ニ行キ兒玉氏ニ會フ 兄ノ金山出資ノ件富山氏旅行中トノコトニテ今日明日ニ帰ルトノ  
コト 富山氏自身出資能力アル由  
今度十一日ヨリ初メタト云フ桜田ビルノ銀鳥ニ兒玉氏ト云イ行ク 三円若干ハ割ニ安  
カッタ

▲▼271ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月17日(木)

天気 曇  
七時ノ一番自動車ニテ所沢へ十時着 飯沼一時間遅レテ來。午前中時分ノ方ヲ終リ  
百四十円三十八銭納金 晝食後飯沼分百五十余円 四三時半終リ下見ニ行ク。午  
後打合せ中徳川少将ニ面会ス  
夕方ヨリ田中高橋、井上飯沼ト若葉ニテ夕食 ゲイシヤヲ上ゲル 八時頃自分モ先キ  
ニ細村屋へ引上げ、安岡ヲ呼ビ酒ヲ出シテ十時頃迄話シテ帰ル

▲▼272ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月18日(金)

天気 曇リ  
五時半目ガ醒メル 引取り方針ニツキ色々考ヘタガヤハリ共同ニスル外ナイコトニキメル  
七時鈴木伊ヨリ電話カゝル 今日ノ検査ノコト、比屋金ノ件ヲヨク云ヒツケ八時高橋

宅ニ行き手配デ九時倉庫ニ行き井上君ノ來場ヲ待ツテ小部品ヨリ搬出ヲ初ム 十一時頃飯沼來 一寸難色アツタガ結局共同トシ、翼ヲノコシタ外全部ヲ終リ津田沼ハ自動車ニ一車ダケ送り翼ハ高橋ニ預ケルコトニトス 明日一車翼ヲ津田沼ニ送ルコトニトス 夕方遠藤君來 高橋飯沼四名ニテ三好軒ニ夕食ヲ共ニ荻窪迄飯沼ノ自動車ニテ行キ省線ニテ津田沼ヘ 十一時帰宅ス

▲▼273ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月19日(土)

天気 曇リ少雨

七時過ぎ迄眠ル 鈴木來 昨夜帰宅後聞イタ、クラブ飛行機川辺ガ借リタイト云ツタノヲ貸サナカッタゴタ、事件ヲ例ノクド、シイ口調 ウルサカッタ 辻本坂本両氏來場 ハンザー先ヅ終リ 馬詰アブロ機体内部検査終ル 羽布張替ノ件ニツキ馬詰ト相談ノ上決定スルコトナル。クラブアンリオ又發動機振動ノ爲メダメ 竹内君ト交渉 計算シテ五百円ダケハ入金ノコトヲ依頼ス

▲▼274ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月20日(日)

終日在所

▲▼275ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月21日(月)

天気 晴

上京 ハンザーノ堪航証依頼シタガ比屋ノ親権者ノ承認書ニ間ニ合ワズ爲メニ出ズ 児玉氏ニ會フベク飛行館ニ行ツタガ會エズ 夕方帰場竹内比屋ニ承認書兄ノ判デ間ニ合セルコトシテ蒲田ヘヤル。尚出発前ノ金ニツキ請求セシモ出來ズ今夜中ニ手配スル様云ヒ渡ス

▲▼276ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月22日(火)

天気 晴

堪航証貰ツテ夕方帰ルナラスグ出発シタシトノコトデアツタガ金ヨコサズ、スツタモンダノ末出発後一週間以内ニ四百五十円ヲ必ズ拂フトノコト契約ニテ出発サセルコトニシタガ、スデニ、クラク明早朝ニシテ今夜ハ出発ニ当リビールヲヌイテ前途ヲ祝ウ 比屋ヨリモ竹内ニ多ク責任ヲ帶ワシム 最モ同人ガ引受ケルトノコトデヤルコトニス

▲▼277ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月23日(水)

天気 晴

上京ハンザ出発ノ爲メ四時半ヨリ皆起キテ沖ニ出シタガ自分上京迄ツヒニ発動機力、ラズ 後二聞ケバ十時頃出発シタ由 十一時無事清水ニツク

藤原上京中トノコトデ神戸へ藤原ノ住所聞イテヤルト浅草ノ光野ニ居ルトノコト。児氏(ママ)ニ金鉾ノ件デアイタカタガ今日ハ來ラズ。光野ニ行ク 居ラズ 出先キヘ電話デ話シスルト明日津田沼へ行ク 若シ行ケネバ電報スルカラ東京デ会フトノコトデ帰ル

▲▼278ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月24日(木)

天気 晴

大坂ノツル姉ヨリ手紙ガ來テ大分困ツテ居ル模様ナノデ児玉氏へ電報シテ明日飛行館デ會ヒタシト云ツテヤル ハンサ無事片山津着ノ由

藤原ヨリ急用ニテ神戸へ帰リニ三日デ來ルトノ手紙アリ。又ウマクヤラレタ 米沢君ノ一五式ニ対シ返事出ス

▲▼279ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月25日(金)

天気 曇リ

昨日児玉氏へ打電シテ居イタノデ上京 飛行館ニテ児玉氏ト会見 富山氏へ電話シテ三時頃飛行館ニ來テ貫ヒ三人デ會フ 富山氏ノ金鉾へ行ク 冨神谷氏ニ途中寄ツテ見テ貰ッタラドウカ、ソノ上デヨケレバ金ハイツデモ出ストノコトデアッタ。其旨スグ手紙ヲ大坂へ出ス。明日神谷氏ニ寄テ貰力否ヤノ返事ヲ聞クコトニ打合セテ帰ル

午前川崎ノ飛行場へ初メテ行ク 商船學校前カラ約十五分ハカヽッタ 熊倉君ニ會フ 後チ遠藤君ニモ會フ アプロホシトノコトニ馬詰ノ話シラス 早速今日相談スルトノコトデアッタ

▲▼280ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月26日(土)

天気 雨

時事 満州事変ニツキ国際聯盟ニ日本ノ主張通ル

鈴木伊休ム 安岡ニタノミ、佐藤、門松、太田ニ仕事ノ事ヲ打合セテ上京 局ニ行ク。内部検査ノ件辻本氏ニ依頼シテ第三回会報ヲ分配シ田中不二雄ニ會ヒニ冊渡シテ飛行館ニ行ク 四時迄待ツタガ富山氏來ラズ

銀鳥ニ児玉氏ト會ヒ明日結果ヲ聞イテ居イテ貰フコトトシ、佐藤ニテ右ノ趣キ手紙ヲ

書イテ大坂へ出ス 帰宅スルト大口金ヲ待ッテ居タ 僅カニ残ッタ一円ヲ皆ヤル

▲▼281ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月27日(日)

▲▼282ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月28日(月)

上京 児玉氏富山氏ニ電話シテ飛行館デ会见 池田氏ガ山ヲ見デヨケレバ金ハイクラ  
デモ心配出来ルガソレニツイテハ見ル前ニ賣リナライクラ共同ナラドシナ部合ト云フコト  
ヲキメテ居キタイトノコトデアッタノデ夜佐藤ヨリ大坂へ電話スル 兄ニ來ラレタラ來ル  
様進メル 明日大坂ノ方デ會フ人ガアルカラ、其ノ方ノ都合デ來ルトノコトデアッタ  
局ニ検査ヲタノム

▲▼283ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月29日(火)

天気 雨

今日モ上京 馬詰昨日モ今日モ來ラズ 多分契約ガ出來タノデアロウ ソレナラ早ク  
金ヲヨコサネバナライナイノダガ、ヨコサヌツモリデ逃ゲテ居ルラシイ  
児玉氏奈良原氏ニ會フ

午後協会ノ評議員会ニ出席 理事團タクマ氏再撰ス

夜帰ッタラアササ九時東京駅ツク 迎エニコイトノ兄ヨリ入電アリ

▲▼284ページ▲▼ 昭和6(1931)年9月30日(水)

天気 晴

兄九時東京着トノコトニ早朝上京 十時ツク 飛行館ニテ児玉氏ニ會ヒ富山氏ヲ呼ビ  
銀鳥ニ行キ話シヲナス 清平モ來

話シハ池田技師ニ見テ貰フニコトニツキ富山氏ノメンバート想(ママ)談シテ明日返事スル  
トノコトデアッタ

川辺アブロ 馬詰アブロ機体 クラブローン80 馬詰ローン120 川辺ローン120 発  
動機内部検査 辻本坂本氏 川辺ローンダケ不良 アト皆パス

▲▼285ページ▲▼ 10月

- 一 クラブ発展策
- 一 発動機ノ件
- 一 工場作業促進ノコト

◆▼286ページ◆▼ 昭和6(1931)年10月1日(木)

天気 薄曇リ

兄ト共ニ上京 飛行館ニ兄玉氏ト会フ 今日ハツヒニ富山氏ト會エズ 尚兄一泊スルコトニナツタガ明朝早イノデ兄ハ大蔵君ノ宅ニトマルコトトシ大蔵ヲ日日ニ訪フ。富可川ニテ夕方ノ馳走ニナル  
馬詰飛行館ニ今日モ來ラズ

◆▼287ページ◆▼ 昭和6(1931)年10月2日(金)

天気 曇

六時半ノ自動車ニテ八時前東京駅着 八時四十分兄來 共ニ富山氏低(ママ)ニ行ク途中兄玉氏ト會フ 十一時頃迄カヽル 結局鉾山ハヨスギルノデ面白イガ池田ガヨイト云ツタラ金ヲ出サセルトノコトデ池田氏ノ來場時機ヲ聞合セ知ラセテ貰フコトニシテ帰ル 兄玉氏ハ飛行館ニ自分等ハ研究所ニ清平ヲタヅネ時間迄見学ナドシテ帰途馬詰ノ宅ニヨル スデニ引越シテ居ラズ 廿時三人デ夕食ヲ取り七時十分發 兄ヲ見送りテ帰ル時兄ヨリ爲替手形ニ通ヲ貰ヒ割引ヲタノマレル 誠ニ迷惑ト思ツタガ何ントカ方法ヲ考ヘルコトトス

◆▼288ページ◆▼ 昭和6(1931)年10月3日(土)

天気 曇少晴

朝主ナルモノニ三ヲ呼ンデ金ノオクレタコトノ諒解ヲサセ仕事ノ打合セヲナス 鈴木昨日休ンダコト電氣屋ヘヤルベキ金ヲ自分ノ方ヘ取ツタコトニツキギヤクシユウ的の辨解ヲナス不都合千万 自己ノ非(ママ)ヲ曲ゲテ勝手ノ申出ハ將來イマシムベキコト

吉田ノ奨励金出ルトノコトニ大急ギ同道上京 午後二時受領 クラブノ百円ハ工場ニ借り受ケ内五十円皆ヘノ爲メ吉田ニコトヅケテ返ス。ローンノスプリングヲ引取り馬詰ヘ金貳百円請求ノ手紙ヲ給仕ニ事ケル 佐藤喜郎氏ト岡田氏訪問 船岡某ノ爲替手形昨日兄ヨリ預リシ分割引ヲ依頼ス。ドチヲモ心ヨク引受ケテ呉レタガ、サテ調査ノ結果ハ如何カシラ 十時帰宅 エミコ海浜學校行キノ仕度デマダ居キテ居タ。大蔵ノ家内カナリヤヲ持ッテ來テ今夜泊ル

▲▼289ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月4日(日)

天気 曇雨

久シ振リデ終日在所 エミ子十時四十分幕張発ニテ行クベク乗合ニ乗リオクレ貸物自動車ヲタノシデ行ク。大蔵家内モスグ帰京ス

手紙ヲ四五通ソレ、出ス 鈴木菊雄ヲ呼び式百円都合スル様命ズ 中々應ジナカッタガヤ、カタムク

宗里君來 発動機飛行機日誌ヲ渡ス

川辺今日モ帰宅セズ

栗原昨日ヨリ入所。本日入所ニツイテノ心掛ケヲ説ク。夕五時半食事ヲ終ル

▲▼290ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月5日(月)

天気 曇リ

終日在所

▲▼291ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月6日(火)

天気 雨

約束ニヨリ十時飛行館ニ行ク 児玉氏スデニ來テ居ラレタ。上原閣下來 三人ニテ児玉技術課長ニ會フ爲メ局ニ行ク。アンザニー拂下ニツキ諒解ヲ求ム 製作スベキ設計書ヲ今少シ完備シタモノヲ出セバ必ズ出ストノコトデアッタ ツヒテニ閣下ヨリ余ト課長トノ間ヲ將來ヨクスベク取モタレル。課長ハ更ニ他意ナク伊藤ノ方デ逃ゲテ居ルノダトノコトダッタガ彼レラシイ云ヒ分デアッタ 尚川辺其他ノ用ノ様ナモノノ仕事ハ一切ヤメタ方ガヨイトノコトデアッタ。銀鳥ニテ晝食ヲ共ニシ後チ立川ニ木下氏訪問シタガ不在 熊川君ニ會ヒR三型ノ状況ヲ聞キ帰り飯沼君ニ立寄り夕食ノ馳走ニナリ局拂下金ノ入金ヲ依頼シテ帰ル オソクナル

BAUF受検合格

▲▼292ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月7日(水)

天気 曇リ

境、平松氏來 四十円受取ル アプロ定期検査ノ件ヲタノマレル。十年式賣リ込ミノコトヲ話ス 千七百円也 同道シテ工場ヲ見セテ居ル内門松來 事故ヲシラス 出テ見ルトアプロトアンリオガ障突逆立シテ居ル 調査スルト鈴木ノアプロガ車輪。パンクシテ居イテアル處ヘアンリ大里操縦シテブツケタモノト分ル。シカモ昨日検査スンダバカリノ方

ノアンリオデアッタノニハ弱ツタガ少シ様子ヲ見ルコトニシ、アブロノ損害ハ大里ガ負担スルコトニナル 鈴木ニ六大里ヨリ其旨ツゲル 兎ニ角知ラヌ顔テ堪航証貰ヒニヤル 明日トノコト

▲▼293ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月8日(木)

UF堪航証受取ル スグ補助金申請書ヲ調整 出サセル  
鈴木機補充二十三日拂下ノアブロ翼ヲ廻スコトトス

▲▼294ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月9日(金)

天気 曇リ

UF無検査ニテ修理スルコトトス 試験十二日トノ通知ニヨリ大急ギ間ニ合セルコトトス

▲▼295ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月10日(土)

天気 雨曇リ

馬詰ニ金貳百円貰フ約束ガアッタノデ上京シタガ馬詰來ラズ。

岡田氏ニ會ヒ百円支拂ヒアトノ麻布ヲタノミ、手形ノ件モタノム 調査ハ大坂ノ方ハマダ來ラズ 興信録ハヨイラシカッタ。笠松氏ニ會フ 大坂へ行ッテ金ガ取レタラ幾分拂フコトニシテ分レル 児玉氏ニ會フ

▲▼296ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月11日(日)

天気 曇リ

終日在所 宗里氏來 カスミヶ浦ノ引取リヲ頼マレル 夕方山田航空官來 宿ヲ三田浜ニ案内ス 江口氏モ來館 夕食ヲ共ニシ、久シ振リデゲイシヤヲ上ゲ大ニサワグ 一時帰宅 カナリヨッタ 近來ニ珍ラシイコトデアッタ

安岡外一名太田原へ出張

BAUF完成ス

竹内君ヨリアス○オクルヨロシクタノムトノ入電アリタリ

▲▼297ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月12日(月)

天気 晴

心配シタ天気デアッタガヨクナッタ 上仲太田原行キ順潮ニ行キ帰リテ汐ノ上ゲテ居

ルノニ、着陸シテ逆立トナル。大シタコトガナカッタノデ夜ヲ徹シテ直シテヤルコトニス  
降りテカラ、泣イテ泣キ止マズ 山田航空官モ同情シテ質問ヲ延期シ場内試験モ續行  
シテヤルトノコトデヤット安心シテ夕方帰ル 夜十二時迄自分モ起キテ居タガ床ニ入ル  
年ノセイガ昨夜ノガ、コタエテ眠クテタマラナカッタ  
鈴木上京 岡田、山本林原ヘヤル

▲▼298ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月13日(火)

天気 雨

風ハゲシク夕方ヨリ風雨トナル爲メニ試験飛行中止 昨夜三時迄夜業シテZB完成  
少シク手入レヲナシ午後休業ス  
鈴木伊カスミヶ浦へ出張サセル 高川ニ自動車ニテ引取りニヤル 雨ハゲシク心配ス 夜  
十時雨止ミ風ノミハゲシキ頃帰ル ソレヨリ先キ朝ノ寒サニ引替エナマ温タカキ風吹キ戸  
締リヲ警戒ス

▲▼299ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月14日(水)

天気 快晴

秋晴レノスバラシイ上天気 山崎、大里、ノ太田原行キ 出発オクレ十二時半ニナリ帰  
還飛行中止 明朝帰ルコトニナル  
鈴木ノ方本日済ミ上仲一昨日ノ飛行經過方(マ)告 上出来 試験官ノ印象ヨシ  
鈴木甲三ノ内部検査ヲ受ケ合格 臨時二川辺ノアプロ受検合格 駒林松浦氏ダッタノ  
デ見テ呉レタノハ嬉シカッタ  
竹内君ヨリ百五十円入金アリ

▲▼300ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月15日(木)

天気 晴

発報ナキ内十二時過ぎ山崎 引ツイテ大里無事帰還 晝食後上仲、大里、ノ場内  
飛行 山崎ノ航空官同乗飛行ヲ終ル 四時頃帰京サル  
奈良原会長來場 終日在所 夕方帰ラル 五円渡ス 今日ハ少シツカレタ 酒二本ヲ空  
ケル

鈴木ノ佐々木アプロニテ森田ニタノマレビラ飛行ス。出発ニ綱ヲ引キヤリソコネテ重リノ  
鉄棒ヲ、振り廻シナガラ東京ヘ飛行 帰ル迄大ニ心配ス。ノミナラズ皇后陛下上野行啓  
時間ニ近ク上野上空ヲ飛行シ問題ヲ起ス

◆▼301ページ◆▼ 昭和6(1931)年10月16日(金)

天気 晴

久シ振リニ上京 八時四十七分ニテ船橋発 先ヅ川崎飛行場へ行ク 丁度熊倉君ガ上田氏宅へ行ク處ニ出會ヒ同乗シテ飛行場使用承認書ヲ貰フ 吉武海軍少將ト云フ人モ同道 タクシー車中ニテ昭(マ)会サレル。警視廳ニ行ク。佐々木森田、丁度始末書ヲ取ラレテ居ル處デアッタ。助川氏カラモ自分飛行場ノ統一ヲ計ツテ役所ノ届出ナドヲ完全ニシテ貰ヒタイトノコトデアッタ。二十日ノ飛行願書ヲ出シ不備ノ點ハ十九日持参ノコトトシテ飛行館ニ行ク 丁度間ニ合ヒ學生訪欧飛行士ノ歡迎会ニ出席ス 終テスグ局ニ行ク 課長ヨリ昨日ノ事ニツキ聞カレル 今日何ンダカ大變親シゲニ見エタ。十九日綱ノ取付驗査ヲ依頼シ山田氏松浦氏ニ來テ貰フコトニ極マル。佐藤ニテピンヲ買ヒ、弘益社ニテ廿日ノ打合せヲシ、パラシュートノ見本ト綱ヲ貰ヒ麻糸ヲ買ツテ帰宅 七時夜就寢後橋本善喜來ル 今村モ來タ由

◆▼302ページ◆▼ 昭和6(1931)年10月17日(土)

天気 晴後雨

時事 信州上田市宮飛行場開キ

二十日飛行ノ綱取付裝置ヲ大口小野二人ニテヤラセル 昨日パイプノ出先キガ、ジャマナリ、ヒツカ、ッテダメデアッタノコトニ、ソレ等ヲ取ノゾキヤツテ見タガ、重スギルノト巻取りノパイプガ細イノデ、ウマク行カズ徑五寸位ノモノニスルコトトス。今日ノ試験官間ニ合ワズ

橋本善喜、父ノ後妻ノ連子ニ妹ヲメアワセ、善喜ノ店ヲ譲ル計畫アリ 面白クナク飛ビ出シテ來タトノコトデアッタ。ヨク聞ケバ不在中ニ親類ノモノガ、オサメテ呉レル事ニナツテ居ルラシイ

◆▼303ページ◆▼ 昭和6(1931)年10月18日(日)

天気 曇リ

明日ノ受檢準備ノ爲メ、綱引キ裝置ト鈴木甲三、宗里アブロノ羽布張りヲ作業ヤラセル

本日ノ横浜飛行中止トナル

木下、來場セルモ昨日ノガソリン代持参セズ 山田君タ方來 木下明日持参スルカラトノ挨拶アリタレドモアヤシ

川辺本日モ帰津セズ。局ノ奨励金申請書判ヲ貰エズ

午前午後ニ渡リ左官家ヲ手傳ヒニシテ畑ト事務所前ノ庭ヲ整理シ氣持チヨクナル

▲▼304ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月19日(月)

天気 雨

鈴木ヲ早朝局ノ検査 本日ノ装置検査ダケデ飛行ハ明日洲崎ニテヤッテ貰フコトヲ依頼ニヤル 警視廳モ其予定ニテ頼ミニヤル  
十一時頃松浦氏來場 四時頃迄居ル 装置オクレ大体ニヨカッタガ夕方海岸ヨリ飛行実演ニ当リサイドチエインハヅレ其爲メ主チエインニ綱ガ引カヘリ「ミ」ノ處ニテアトノビス其マ、着陸ス。止ムヲ得ズ明朝洲崎デ見テ貰フコトヲ依頼シテ還ル  
大坂ノ兄五次郎名議(ママ)ニテ手形ノ件ニテ刑事問題起リ來テ呉レトノコトデアッタ。刻々行キツマッタラシイ 困ッタコトデアル 早ク行キタイガ今日明日ト云フ訳ニ行カナイノデコマルガ明日ノ飛行ノ結果次第デ行カネバルマイ

▲▼305ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月20日(火)

天気 晴

美松開店ノ宣傳飛行ノ爲メアンリオ川崎ニ飛行 自分汽車ニテ上京 先ヅ綱ガ引ケナイノデ局ヘ検査取消ヲタノミ、弘益社ニ行キ右ヲ話ス 川崎ヘ行ッテ居ルトノコトニ同道水野氏ニ警視廳ノ意向ヲ話ス。ソレデハト云フノデ美松ニ同道シ宣傳部長ニ会ヒ今日ノ綱引キハ出來ナイノデ、パラシュートダケ撒クコトニキメテヤラセル。夕方警視廳タ方飛行館ニ行ク 児玉氏來ラズ、銀鳥ヘ寄ッタガ居ラズ桜田氏ト會フ 食事ヲシナガラ雑談シテ帰ル

▲▼306ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月21日(水)

天気 曇リ

本記事ハ廿二日分

水野ニ行キ一日待ッテツヒニ金出來ズ 廿一日付ノ貳百円ノ小切手デドウカシテ呉レトノコトニ閉口シタガ止ヲ得ズ受取ル ソレヨリ先キ局ニ受檢ヲ終ッタ大里君ニ會ヒ明日百円カ百五十円所沢ヘ持参ノコトヲ頼ム 間ニ合セルトノコトニヤット安心 帰宅後直百五十円持参ノコトニ電報ヲ打ッ

▲▼307ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月22日(木)

天気 晴

◆◆308ページ◆◆ 昭和6(1931)年10月23日(金)

天気 晴

鈴木菊同道所沢ニ行ク 十時着 手續キマスマセタガ大里來ラズ。小切弘益社デ貰ツタ小切手デ飯沼ニ話シテ見タガ今日ハ丁度シカ持ツテ來テ居ラズ 其内大里來 ヤット安心ス 引取りニ當リ工場ハ悪イ品バカリデ大ニシヤクニサワル 井上氏ニ話シテマグネトヲ別ニ貰フコトヲ領(マ)解ヲ得タガ今ノコトニナラズ  
甲ニヲ出スノニ手間取ツテ五時發ニテ歸ル  
鈴木甲三完成検査終ル

◆◆309ページ◆◆ 昭和6(1931)年10月24日(土)

天気 曇リ

鈴木ヲ上京サセ金ヲ取りニヤッタガ、ツヒニ取レナカッタ

◆◆310ページ◆◆ 昭和6(1931)年10月25日(日)

天気 晴

今日ハ河野サンヤ井口サンガ來ルトノコトデ朝カラ準備シテ待ッタガ來ラズ。富田氏ノ令兄ト通信省ノ經理ノ人ト來場 二人ヲ乗セテ晝食ヲ出ス  
奈良原氏來場サレタガ待人ツヒニ來ラズ 晝歸ラル 其アトヘ小倉氏ト谷井氏來場 オシイ事ヲシタ 小倉氏同乗シテ稲毛ニ行カレル  
午後終ツテカラ宗里ニ行キ請求書ヲ渡シ尚アブロ完成ニツキ金ヲ用意サレ度旨タノム

◆◆311ページ◆◆ 昭和6(1931)年10月26日(月)

天気 曇少雨

二等受検者ノ結果ヲ聞クノト、弘益社ノ百円受取ル爲メ上京 先ヅ局ニ行ク 上仲大里合格確定 アト二人ハマダ採點シテナイガ島本ハヤ、有望 田中ハダメラシイ 弘益社ニ電話スル 二人共不在ノ由 飛行館ニ行キ児玉氏ニ會フ 馬鹿ニ非(マ)觀シテ居ラレタ 昨日ハ一日五十錢デ通シタトノコトデアッタ、ノデ天国ヘ同道シ元氣ヲツケル。帰途三度目ノ電話デ水野氏ト話シ小切手デ金ヲ作ルカラ返シテ呉レトノコトニ持ツテ行ク。帰途奈良原氏ヘ立寄り十円ヲ渡ス。今夜田口ヘ御出張ノ爲メ。帰宅シタラ大坂カライックルトノ電報アリ。夜ヨク眠レナカッタ

朝安岡歸ツテ來タノデヤット助カル 百五十円這入ッタガ手形ノ金ニ取ツテ居ラズ佐

藤ノ五十円ハ実ニコマツタ 其他ノゴタ、デ大坂行ノ旅費モ残ラズ

▲▼313ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月27日(火)

天気 晴

終日在所 鈴木ヲ上京サセタガ弘益社ツヒニ七十円ヨリ取レズ帰ル  
明日ノ出發アヤシクナル

鈴木ヨリ百円取ル 安岡帰リ百五十円這入ツタガスグ皆出テ仕舞テ一文モイコ残ラズ

▲▼312ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月28日(水)

天気 晴

川辺君ノ金間ニ合ワズ 鈴木菊ヨリ六(ママ)理三五十円取ツテ宗里ヨリ十円來 コレデ  
手形ノ金ダケ出來タガ旅費一文モナシ

川辺ハ明日百円入レルトノコトニクラブノ金ヲ見ニヤツタガ遊ビニ出テ居ラズ 安岡ガヤ  
ツト二十円金ヲ作ツテ來タノデ、ソレデ行クコトニキメタ處ヘニヤ板來 五円四十銭其  
中デ拂ツテ出發 上京後スグ弘益社ヘ電話シテ居ク 飛行館ヘ行ツタガ児玉氏今迄待ッ  
テ居タガ中野ヘ行カレタトノコトデ弘益社ニ行キ三十円貰フツモリガ十円ヨリ呉レズ。  
豊間君ト會ヒ共ニ東京駅ヘ行キ地下室デコーヒーヲノミツ、一時間バカリ話シ合ヒ七時  
十分ニテ出發ス 割合ニスイテ居タ

▲▼314ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月29日(木)

天気 晴

八時三ノ宮着 新駅ニナツテ居タノ様子分ラズ藤原ノ宅迄カナリ歩イタ 丁度表デ  
妻君ニ會フ 今新聞社ヘ行ツタ處ダトノコトニスグ、タクシード民潮社ニ行ク 社長ニモ  
會フ 今日ガ丁度山口ノ四十九日ニナルトノコトデ明日大坂ヘ來テ呉レルコトニ約シテ  
帰坂ス

兄ニ其後ノ様子ヲ聞ク 警察ノ方ハ要スルニ仲介シタブローカー連ニ裏切ラレタ型デ兄  
一人賦立シタコトニナリ不利デアッタガ結局千円ノ手形ノ方ハ坂口ガ五百円 兄ガ五  
百円作ツテ返スコトニナリ二千八百 田口ニ対シテハ利子八十余円ヲ支拂ヘバ示談成立  
警察ノ方ハ取下ゲ出來ルトノコトニ結局六百円金ガ入ルコトニナツタ訳デアル

藤原ヘアスゼヒ會ヒタイ打電ヲシテ居ク

ツル姉ハ小供ノチャン、ノ仕立ヲシテ居タガ一枚五錢ダソウダ 一日十枚ハ骨ガ折レ  
ル由。広モ夜帰ツテカラ十二時頃迄毎日仕事ヲシテ居ル由

夜兄ト新世界デ万歳ヲ見、後姉ニ今月百円アト毎月二十円ヅハアレバ生活ノ方ダケハ

チヤントヤツテ行ケルトノコトニツキ広ノ卒業期迫右デ、ナルカラ出シテ呉レトノコトノヲ取ツギ差当リ百円ヲタノミ二十円ツハ自分ガ送ルコトニシテ話シス 兄ト想(ママ)談シテ居クトノコトデ帰ル

▲▼315ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月30日(金)

天気 晴

昨夜オソクナッタノデ眠カッタ 七時過ぎ起床 食後一寸今日ノ野田氏行キヲ、チュウチヨ、スル様ナ氣持チガ出タガ、押シテ行クコトニシテ北浜ノ灘万デ魚ノ味噌漬ケ買ツテ持ツテ行ク 丁度入浴中デアッタ。會ッテ一二世間話シカラ、新潟ノ定期ノ事ヲ聞ク 野田氏モ朝日ノ仕事トシテハ不適當ナコトハ自分ト同感デアッタ。若シ止メル場合ハ繼承サセテ貰ヒタイ事ヲタノンデ居ク 後本題ニ入り、上仲ニ時間記録デモ作ラセル爲メス三型ヲ借リルコトト云フ名目デ話ス。野田氏モ名目ニツイテハ一ツ考ヘテ村山氏ニ相談シテ見ルガ丁度三日ニ新館ノ披露ヲヤルノデ其後ニナルトノコトデアッタガヨロシク依頼シテ帰ル。ヤッパリ行ツテヨカッタ

戎警察署ニ司法主任橋本氏ニ會ヒ宅間ト云フ本所員ナリト稱スルカタリデ届デテ居ク

藤原京都ヘ行ツテ帰リニョルトノ入電アリシモ遂ニ來ラズ 待ボケヲ喰ウ

再三新世界ニ行ク 漸ク百円トモ月一杯迄ノ毎月々十円ツゞ出シテ呉レルコトニ兄ノ方ハキマル 夜姉ト相談シテ居クトノコトデ明朝ノコトニナル コレデキマッタ様ナモノデア

▲▼316ページ▲▼ 昭和6(1931)年10月31日(土)

天気 晴

藤原京都ヘ行ツタ帰リニョルト入電アリシモツヒニ來ラズ

五次郎君來 タ方ヨリ新世界ヲ散歩ス

今日モ金ノ事ヲ新世界ニ話シ喜代市兄同道ニテノ時タレモ居ラズ中島氏宅ニテ兄ト落合ヒ、千円ノ手形ノ件其他ニツキヨク話シヲ聞ク 其時中島氏ヨリ喜代市兄ニ整理ノ金ノ話シヲシタ爲メ、折角今日ノ支拂ヒニト百円持ツテ來タノヲ其マ、持ツテ帰ツテシマツタ

▲▼317ページ▲▼ 11月

クラブ發展策

アンザニー發動機ト設計

工場能率増進

▲▼318ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月1日(日)

天気 晴

今朝スグ姉ト兄ニ話シ結局生活費ノ方ノ式百円内百円ヲ今日 アト毎月二十円ヅ、  
ヲ新世界デ出スコト 兄ノ事業ノ方ノコトハ僕ガ引受ケルコトシテ決定ス。今日後チ  
五十円渡シタ由

藤原ヨリアスアサ最(マ)非行クトノ入電アリ タ方食ノ爲メ待ツ旨打電ス  
今日ハエミス町ノ方ニテ早ク床ニ入ル

▲▼319ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月2日(月)

天気 晴

藤原來ヲ待ツ 晝過ギ光野氏同道來 加藤君ノ慰助金ノ三分ノ一ヲ貰フコトニスルカ  
ラ其内三百円ダケハ入レルコト 若シ三分ノ一ガ五百円以上ニナツタ場合ハヨリ以上入  
レルコト 温度計ノ金ハ別ニ入レルコト等ニテ物別レトナル 今日ハ結局一文ニモナラズ  
三時頃入浴中野田氏ヨリ電話アリタル由 スグ電話シタガ席ニ居ラズ 後聞ケバ手  
紙ヲ出シタトノコトデアッタ。今日ハ新世界デ泊ル

▲▼320ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月3日(火)

天気 晴

野田氏ノ手紙デ十時半迄新世界デ待ツタガ來ラズ エミス町ニ行キ晝食 兄ト金山ノ  
件最后案ヲ兄玉氏ヘ手紙出ス 神戸ノ坂東氏ヘ会见日取り知ラセテ貰フコトヲ手紙出  
ス 後チ兄ト大坂城新天守閣ヲ見ニ行キ同公園ノ菊花ヲ見テ新世界ニヨル

野田氏ノ手紙マダ來ラズ 兄ハ住吉ノ野球ヲ見ニ行ク。エミス町ヘ帰ルト津田沼ヨリ横浜  
飛行ニテ大里墜死ストノコト スグ大毎ノ福知氏ニ電話シテ様子ヲ聞ク 横浜商工記  
念ニテ田中春同乗二人共ニトノコトニ兎ニ角帰京ト定メ、丁度中島氏ト新世界ノ兄ガ  
居タノデ今后ノコトヲタノミハ時五十五分デ立ッコトニキメ新世界デ夕食 エミス町ヘ  
ヤル五十円ノ内二十円ヲ借りテ七時エミス町ニ帰ル 兄マダ帰ラズ。八時五十五分デ  
出発前兄梅田迄來テ呉レタ ドウモ淋シソウデシヨウガナカッタ

▲▼321ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月4日(水)

天気 晴

七時五十五分横浜着 タクシーで大里ノ宅ニ行ク。マダ學校ノ方ニアルトノコトニ商工ニ行ク。ヤハリ大里ト宮脇デアッタ 田中ノ乗ルツモリデ届ケテアッタノガ出ル間際ニ宮脇ガ乗ッタノダソウダ。両家ノ遺族ト學校側ノ人トモ会見 今日十時ニ火葬場ニ送り明日各自宅ニテ告別式ヲ行フトノコトニ時間ヲ大里ヲ正午 宮脇ヲ午後二時半ヨリト定メテ貰フ。火葬場へ会員一同モ送り二班二分テ今夜お通夜ヲサセルコトニシ、飛行館ニ行ク 奈良原、児玉安岡ニ合ヒ香奠、弔辭等ノ打合せヲナシ協会ト局ノ香奠ヲ預リ宮脇宅ヲ訪問 ソレ等ヲ渡シテ帰宅ス 非常ニクタブレタ。久シ振リデ養命酒ヲ買ワセテノム

▲▼322ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月5日(木)

天気 曇リ雨

シヨボ、、、雨ガツヒニ本降りトナル 宗里アプロ受検ニ辻本畠山氏來場サレシモ雨ノ爲メ中止

横浜ニ行クツヒデニミツバ商会ニヨリ借金ノ件コトワリシテ告別式ニ望ム スグ終ッテ一先飛行館ニ引上ゲ晝食後宮脇ノ告別式ニ行キ、スグ帰宅シ弔問ノ禮狀印刷ヲ船橋へ頼ミニヤッテ早ク床ニ入ル

▲▼323ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月6日(金)

▲▼324ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月7日(土)

朝局ニヨリ飛行館ニ行ク 奈良原氏居ラレタガ間モナク帰ヘラル。記者室デ、アソブ晝頃児玉氏來 奈良原氏代トシテ協会ノ梨本ノ宮ヲ總裁ニ奉戴 式終ッテ航空神社鎮座祭ニ参列シテ帰ル

大坂ノ金山ニツキ児玉氏ニタノム

▲▼325ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月8日(日)

奈良原氏來場 ミサ保ノ人達ガ來ルトノコトデ待ッタガツヒニ來ラズ

▲▼326ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月9日(月)

天気 晴

局へ検査大里ノ禮ト検査願書持参 後飛補助金富田氏不在ノ爲メ不明 経理ニハマ  
ダマワッテ居ナカッタ

飛行館ニテ兒玉氏ニ会フ 氏モ悲觀シテ居ラレタ

今日八午後ヨリ非常ニ気分悪シク帰ッテ熱ヲハカルト八度近クアツタノデ床ニ入ル

▲▼327ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月10日(火)

天気 晴

在所 鈴木局へ金ヲ取りニヤル

大坂ノ方氣ニナル

信太郎運動会ニテ百米ニ等 ローハールドデニ等ヲ取テ帰ッテ來タ 百米ノ記録十  
四秒ノ由

▲▼328ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月11日(水)

天気 晴

宗里機試験ノ爲メ辻本畠山氏來 合格 汐ノ爲メ時間少ナク明日今少シ飛ンデカラ  
報告スルコト

東亜ノ呉、和田二等受検ノ處風強クナリ中止 機ヲ羽田ニ空輸ス 田中、斎藤両氏來  
場

鈴木昨夜東京ニテ泊リタ方帰ル 明日支拂ヒヲナスコトトス

▲▼329ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月12日(木)

天気 晴

昨夜來セキデ閉口 コト二十一時以後朝迄眠レナカッタノニハコマッタ

晝宗里機ヲ門松試飛行シテテールノ角度直シタ報告書ヲ作り上京ス 辻本畠山氏ニ  
報告シ明日マグネト―持参シテヨケレバスグ堪航証ヲ出スコトニ話シキマリ、荒井氏ニモ  
タンノ(ママ)デ飛行館ニ行ク 高橋英氏ニ會ヒオートバイ加地氏ニタノマレタ分ヲタノム  
共ニ池田氏へ行キ池田氏ニサガシテ貰フコトニス

R三型ノ件デ美土路氏ニ会フベク電話カケタリ行ッタリシタガ何ンタガ、会フノヲ、サ  
ケテ居ル様ニ思ワレタ。ツヒニ會エズニ帰ル

今日九月分全部ト十月分ノ一部給料支拂ヲシタラ家ノ拂ガ出來ナクナッテ、シマッタ。  
ガソリン代、岡田其他差當リノ材料ニ困ル 佐野手形ダケ落ス

奈良原氏來場 十円渡ス。大坂へ送金出來ズ。神戸ノ坂東イツ來ルカ打電セルモ返ナシ

▲▼330ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月13日(金)

天気 晴

終日在所

綱引き飛行 丁度工合ヨク行ッタ

宗里機ノマグネト―交換セルノヲ報告シナカッタ爲メ今日ツヒニ堪航証出ズ 更ニ試飛行ヲ要ストノコトデアッタ

▲▼331ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月14日(土)

天気 曇雨

ドウニモ久太郎兄ノコトガ氣ニナリ飯沼ヨリ百円程取ルコトニキメ早く出カケル。飯沼モ新築シタバカリデ金ガ不足デ困ルトノコトデアッタガ十六七日頃出來ルダケ届ケテ貰フコトニシテ、十年式ノオイルラジエターヲ貰ヒ大急ギデ飛行館ニ行ク 丁度一時半デアッタ 來会者少ナク、奈良原、児玉、長岡、上原、衣笠トクラブデハ吉田関口ノ二人出席 大里ノ件ノ報告 アンザニー機製作ノ諒解 クラブ拡張案ノ対策等協議 三時ニハ終リ三時半引上ゲル。佐藤ニヨッテ帰ル。清平ガ來テ居タ

▲▼332ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月15日(日)

天気 晴

小栗常太郎來場 山崎ノ飛行機借り賃ヲ一時間十円ト定ム 最近ノガソリン式カンカストル半カンハ帳簿上ハ記入ノコトトス

朝久太郎兄(二三日内ニ利子ノ方ダケ送金スルコトニ手紙電報ヲ出シテ居ク

清平ノ爲メニ男ノレグホーシヲ料理ス タ方大口安岡共ニ夕食ヲ取ル

今日ハセキハ大変ヨカッタ

▲▼333ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月16日(月)

天気 晴

終日在所

▲▼334ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月17日(火)

天気 晴後曇リ

駒林氏來場 木部飯沼内部検査ヲ終ル

境君ノアブロ張替タ方ヨロシトノコトニ決定ス  
宗里金來ラズ タ方手紙持タセテヤル ダメ  
川辺此頃ツヒニ帰宅セズ

兄ガ困ツテ居ルコトト思ヒ中島氏ニ手紙出シテ居ク

◆◆335ページ◆◆ 昭和6(1931)年11月18日(水)

天気 曇リ少雨

上京 局ニ行キローン飯沼ト本部ノ分内部検査ヲ頼ミ來週火曜日ト決定ス 飛行館ニ  
行ク 一時十五分過ぎル 橋本君待ツテ居タ 予定ノ通り藤原ノ分デニ二百円 外ニ水  
上機ガ賣レタラ千円 賣レナカッタラ五百円 アトハ來年度ト云フコトニ話シキマル 兄  
玉氏ト夕食ヲ共ニシテ佐藤ニ立寄 金枝ニテ木捻ナド求メテ帰ル 丁度夜業ヲ終ツタ  
處

朝奈良原氏來 五円取ラレル 上京費モナカッタ處ナノデ実ニコタエル  
協会ニテ総務理事ニ會フ 加藤ノ援助料見舞金位ニ終リソウデアッタ。飛行場問題ニ  
ツキ積極的ニヤツテ貰ヒタイ事ヲ申込ム

◆◆336ページ◆◆ 昭和6(1931)年11月19日(木)

天気 晴

境君ヲ待ツ爲メ在所シタガツヒニ來ラズ

今日ハ各見積書ヲ作製シ終日カゝル

夕方食事ニ宅へ帰ルト笠松ノ妻君又來テ居テ二十五円バカリ入ルトノコトデアッタガ  
夕食ヲ馳走シタダケデコトワル

宗里モ金ツヒニ來ラズ

第一飛行學校ヨリアンリオ豊田持ッテ來ル 定期検査ノ爲メ

予定ノ羽布昨日切ッテツカワレテ大ニクルウ クラブノアンリオノ羽布モ全部新規張替  
トナル 材料ニ困ル

◆◆337ページ◆◆ 昭和6(1931)年11月20日(金)

天気 晴

早ク出タカッタノデアルガ金間ニ合ワズ又クラブヨリ二十円借り内十五円ヲ持ッテ上  
京 正午境氏宅ニツキ平松境両氏ト會ヒ見積書ヲ見セタガトモ全部張替ハヤリ切レ  
ナイラシイノデ、十年式ヲ賣ルコトヲ進メル 大分乗氣デアッタ。立川ニ木下氏ヲ訪問  
丁度本社へ行ッタトノコトニ電話デ打合セ本社へ訪問 R三型ノ件借入方ヲ依頼ス 來

春一時的ニ借りルト云フコトナラヨカロウトノコトデアッタ。協会ニ行行ク(ママ)。四時過ギ渡辺君來 地下室デ夕食ヲ共ニ設計ノコトヲタノム 非常ナ嬉(ママ)ビデ最(ママ)非ヤラセテホシイトノコトデアッタ。報酬ハ電車賃位デ話シタガ、ソシナモノハ入ラナイトノコトデアッタガ、ソウ云フコトニシテ居ク 木村氏ノ都合ヲ聞イテ会見日取りヲ通知スルコトス

飯沼君へ行ク 五十円受取ル 馬詰ガ今帰ッタバカリトノコトデ大分ヨッテ居タ。例ノ共同事業トシテ大ニヤリタイトノ気焰ヲ上ゲテ居タ 泊レト云ノデ大蔵ニ電話シテ居イタノデ大蔵宅ニ行キ泊ル 十一時。  
活動シタ日ハ氣持ノヨイモノデアル

▲▼338ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月21日(土)

天気 晴

七時過ぎ起床 八時十五分大蔵宅ヲ辭シ池ノ端ヲ山下ニ出テ乗合ニテ京橋ニフエルトヲ買ヒニ行キ越前屋ニテ杉織テーブ 同店ヨリ電話ニテ広瀬へ麻布ヲ聞ク 百七十錢トノコトニ寄ルノヲ中止シ佐藤へ寄リ一円四十錢ニテ買ッテ貰フコトニシ四十円預ケル。境氏津田沼へ行クトノコトデアッタノデ電話ヲカケル 丁度平松氏モ居ルカラ來テ呉レトノコトニ行ク 駒林氏ニ會ッテアノマ、今一期使用サセテ貰ヒタイトノコトニ局へ聞合セ研究所ニ居ルトノコトニ三人同道スル。予定通りアノマニ整備スルコトニナル。駒林氏ノ案内ニテ目下試験中ノ十年式抗力試験ヲ見学シ木村氏ニ會ヒ、輕飛行機設計ニツキ渡辺君トノ会見日取りヲ來週金曜日ト決定ス。自分ハスグ佐藤ニテ買物ヲマトメ帰宅午後三時半

宗里其他ドコモ入金ナク又コマル

今日ハ五十円ヲ兄ニ送ルニ少ナシ 材料ヲ買フカ随分苦心シタガツヒニ材料ヲ買フ。コレデ十年式ハマトマルコトニナッタ

▲▼339ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月22日(日)

天気 晴

毎日ノ夜業デ今日ハ全員休ム

鈴木菊ヲ呼ンデ入金ノコトヲ話シ明日入レルコトナル

▲▼340ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月23日(月)

天気 雨

今日ハ十二時間寢デシマッタ 七時半頃御山ノ御輿表ヲ通ル 七年目ノ祭例(ママ)トテ

鷺沼以外ハ大サワギデアッタ 幕張ハ昨夜ハ徹夜 お金モ今朝帰ル 随分心配シタガ何  
ンノコトモナサソウデアッタ

鈴木菊ヨリ百円入り兄へ送金分トシテ五十円別ニシテ居ク

▲▼341ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月24日(火)

天気 雨後曇リ

鈴木伊ヲ上京サセル

山下氏久シ振リニ検査ニ來 飯沼ト木部ローン式台共合格ス

夜早ク床ニ入ル 九時頃ヨリ目サメテ眠レス閉口ス 大坂ノ兄ノコト氣ニナリ出ス 昨日  
五十円取ツテ居イタノニ今日ハ材料トガソリン屋ニ拂ワネバナラナクナリ皆出デ仕舞ウ

▲▼342ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月25日(水)

天気 曇後晴

待チニ待ツタ米沢氏手紙來 一五式ヲ中止シテアブロ水上千四百円ニ買フトノコトニス  
グ電報デ承知ノ旨返事ス

篠君來。午後奈良原氏來 十三円今日ドウシテモ入用トノコトデ又クラブ会費ヨリ都  
合ス

今日ハ第一航空ノ見積リヲ作り午後グライダーノ製作材料調べ夜八時迄行フ  
吉田関口帰ル 二人共体格ニ合格 アンリオノ実地試験ヲ受ケ學科ハハブイタ由

▲▼343ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月26日(木)

天気 曇リ

上京 検査ノ打合せ行ツタガ誰レモ居ラズ

本年度補助金馬詰、工場十年式(アンリオトアリタレドモ間違ヒ)宗里アブロノ外ハ全  
部出ナイトノコトデアッタ 之レガ対策ヲ要ス 夜三時頃迄眠レナカッタ

▲▼344ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月27日(金)

天気 曇リ

今日ヨリ夜業ヲ中止スルコト 補助金出ナクナッタコト等ヲ所員ニ話ス

上京 局ニ行キ木部アブロト境アブロノ検査ヲ月曜日ト決定ヲ見ル 関口吉田、鈴木ノ  
佐々木下志津組合格ノ由。課長ニ禮ヲノベ補助金ノコトヲ聞合セグライダーノ検査ノ  
コトモ聞イテ居ク

警視廳へ願書ヲ出シ、飛行館ニテ木村、渡辺、大沢君ト会见 清平モ來 輕飛行機設計ノ打合せヲナス。大坂ノ井上來 皆ト共ニ食事ヲナス

田中ト共ニ帰津 道々橋本ノ金ニツキ協議 五百円ト百七十五円ダケ支拂フコトヲ約ス 田中ハ尚二百二十五円ヲ加ヘテ千円ニシテヤツテ呉レトノコトデアッタガ不可能ヲ述ベテ居ク 十一時半帰宅

▲▼345ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月28日(土)

天気 雨

終日在所

▲▼346ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月29日(日)

天気 晴

今日ハステキナ上天気トナル 六時起床 佐原ニ行ク

九時半着 海野氏ニ會ヒ見積リノ件ニツキ諒解ヲ求メ海野氏ノ意見ヲ聞キ完成ハ來年度ノ補助金目當テニヤルコトナル 一日朝六日ノ飛行ノ爲メ取りニ行クトノコトデアッタ

一五式ノ部品ハ見ナイデ三十円 最大五十円位ト値ヲツケテ帰ル 一時半帰宅。間モナク、渡辺大沢君來 稲垣設計ノスポーブ圖面ヲ渡ス 奈良原氏來 夕方迄皆デ話シ 奈良原氏二五円渡シテ帰ル

▲▼347ページ▲▼ 昭和6(1931)年11月30日(月)

天気 晴

初霜深ク〇度四トノコト 今年初メテノ冷タサ 氷モ初メデアッタ

六時十分起床 鈴木菊ト同道 丁度十時十分前田浦着 井上、木暮君ト一所ニナル運送店ニテ安藤君ト會フ 午前下見 午後入札 型ノ如クスラ、ト終ル 鈴木ハ三笠ヲ見ニ行ク 木暮君ト一時四十五分發ニテ帰京。航空時代ハ一月號廣告ヲタノミ、飛行館ニテ兒玉奈良原氏ニ會フ 兒玉氏ヨリ義勇飛行ヘ賣ル機体ニツイテ聞カレル 十年式千七百円 アブロ千弐百ト話ス 奈良原氏ヨリ明後日拂下出資ノ人午後一時頃行クトノコトニ在宅ヲ約ス

平松、境氏ヲ訪問 電車ヲ降りタ處デ會フ 喫茶店ニテ会见。十年式ヲ買ツテ貰ッタラアブロハ今年内ニ仕上ゲ代金ハ御都合ノヨイ様ニ想(マ)談ニナルコトヲ申入レル 明日來場スルトノコト

スグ帰宅 今日宗里入金ナク木部三十円入レタルノミニテドコモ支拂出來ナカッタ由

▲▼348ページ▲▼ 12月

クラブ発展策

アンザニー設計ノ件 先月末來進行中

工場能率増進 先ヅ研磨用機械購入ノ件調査ノコト

▲▼349ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月1日(火)

辻本堀井氏來 木部アブロ完成 平松アブロ内部検査ヲ受ケル 大体手入レヨイトノコト 辻本ガホメタノハ初メデアッタ

綱引飛行験(ママ)査ノ件ニテ鈴木上京サセル

▲▼350ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月2日(水)

天気 晴

安岡アンリオニテ上京 鈴木池上上京 受檢ノ爲メ 然ルニ本日受験出來ズ今夜泊ルトノコトタ方入電アリ

▲▼351ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月3日(木)

天気 晴

アンリオ帰ラズ心配ス 鈴木夜十一時頃帰り今日無事験(ママ)査ヲ終了セル由 上結果トノコトナリキ

▲▼352ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月4日(金)

天気 晴

正午頃ヨリ上京 平松境氏ニ境氏宅ニテ會見 アブロヲ賣ルコト 四百円現在ノマヽニテ尚十年式ヲソレヲ内金トシテ協会奨励金ニテ買フコト 協会奨励金六年内ニ必ズ出ル様運動スルコト等ニテ大体諒解ナル

警視廳行ツタガタレモ居ラズ。飛行協会ニ行キ奨励金ノ件ヲ請求ス 関口ノ分ハ近日中ニ出ストノコトデアッタガ平松氏ノハ回答ヲ得ズ 馬場氏へ尚ヨク依頼シテ居ク

夜帰宅スルト大里母來テ百五十円クラブへ寄付シテ行ツタトノコトデアッタ

▲▼353ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月5日(土)

天気 晴

警視廳へ綱引飛行許可ヲ受ケル爲メ上京 助川氏ニ会見後安寧課及川氏ト会ヒ課長ニモ会フ 大体許可ノ意向デアッタガ保安課長会議ノ爲メ会エズ決定ヲ見ズ 飛行館ニテ児玉氏ニ會フ。児玉晋氏山本氏伴ニテ來 児玉静氏明日カ明後日山本氏ヲ訪問スルコトニナル

藤原延ニエレベーターノ入口デヒツリ会フ 今日加藤ノ金受取ッタトノコトニ約束通り百円ヲ橋本ニ渡シテ貰フコトニカタリ始メ橋本ハ氣ノ毒ダガ神戸迄行ツテ貰フ様ハガキヲスグ出シテ居ク

朝奈良原氏來 二十円渡ス ドウモ困ルガ仕方ガナイ

▲▼354ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月6日(日)

天気 晴

大坂中島氏ヨリ兄ノ件請求アリシモ昨日又松木氏ヨリ直接手紙アリ。今日ソレ等ニ対シ自然ガ引受ケテ支拂フコトノ返信ヲ出ス 尚延引ニツイテノ詫ビモシテ居ク

夜清平來 又二十円渡スコトナル 尚十円入ルトノコト ヤリキレナイ

衣笠氏來ルトノコトニ待ツタガツヒニ來ラズ 多分昨日ノハガキヲ見タノデアロウ

午後霜除ケノ手入レヲナシ竹垣ナド作ル

▲▼355ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月7日(月)

天気 晴

上京 飛行館ニテ児玉衣笠氏ト会見 其前境氏ニ電話シテアブロノ件過日ノ條件ニテヨロシトノコトヲ聞ク。衣笠氏ニ五百円ト云ツタガ二百円位シカ金ガナイトノコトデアッタガヨク話シテ結局四百円作レバ名議(ママ)変更ハシテモヨイコトヲ約ス

▲▼356ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月8日(火)

天気 晴

終日在所

▲▼357ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月9日(水)

天気 晴

上京 高橋氏同道局ニテ金式十円鈴木分受取り 飛行協会ニテ関口同道関口奨励金ヲ貰フ 内五百円ヲ高橋氏へ貸ス 高橋母堂モ來  
終ッテ川辺旭峻(ママ)死去ノ悔ミニ行ク スツカリ日ガ暮レテシマウ 十時帰宅ス

◆◆358ページ◆◆ 昭和6(1931)年12月10日(木)

天気 晴

局ニ行キ検査件ヲ西川氏ト打合セ月曜日來ルトノコト  
警視廳ニ行キ結果保安課ニテ明日見ルコトナル  
飛行クラブ總會ニ出席 終ッテ、軽飛行機クラブノ會員ノオーケストラアリ 安岡、高橋、其他會員三名ヲ出席ス

◆◆359ページ◆◆ 昭和6(1931)年12月11日(金)

天気 曇リ

時事 若槻内閣総辭職ヲナス

上野ヲ先キニ上京サセル 安岡昨夜帰ラズ 機体借入ニ來タトノコト入電一時半頃來ソレカラ朝マデツヒニ眠レナカッタ。十一時洲崎へ一寸寄ッテ飛行館ニ行キ奈良原、児玉氏ニ會フ 晝食後警視廳へ行キ予定ヨリズイ分マタサレテ三時頃ヤッテ出カケル様ニナリ洲崎へ行ク 保安課ヨリ三名交通課ヨリ一名 実験ハ予定通り好成績ニ終リアト保安課員三名同乗飛行ス 四時過ぎ終リ明日結果聞キニ行クコトナリ帰宅ス

◆◆360ページ◆◆ 昭和6(1931)年12月12日(土)

天気 曇

時事 犬養政友会總裁ニ大命降下ス

今日モ又上京 広告綱ヲ持ッテ警視ニ行ク 交通課長保安課長ニ會ヒ説明シテ漸ク許可方針ニ決定 局ノ機体ニ対スル証明ガ貰エタラトノコトデアッタガソレハダメダロウト思タガ兎ニ角時間ガアッタノデ局ニ行ク。タレモ居ラズ 西川氏ニ検査日火曜日ニナッタコトヲ聞イテ、木部アブロノ証明書ヲ貰ヒ飛行館ニ行ク 食事ニ降リルト丁度玉宮氏一人食事中デアッタノデ共ニ証明ノコトヲ聞ク ヤハリ出來ナカッタガ警視廳カラ聞イテ貰フコトニス。外ニグライダーヤ其他ノコトヲ二三十分話シス。児玉晋氏児玉静治氏ト山本氏ノ金件ニツキ会談 月曜日山本氏へ挨拶スルコトニス  
片岡磯部氏ニ會ヒ二時間バカリ話シコム 片岡十年式見込ミアルトノコトデアッタ  
弘益社ニヨリ帰宅ス 後夕食

▲▼361ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月13日(日)

天気 晴

終日在所

▲▼362ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月14日(月)

天気 晴曇

今年初メテノ寒サ ○下三度六分 上京スルト大變モヤガ多カッタ 押上カラ洲崎ヘ円タクデ行キ綱ノ装置ヲ受取リ角ムサシヘ出荷シテ、局ニ行ク 検査明日汐ガ干カナイカモ知レナイノデ打合セ十六日ト十八日ニ來テ貰フコトトス。宗里補助金明日ニナル飛行館ニテ兒玉奈良原諸氏ニ會フ 十万円出資問題進行シソウダトノコトニ其方法ヲ考ヘ明日會フコトトス

沢柳君渡辺君大沢君タ方來 計算ノ大体ノ處ヲ聞ク 二十平方米突ノ單葉デ最大百三十キロ着陸六十三キトノコト 少シ早スギルガ性能ハ予想外ニヨサソウデアッタ 方ヲ共ニシテ帰ル 帰宅十時 少シ雨ガ降ツテ居タ

電通デ十年式ヲホシイトノ電話アリ電通ニ行ク。掛引カ余リホシガラナイ様ナ風デアッタ

▲▼363ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月15日(火)

天気 晴

ユツクリ上京 局ニテ宗里ノ金受取リ飛行館ニ行キ昨日借りタ十円ヲ吉村氏ニ返ニ田中ヘ渡ス 橋本ノ式百五十円ヲ封筒ニ入レ吉村氏ニ預ケ田中ニ會ツテ今月五百円以上出來ナイ事ノ承認ヲサセテカラ渡スコトトス

渡辺大沢君アンザニスケツチニ來テ居タ

兒玉氏ト十万円問題ニツキ打合セ 自分ハ工場ヘ弍万円 八万円デタクシー車ヲ欲シタガ兒玉氏ハクラブヘトノコトデアッタ 然シクラブデ利益ヲ云云ハ不可能ナコトデ其ム順(ママ)ヲドウスルカラ兒玉氏尚考慮シテ貰フコトトス。銀蝶ヘ行キ夕食後サラニ、新橋ニ行キ酒ヲノンダノデ、腹痛ヲ起シ、大便ヲシテ尚数寄橋公園デ上ゲテヤット氣持チヨクナル。徳次ノ本ヲ取リニ小川町ニ廻リ両国駅ニツクト四十分バカリ間ガアルノデ押上ヨリ帰ル 丁度十二時前帰宅。クラブ一寸前迄發動機ノ運轉ヲヤツテ居タ由。

▲▼364ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月16日(水)

天気 雨

雨ノ爲メ沢田試験ニ行ケズ明朝ノコトナル  
終日在所

▲▼365ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月17日(木)

天気 曇り晴

東京局、平松君等ニ立寄り立川行き 丁度一時頃ニナル 鈴木菊雄ト途中デアフ  
岡十二時頃帰場シタトノコト 少シオソイト思ッタ、ガ間ニ合ツタカ知ラ  
今日十年式ト飯沼アンリオノ試験デアル

沢田ノ二千米出発前ニ飛行場ニツク 一時間程シテ終了。附近ノ下宿ニ宿ヲ取ル 夜  
西田話シニ來テ一時間余リ遊ンデ帰ル  
安岡沢田七時半立川へ出発ス

▲▼366ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月18日(金)

五時半頃ヨリ便所ニ行キ六時起床 吉田沢田ヲ起シ飛行場ニ行ク 準備後東亜、日本、  
軽飛ノ準(ママ)序ニテ七時四十七分ヲ最后トシテ出発 帰リモ右ノ順ニテ十二時十七  
分無事終了ス

木下君ニ會フ 明春R三ノ件年内話シ極ラナイ模様 二時半スベテヲ終リ三時立川発  
飛行館ニテ兒玉氏ニ會フ 今日山本氏へ行コウトノコトデアッタガ明日ニシテ貰ツテ帰宅  
今日ハ少々ツカレ気味デアッタ 明朝恵美子ヲ迎ヘニ行ク家内ノ準備ヲトノエル

▲▼367ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月19日(土)

天気 晴

晝頃局ニ行ク 検査月曜日ノ決定ヲ見ル 飯沼ニ會フ 登録申請ヲナシ共ニ飛行館ニ行  
ク 途中更科ニテ晝食ヲ馳走ス 飛行館ニテ兒玉氏ニ會ヒ夕食後山本氏ヲ訪問 千五  
百円ヲ明年四月一杯迄延期ヲスルコト、ヨロヨク承認ヲ得 九時過ぎ辭ス。飯沼トノ  
約束ニヨリ飯沼宅ニ行ツタ處グデン、ニヨツテ寢テ居ルトノコト 人ヲ馬鹿ニシタヤツト  
思ツタガ妻君ニ泊リニ來タトモ云エズ、トボ、ノ帰ル 余金少ナク帰宅シテ明日上京モ困  
ルシ時間モオソイノデ大蔵宅ニ行ク 十一時過ぎテ居タ

▲▼368ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月20日(日)

天気 曇り

八時起床 朝食後九時過ぎ大蔵宅ヲ出デズト平松氏訪問 同道シテ境氏訪問 ア

プロト十年式交換ノ件決定 名議(ママ)ニツキ明後日確答ヲ得ルコトシテ分レ、ツヒ  
デニ飯沼三行ク 丁度晝ニナリ晝食ヲ馳走ニナリ細カイ勘定ヲナシ三十五円受取ラル。  
佐藤ニ立寄り割。ヒンヲ買ヒ笠松ノ十円ヲ預ケテ帰場ス  
弘益社ヨリ廿五日飛行ノ申込ミアリ

◆◆369ページ◆◆ 昭和6(1931)年12月21日(月)

天気 晴

昨夜々中ニアラレガ降ツテ居タガ今日ハヨクナツテ居タ。コレデ検査モ來テ呉レルト嬉(マ  
マ)ンデ居タ處十一時過ギテ漸ク來タノデ試飛行ガ出來ズ結局アブロダケ海岸デ飛ビ  
十年式ハ明朝試飛行シテ成績ダケ持ツテ行クコトニナル 此頃辻本君ハ馬鹿ニヨクナッ  
タ

夕方竹崎君來 今月中ニ四百円必ズ入レルトノコトデツヒデニ名議(ママ)変更ヲスルコト  
トス 明日局デ會フ約束ス

土地ノ新聞社長來。モチ代三円ノ寄附ニツク

朝前ノ縣道拡張ニ自分ノ地所ガ買収サレルトノコトニ變ダト思ツテ居タラ海岸ノ方ニ  
今迄氣ガツカナカッタ地所ガアッタノデアッタ 百六十余円這入ルコトニナッタ

◆◆370ページ◆◆ 昭和6(1931)年12月22日(火)

天気 晴後雨

ズット上京 境君ニ電話シテ平松氏宅ニテ會フコトニナリ平松氏訪問 平松君中々手ガ  
タク練中バデ一度局ニ行キ再ビ平松氏方ニテ相談 ツヒ二十年式千円ニシテ年内六百  
円ノ残金ヲ受取ルコトトシ六時間分ノ練習ヲ一時間十円ノ損料ニテヤルコトノ承認ヲ  
得テ話シマトル(ママ) 五百円ダケ受取り警視廳ニ行キ廿五日ノ飛行天皇陛下御出マ  
シノ爲メ廿四日ト定メ願書提出 飛行館ニテ児玉氏ト會ヒ夕食後、竹崎君ヲ訪問 契  
約書ノコトヲ打合セ明日正午局ニテ會フ約束シテ歸ル

◆◆371ページ◆◆ 昭和6(1931)年12月23日(水)

天気 晴

上京 洲崎ニテ熊倉君ヨリ洲崎離着陸ノ承認書ヲ判ヲ貰ヒケイシ廳ニ願書提出 局ニ  
行キ竹崎君ニ會ヒ一切ノ手續キヲ終リ飛行館ニ行キ午後久松氏事務所ヲ久シ振リニ  
訪問 片岡ニ會ヒ、グライダーノ件ニツキ二三聞キ出張教授ノ報酬ニツキ打合セ 一日  
五円ニテマトマル

ケイシ廳ニテ許可証ヲ貰ヒ

帰宅スルト昨夜カラ安岡又例ノクセヲ出シテ不在ノ由

▲▼372ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月24日(木)

天気 晴

時事 本記事ハ廿六日分ナリ

安岡本日白木屋ノ飛行ヲ終了ス

クラブ員ト安岡ノ處分問題ニツキ自分ノ意見ヲ述ベテ居ク

上京 児玉奈良原氏ニ會フ

▲▼373ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月25日(金)

天気 晴

安岡マダ帰ラズ 山崎居ルトノコトニ鈴木自動車ニテ山崎ニ案内サセ船橋ヲサガシ廻ル  
ツヒニ見アタラズ

弘益社水野氏來 ヤルトニ返ニシテ帰ツタガ出來ズ又取ヤメノ打電ヲナス。本人胃ケ  
イレノ爲メトハ苦シイ云ヒワケデアッタ

上京 飛行館ニ航空時代ノ航空今昔座談会ニ出席 奈良原其他十数名 三時半 半  
バニシ局ヘ行キ十年式トアブロノ堪航証ヲ受取ル 山崎マダ落第 沢田優秀ナル成績ニ  
テパス

夜奈良原児玉氏ト中央亭ノクリスマス、デンナーニテ六時十五分迄竹崎氏ノ電話ヲ待  
ツタガ來ラズ

六時四十分両国発帰場

今日ハ上京ノ際初メテ京成ノ日暮里駅ニ行ツタ 思ツタヨリ近カッタガマダ完成シテ居  
ナイノデ時間ハカゝッタ

本記事ハ二十三分

▲▼374ページ▲▼ 昭和6(1931)年12月26日(土)

天気 曇晴

借金取デー 栄助、○イ、二人、楽天府、高山、イヅレモ三十日拂ヒニ延期

今日ハカナリ急(マ)ガシカッタ 平松君來。竹崎君五十円持参。

午後篠外一名來 アブロ買ヒタシトノコト 水上ヲ陸上ニ直シテヤル事ニシテ先方ハ今月  
五百円 二月迄ニ全額終ル様ニシタイトノコト 金額千弍百円ニテ口約ス

安岡今日モマダ帰ラヌカツヒニ來ラズ

鈴木菊雄ニ明日ノ飛行及元日ノモ依頼ス

清平午後帰京ス

夕方鈴木、佐藤、上野、太田(本學問松)ヲ集メザット來年度ノ方針ヲ話シグライダ  
ーノ工賃見積リヲナス様申渡ス

川辺君處へ研數學館長來 應接室ヲ貸ス 二三時間話シテ帰ル。トテモ感ジノ悪イ人  
物デアッタ。ウマク話シガマトマレバヨイガ

本記事ハ廿五日分ナリ

◆▼375ページ◆▼ 昭和6(1931)年12月27日(日)

終日在所 安岡ツヒニクラブ会員ノ希望ニヨリ再ビ勤務セシムルコトナル  
夜島本來 大二心ヲ入レ替エルカラ、モウ一度試験ヲ受ケタイトノコトデアッタガ、絶  
對ニ言行一致出來ルヤ否ヤヨク考慮スベシトテ返ス

◆▼376ページ◆▼ 昭和6(1931)年12月28日(月)

天気 晴

今日ハ急(マ)ガシカッタ 二時頃局へ行ッタラ丁度引ケル處デ本年ノ挨拶ヲシテ廻ル  
本部ノ補助金ヤット間ニ合フ 竹崎ヨリ百円受取ル 早く帰り米屋ト中台ノ支拂ヒヲ  
ナス。コレデ少シ氣ガ輕クナッタ

◆▼377ページ◆▼ 昭和6(1931)年12月29日(火)

天気 晴

今日ノ上京ハ收穫ナシ 児玉氏ニモツヒニ會ワズ 篠ノ方ダメラシイ アマリアテナラナ  
イ

◆▼378ページ◆▼ 昭和6(1931)年12月30日(水)

天気 晴

宗里貳百円受取ッテ工場員ノ十二月分ダケ皆支拂ヒ出來ル様ニシテ上京 田中不二  
雄來 共ニ日暮里廻リニテ上京 橋本ノ方春迄延期。田辺へ歳暮ヲ以テ挨拶ニ行キ弘  
益社デ百円受取り市ヶ谷郵便局ヨリ百円大坂へ電送 少ナクテ困ルダロウガドウニモ  
シカタガナカッタ 平松氏ニテ百円受取り飛行館前三テ奈良原氏ニ會ヒ二十円ダケ明  
日必ズ届ケル約束ニテ竹崎ニ行ッタガ居ラズ明日午前中在所午後上京スル旨ヲ書キ居  
イテ六時頃迄居テ帰宅 終自動車ニテ帰ル。宗里金呉レナカッタノコト 大予算ガク

ルツタ

◆▼379ページ◆▼ 昭和6(1931)年12月31日(木)

天気 晴

朝七時半ニ佐野ガ來テ夜寢入ツテカラ十二時頃〇イ迄來ルコト、、、皆支拂停止デ  
コトワル 給料ガ宗里ノ爲メニ、百五十円不足シテシマッタノニハ一番困ツタ 正午佐藤  
ノ店ノモノ同道上京 弘益社ヘ行ツタガ出來ナカッタトノコト 佐藤モヤラズ帰シライ  
ジングサンニ弍百円ダケ支拂ヒ竹崎ニ行ク 不在 岡田ニコトワリニ行キ児玉氏ヲ年末  
挨拶ニ訪問 不在 再度竹崎ニ行ツタガ帰ラズ名刺ニ無断不在ヲナジテ、アツケテ居ク。  
ソレニシテモ奈良原氏ヘ二十円トゞケル約束ガハタセナイノト小供ニ正月着ヲ買ツテヤレ  
ナイノデ非(マ)観 途中奈良原氏ヘコトワリニ寄ルツモリデ市川ニ下車シタガ思ヒ返シ  
テ中止シ帰宅ス  
今年ノ年末ハ予想外ニ悪化シタ 平素カラノ準備ヲ切ニ大切ニシナケレバナラナイ

◆▼380ページ◆▼ 補遺

本年予定ノ事業一ツトシテナラズ 大発奮ヲ要ス

▲▼390ページ▲▼

| 回数 | 組 | 番号     |
|----|---|--------|
| 七〇 | 十 | 〇一三九七二 |
| 七〇 | 十 | 〇一三九七三 |
| 七二 | 五 | 〇一一八八三 |
| 七六 | 十 | 〇八九八九一 |
| 七六 | 十 | 〇八九八九〇 |
| 七七 | 五 | 〇七一三五〇 |
| 七七 | 五 | 〇七一三四九 |
| 七八 | 八 | 〇一六一七五 |
| 七八 | 八 | 〇一六一七六 |
| 八〇 | 九 | 〇一六一八四 |
| 八〇 | 九 | 〇一六一八六 |

|    |    |        |
|----|----|--------|
| 八二 | 八  | 一二三四四  |
| 八二 | 八  | 一二三四三  |
| 八三 | 七  | 三七六三四  |
| 八三 | 七  | 三七六四〇  |
| 八六 | 三  | 〇三八三三  |
| 八六 | 三  | 〇三八三二  |
|    |    |        |
| 復興 |    |        |
| 四  | 一〇 | 〇三〇一三〇 |

▲▼391ページ▲▼ 知人名簿

| 住所       | 電話 | 氏名      | 関係 |
|----------|----|---------|----|
| 桜川明石市上野丸 |    | 長谷川幸次郎空 |    |

▲▼404ページ▲▼ 手控

姓名 伊藤音次郎

住所 千葉県千葉郡津田沼町鷺沼1440

勤務先 合資会社 伊藤飛行機製作所

時計番號 腕時計 99型橢円 29732 136523 モバアト一個

家族誕生日

| 名前     | 誕生日       | 摘要        |
|--------|-----------|-----------|
| 主人 音次郎 | 二十四年六月三日  | 辰十六才卯四十一才 |
| 妻 キチ   | 三十年三月十日   | 申十二才      |
| 長男 信太郎 | 大正五年十二月九日 | 戌十才辰十六才   |
| 次男 徳次  | 九年八月四日    | 子八才申十二才   |
| 長女 恵美子 | 十一年十月廿五日  | 子十才       |

|        |          |     |
|--------|----------|-----|
| 三男 仁三郎 | 十三年八月廿五日 | 子八才 |
|--------|----------|-----|

## 支出録

| 月日      | 摘要       | 金額    |
|---------|----------|-------|
| 13      | 川辺       | 7－    |
| 々       | 鈴木内ヨリ    | 5－    |
| 々       | 前残       | 1－    |
| 々       | 計        | 13－   |
| 々       | 大蔵       | 10－   |
| 16      | 加藤       | 30－   |
| 13      | 汽車       | 6.40  |
| 々       | 自動車      | .50   |
| 々       | 急行券      | 2.00  |
| 々       | 晝食       | .50   |
| 々       | ミカン      | .20   |
| 々       | 夕食       | 1.00  |
| 14      | 川辺鈴木クラブ  | 30－   |
| 々       | 川辺 花     | 6.50  |
| 々       | 鈴木 花     | 6.50  |
| 々       | クラブ      | 15.00 |
| 々       | 大蔵       | 10.00 |
| 々       | 大口       | 5.00  |
| 々       | 金太郎      | 3.00  |
| 々       | シャツ、ツボン下 | 1.70  |
| 々       | 下駄       | 1.00  |
| 16      | 清平       | 5.00  |
| 411 ページ |          |       |
| 16      | タビトサル又   | .55   |
| 々       | 万歳       | .60   |
| 々       | スシ       | .54   |
| 17      | 動物園      | .10   |
| 16      | 電報 三通    | 1.00  |
| 17      | 々        | .35   |
| 15      | 土産小兄本    | 1.05  |
| 17      | 写真帳      | 3.00  |
| 18      | 佐渡島      | 3.60  |
| 々       | 工場ヨリ     | 150－  |
| 々       | 帽子       | 3.50  |

|         |            |        |
|---------|------------|--------|
| 々       | 電車         | .44    |
| 々       | 晝食         | 1.00   |
| 々       | カラー        | .30    |
| 々       | 電車 武庫川     | .57    |
| 19      | 電報         | .85    |
| 々       | 電車         | .36    |
| 々       | 香奠         | 100.00 |
| 々       | 洋服         | 11.60  |
| 々       | 薬          | .65    |
| 々       | 電車         | .04    |
|         | 合計         | 195.45 |
| 412 ページ |            |        |
| 19      | 花          | 17-    |
| 々       | 菓子         | 3.00   |
| 々       | ハモノ皮       | .35    |
| 々       | ヨウジ        | .15    |
| 々       | 自動車        | 1.00   |
| 々       | 汽車         | 14.50  |
| 々       | 赤帽         | .30    |
| 々       | 本          | .50    |
| 20      | 朝食         | 1.00   |
| 々       | 局          | 120.75 |
| 々       | ライトプレーン    | 63.00  |
| 々       | 電券         | 2.95   |
| 々       | 封筒         | .16    |
| 々       | ライトプレーン広告料 | 10.00  |
| 々       | 電報料        | 9.66   |
| 21      | 高橋         | 5-     |
| 々       | 東京行小供      | 10.00  |
| 々       | サンソ        | 6.00   |
| 々       | 同運賃        | 1-     |
| 20      | 航空時代       | 10-    |
|         | 内          | 50-    |

注：以上の出納は 31 年 3 月の大阪往復(父の葬儀)の際のもの。摘要の箇所に記された金額は収入にあたる。